

平成20年5月2日

高知工科大学 システム工学群、
環境理工学群及び情報学群設置届出書

学校法人 高知工科大学

— 添付書類目次 —

- 1 基本計画書
- 2 設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況（省略）
- 3 教育課程等の概要
- 4 授業科目の概要（省略）
- 5 校地校舎等の図面（省略）
- 6 学則（省略）
- 7 教授会規定等（省略）
- 8 意志の決定を証する書類（省略）
- 9 設置の趣旨等を記載した書類
- 10 教員名簿〔学長の氏名等〕（省略）
- 11 教員名簿〔教員の氏名等〕（省略）

1 . 基 本 計 画 書

基本計画書

基本計画								
事項		記入欄						備考
計画の区分		学部設置						
フリガナ		ガッコウコジノ コチコダガク						
設置者		学校法人 高知工科大学						
フリガナ		コチコダガク						
大学の名称		高知工科大学 (Kochi University of Technology)						
大学本部の位置		高知県香美市土佐山田町宮ノ口185番地						
大学の目的		本学は、学術の中心として広く教育、研究を行い、深い専門知識と豊かな人間性を持った創造的な人材を養成し、もって科学技術の振興に寄与し、わが国ひいては世界の発展に貢献することを目的とする。						
新設学部等の目的		既設の「工学部5学科」における基本的教育方針は変えることなく、教育プログラムを充実させるため、従来の学科間で存在した学科の壁を排除し、授業科目を整理統合すると共に、新規科目の追加、教育方法の改定を行い、いずれも1学科制の考え方をベースとする学群として「システム工学群」、「環境理工学群」、「情報学群」の3学群体制に編成替えを行うこととした。 また、各学群をまたぐメジャー・マイナー制度等、全学共通の履修システムにより多様な授業科目の履修を可能とし、幅広い教育を提供し、これまで専門細分化してきた工学教育から、専門分野を横断し、いわば工学分野におけるリベラルアーツ的要素を広く身につけ、広く社会に役立つ人材を育成する。これに伴い、専任教員は「学科中心の思考」から「大学中心の思考」へ意識改革を行い、工学教育における学際領域の開拓を目指し、開学時から目的としてきたシステム工学的思考をより一層深めることを目指すこととした。						
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	システム工学群 (school of systems engineering)	4年	170人	3年次4人	688人	学士(工学)	平成21年4月第1年次 平成23年4月第3年次	高知県香美市土佐山田町宮ノ口185番地
	環境理工学群 (school of environmental science and engineering)	4年	90人	3年次3人	366人	学士(理工学)	平成21年4月第1年次 平成23年4月第3年次	
	情報学群 (school of information)	4年	100人	3年次3人	406人	学士(情報工学)	平成21年4月第1年次 平成23年4月第3年次	
	計		360人	3年次10人	1460人			
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)		新たに設置予定のシステム工学群、環境理工学群及び情報学群の入学定員は、それぞれ、170人(編入学定員4人)、90人(編入学定員3人)、100人(編入学定員3人)とし、既設の工学部5学科(入学定員360人・編入学定員10人)の定員振替によって設定した。従って、全体の収容定員1460人には変更はない。なお、新たに3学群設置後は、既設の工学部は、募集停止(ただし、3年次編入学については平成23年4月1日より募集停止)し、在学生がいなくなった時点で廃止する。 平成21年4月 高知工科大学工学部の学生募集停止(360) 平成23年4月 高知工科大学工学部の編入学学生募集停止(10)						
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
	システム工学群	187	36	14	237	124単位		
	環境理工学群	115	27	7	149	124単位		
	情報学群	109	26	9	144	124単位		

教 員 組 織 の 概 要	学 部 等 の 名 称		専任教員等						兼任 教員	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新 設 分	システム工学群	17人 (23)	8人 (8)	1人 (1)	- 人 (-)	26人 (32)	0人 (3)	7人 (0)	工学部物質・環境システム工学科から、環境理工学群へ12名異動。 工学部知能機械システム工学科から、システム工学群へ12名、環境理工学群へ1名異動。 工学部電子・光システム工学科から、システム工学群へ11名、環境理工学群へ3名、情報学群へ1名異動。 工学部情報システム工学科から、環境理工学群へ1名、情報学群へ13名異動。 工学部社会システム工学科から、システム工学群へ9名、環境理工学群へ1名異動。 工学部共通教育教室から、情報学群へ1名異動。
		環境理工学群	9 (12)	6 (6)	- (-)	- (-)	15 (18)	- (-)	4 (0)	
		情報学群	8 (8)	2 (2)	5 (5)	- (-)	15 (15)	0 (1)	1 (0)	
		計	34 (43)	16 (16)	6 (6)	- (-)	56 (65)	0 (4)	12 (0)	
	既 設 分	マネジメント学部 マネジメント学科	9 (9)	3 (3)	2 (3)	- (-)	14 (15)	- (-)	10 (8)	
		工学部 共通教育教室	3 (3)	4 (4)	- (-)	2 (3)	9 (10)	- (-)	15 (13)	
		工学部 教育講師室	- (-)	- (-)	- (-)	4 (8)	4 (8)	- (-)	- (-)	
		工学部 物質・環境システム工学科	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
		工学部 知能機械システム工学科	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
		工学部 電子・光システム工学科	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
		工学部 情報システム工学科	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
		工学部 社会システム工学科	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
		計	12 (12)	7 (7)	2 (3)	6 (11)	27 (33)	- (-)	25 (21)	
	合 計		46 (55)	23 (23)	8 (9)	6 (11)	83 (98)	0 (4)	37 (21)	
教員 以外 の職 員の 概要	職 種		専 任		兼 任		計			
	事 務 職 員		38 人 (39)		53 人 (53)		91 人 (92)			
	技 術 職 員		- (-)		1 (1)		1 (1)			
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)		- (-)		1 (1)			
	そ の 他 の 職 員		- (-)		- (-)		- (-)			
	計		39 (40)		54 (54)		93 (94)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計		高知工科大学 マネジメント学 部と共用	
	校 舎 敷 地	0 m ²	63, 221m ²		0 m ²		63, 221m ²			
	運 動 場 用 地	0 m ²	14, 720m ²		0 m ²		14, 720m ²			
	小 計	0 m ²	77, 941m ²		0 m ²		77, 941m ²			
	そ の 他	0 m ²	72, 129m ²		0 m ²		72, 129m ²			
	合 計	0 m ²	150, 070m ²		0 m ²		150, 070m ²			
校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計			
		13, 124m ² (13, 124m ²)	39, 892m ² (39, 892m ²)		0 m ² (0 m ²)		53, 016m ² (53, 016m ²)			
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設			
	室	室	室		(補助職員 人) 室		(補助職員 人) 室			
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称				室 数			室	

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点				
		()	()	()	()	()	()				
		()	()	()	()	()	()				
	計	()	()	()	()	()	()				
図書館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数					
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要							
経 費 の 見 積 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学群全体 教員1人当り研究費等は平均額を記入。 共同研究費は大学全体分を記入。		
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	2,465千円	2,460千円	図書購入費	12,482千円	12,482千円	12,482千円			
		共 同 研 究 費 等	75,524千円	70,910千円	設備購入費	23,381千円	22,838千円	21,206千円			
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次				
		1,540千円	1,240千円	1,240千円	1,240千円	— 千円	— 千円				
		学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称		高知工科大学							工学部・大学院ともに、20年度秋季入試は含まない。 (H20.8実施) 平成20年度マネジメント学部開設に伴い、工学部は平成20年度より入学定員460(各学科定員92人)→360人(各学科定員72人)に変更。	
	学 部 等 の 名 称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		所 在 地
	マネジメント学部 マネジメント学科		4	100	-	400	学士 (マネジメント学)	0.77	平成20年度		高知県香美市 土佐山田町 宮ノ口185番地
	工学部							0.94			
	物質・環境システム工学科		4	72	3年次 2	352	学士 (工学又は学術)	0.95	平成9年度		
	知能機械システム工学科		4	72	3年次 2	352	学士 (工学又は学術)	0.93	平成9年度		
	電子・光システム工学科		4	72	3年次 2	352	学士 (工学又は学術)	0.92	平成9年度		
	情報システム工学科		4	72	3年次 2	352	学士 (工学又は学術)	1.01	平成9年度		
	社会システム工学科		4	72	3年次 2	352	学士 (工学又は学術)	0.88	平成9年度		
	大学院 工学研究科基盤工学専攻										
	修士課程		2	150	-	300	修士 (工学又は学術)	0.99	平成11年度		
	博士後期課程		3	60	-	180	博士 (工学又は学術)	0.29	平成11年度		
附属施設の概要		該当なし									

3 . 教 育 課 程 等 の 概 要

3 - 1 . 教 育 課 程 等 の 概 要

シ ス テ ム 工 学 群

教 育 課 程 等 の 概 要

(システム工学群)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 共通科目	教養科目 人文・社会科学等科目	日本国憲法	1	前	2	○			1					兼1 集中
		地域共生概論	1	前	2	○								兼1
		文化としての戦略と戦術	1	後	2	○								兼1
		国際協力フロンティア	1	後	2	○								兼1
		検証：日本の都市	1	前・後	1	○								兼1 集中
		都市問題	1	前・後	1	○								兼1 集中
		人権問題	1	前・後	1	○								兼1 集中
		基礎心理学	1	前・後	2	○								兼1
		体育理論	1	前・後	1	○								兼1
		体育実技	1	前・後	1		○							兼4
		技術と安全	2	前	2	○								
		知的財産権と特許	3	前	2	○								兼1
		21世紀の社会学	1・2・3	前・後	2	○								
		技術者倫理	1・2・3	前・後	2	○								
		問題解決の発想と表現	1・2・3	前・後	2	○								
		自己を見つめる	1・2・3	前・後	2	○								
		社会福祉入門	1・2・3	前・後	2	○								
		人文地理学	1・2・3	前・後	2	○								
		世界の名作を読む	1・2・3	前・後	2	○								
		人類の歴史・地球の現在	1・2・3	前・後	2	○								
		道徳教育論	1・2・3	前・後	2	○								
		21世紀の女性と仕事	1・2・3	前・後	2	○								
		日本語表現法	1・2・3	前・後	2	○								
		音楽理論の基礎	1・2・3	前・後	2	○								
		歴史と人間	1・2・3	前・後	2	○								
		企業戦略と企業文化	1・2・3	前・後	2	○								
		ドイツ語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		ドイツ語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		フランス語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		フランス語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		中国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		中国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		韓国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		韓国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		小計(34科目)	-		55		-		1	0	0	0	0	兼12 -
	基礎科目(英語)	Reading/Listening 1	1	前	1		○							兼6
		Reading/Listening 2	1	前	1		○							兼6
		Science English	1	後	1		○							兼4
		Science Lab	1	後	1		○							兼4
		Thinking in English 1	2	前	1		○							兼5
		Thinking in English 2	2	前	1		○							兼5
		Science Reading1	2	後	1		○							兼6
		Science Reading2	2	後	1		○							兼6
		Global Citizen	3	前	2		○							兼1
		Business/TOEIC English	3	前	2		○							兼1
		Technical Reading	3	後	2		○							兼1
		Technical Presentation/Writing	3	後	2		○							兼1
		小計(12科目)	-		0	16	0	-	0	0	0	0	0	兼10 -
	基礎科目(人材育成)	スタディスキルズ1	1	前	2		○							兼11
		スタディスキルズ2	1	後	1		○							兼11
		キャリア・プラン1	3	通年	1		○							兼1
		キャリア・プラン2	3	後	1		○							兼1
		チャレンジポイント1	1・2・3	通年	1			○						兼1
		チャレンジポイント2	1・2・3	通年	1			○						兼1
		小計(6科目)	-		0	7	0	-	0	0	0	0	0	兼11 -

(システム工学群)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 共通科目	教養科目	教養の物理学 1	1	前	2	○								兼1
		教養の物理学 2	1	前	2	○								兼1
		現代化学の基礎	1	後	2	○								兼2
		生命科学	1	後	2	○								兼1
		応用化学概論	2	後	2	○								兼2
		ヒトの生物学	2	後	2	○								兼1
		エネルギー学の基礎	1・2・3	後	2	○								
		宇宙とその歴史	1・2・3	後	2	○								
		変化する地球環境	1・2・3	後	2	○								
		身近な統計	1・2・3	後	2	○								
		科学的な見方・考え方	1・2・3	後	2	○								
		生物学の歴史	1・2・3	後	2	○								
		小計 (12科目)	-		0	24	0	-	0	0	0	0	0	兼6 -
	基礎科目 (数学)	基礎数学 1	1	前	1	○								兼3
		基礎数学 2	1	前	1	○								兼5
		基礎数学演習	1	前	1	○								兼3
		数学 1	1	前	2	○								兼7
		数学 2	1	前	2	○								兼7
		数学 3	1	後	2	○								兼5
		数学 4	1	後	2	○								兼3
		数学 5	2	前	2	○								兼3
		数学 6	2	前	2	○								兼1
		数学 7	2	後	2	○								兼2
		数学 8	2	後	2	○								兼1
		小計 (11科目)	-		0	19	0	-	0	0	0	0	0	兼7 -
	基礎科目 (情報処理)	コンピュータリテラシー	1	前	2		○		2		1			
		情報科学 1	1	前	2		○		1	1				兼2
		情報科学 2	1	後	2		○		1	1				兼2
		情報科学 3	1	後	2		○			2				
		小計 (4科目)	-		0	8	0	-	4	4	1	0	0	兼3 -

印科目は、放送大学科目を示す

(システム工学群)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	工学系共通科目	力学基礎	1	前		2	○		1					兼2
		力学	1	前		2	○		1	1				
		電気回路基礎	1	前		2	○		1	1				
		地域再生システム論	1	前		2	○							兼1
		工学概論	2	前		2	○		4	1				兼6 集中
		電磁気学基礎	2	前		2	○		1	1				兼1
		電子回路基礎	2	前		2	○		1		1			
		地球科学概論	2	前		2	○							兼1
		技術開発概論	2	前		2	○							兼1
		マルチメディアプレゼンテーション	2	後		2	○		1					
		インターンシップ	3	前		2		○	1					
		地域再生システム論	3	後		2	○							兼1
		小計(14科目)	-		0	24	0	-	8	3	1	0	0	兼10 -
	専門基礎科目	デザイン基礎	1	前		2	○			1				
		運動と振動	1	後		2	○		1					
		材料力学	1	後		2	○		1					
		CAD・図学	1	後		2	○		2	1				
		専門ガイダンス	1	後		2	○		23	8	1			
		システム工学実験	1	後		2		○	8	4				
		光学基礎	1	後		2	○		1					
		熱力学	2	前		2	○			1				
		流れの科学	2	前		2	○		1					
		計測基礎	2	前		2	○			1				
		制御基礎	2	前		2	○		1					
		景観デザイン	2	前		2	○		1					
		測量学1	2	前		2	○		1					
		企業見学	2	後		1		○	3					
		小計(14科目)	-		0	27	0	-	23	8	1	0	0	-

(システム工学群)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	専門発展科目	機械システムデザイン 1	2	前		2	○		1					
		機械加工学	2	前		2	○		1					
		固体力学 1	2	後		2	○		1					
		機械力学 1	2	後		2	○			1				
		コンピュータ制御	2	後		2	○		1					
		メカトロニクス 1	2	後		2	○			1				
		機械システムデザイン 2	2	後		2	○		1					
		シミュレーション工学 1	2	後		2	○		1					
		機械工学概論	2	後		2	○		1					
		ロボット工学概論	2	後		2	○		1					
		宇宙工学概論	2	後		2	○			1				
		制御工学 1	3	前		2	○		1					
		データ解析と信号処理	3	前		2	○		1					
		流体力学	3	前		2	○		1					
		エネルギー工学	3・4	前		2	○			1				
		ロボット運動学	3	後		2	○		1					
		自動車工学	3	後		2	○		1					
		航空力学	3	後		2	○							兼1
		小計 (18科目)			0	36	0	—	7	3	0	0	0	兼1 -
	機械系科目 専攻領域科目	機械システム工学基礎実験	2	後		2		○		1	1			
		固体力学 2	3	前		2	○		1					
		機械力学 2	3	前		2	○		1					
		創造設計 1	3	前		2	○		1					
		シミュレーション工学 2	3	前		2	○			1				
		テクニカルスキルズ	3	前		2		○		1				
		材料・強度設計	3	前		2	○		1					
		伝熱工学	3	後		2	○			1				
		制御工学 2	3	後		2	○		1					
		工学モデル論	3	後		2	○		1					
		人工知能	3	後		2	○		1					
		マシンビジョン	3	後		2	○		1					
		コンピュータ応用解析	3	後		2	○		1					
		コンピュータ応用設計	3	後		2	○		1					
		軽構造工学	3	後		2	○		1					
		脳情報学	3	後		2	○				1			
		機械英語	3	後		2	○		1					
		先端機械特別講義 1	3	後		1	○		1					
		創造設計 2	4	前		2	○		1					
		形状創出加工学	4	前		2	○		1					
		メカトロニクス 2	4	前		2	○			1				
		ロボット制御工学	4	前		2	○		1					
		宇宙計測工学	4	前		2	○			1				
		誘導制御	4	前		2	○		1					
		先端機械特別講義 2	4	後		1	○		1					
		卒業研究	4	通年		8		○	8	3	1			
		小計 (26科目)	-		0	56	0	-	8	4	1	0	0	-

(システム工学群)

科目 区分			授業科目の名称	配当年度		単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	専門発展科目	通信概論	2	前		2		○			1						兼1		
		情報処理概論	2	前		2		○			1								
		通信処理概論	2	後		2		○			1								
		電磁気学	2	後		2		○				1							
		回路理論	2	後		2		○			1								
		電子物性基礎	2	後		2		○			1								
		アルゴリズムとデータ構造	2	後		2		○				1							
		論理回路	2	後		2		○											
		半導体工学	3	前		2		○			1								
		電子デバイス	3	前		2		○			1								
		計算機アーキテクチャ	3	前		2		○											
		回路理論	3	前		2		○			1								
		電磁波・光波	3	前		2					1								
		信号解析	3	前		2		○				1							
		アナログ回路	3	後		2		○			1								
		ディジタル集積回路	3	後		2		○			1								
		デバイスプロセス	3	後		2		○											
		光デバイス	3	後		2		○			1								
		光通信システム	3	後		2		○			1								
	小計（19科目）			—		0	38	0	—			7	3	0	0	0	兼3	—	
	電子・光系科目	専攻領域科目	電子・光システムセミナー1	2	後		1			○		7	3					兼1 兼1 兼1 兼1	
			電子・光システム工学実験1	2	後		2				○	3	1						
			プログラミング演習	2	後		2				○		1						
			電子・光システムセミナー2	3	前		2				○	6	3						
			電子・光システム工学実験2	3	前		2					6	3						
			アナログ・ディジタル通信	3	前		2			○									
			量子力学基礎	3	前		2			○									
			電力システム概論	3	前		2			○									
			生体情報工学	3	前		2			○									
			電子工学セミナー1	3	後		2				○	2	2						
			電子工学実験1	3	後		2					2	2						
			光エレクトロニクスセミナー1	3	後		2					4							
		光エレクトロニクス実験1	3	後		2					4								
		映像音響メディア	3	後		2				○									
		画像処理	3	後		2				○									
		通信方式	3	後		2				○									
		数値計算法	3	後		2				○									
		コンピュータグラフィックス	3	後		2				○									
		エネルギー・ビーム工学	3	後		2				○									
		量子と光	3	後		2				○									
		電子工学セミナー2	4	前		2					○	2	2						
		電子工学実験2	4	前		2						2	2						
		光エレクトロニクスセミナー2	4	前		2						3							
光エレクトロニクス実験2		4	前		2						3								
VLSIシステムデザイン概論	4	前		2				○		1									
通信機器概論	4	前		2				○		1									
ウェブメディア	4	前		2				○											
電波法規	4	前		2				○											
卒業研究	4	通年		8					○	5	3								
小計（29科目）			—		0	63	0	—			7	3	0	0	0	兼10	—		

(システム工学群)

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	専門発展科目	構造の力学 1	2	前		2		○			1								
		コンクリート工学	2	前		2		○				1							
		まちづくり計画	2	前		2		○			1								
		鉄筋コンクリート	2	後		2		○			1								
		社会システム工学概論	2	後		2		○			1								
		プロジェクトマネジメント	2	後		2		○			1								
		建築構造設計	2	後		2		○				1							
		住宅設計	2	後		2		○				1							
		測量学 2	3	前		2		○			1								
		橋梁工学	3	後		2		○			1								
		構造の力学2	3	後		2		○			1								
		都市計画	3	後		2		○			1								
		小計（12科目）			—		0	24	0				5	2	0	0	0		-
	建築・都市デザイン系科目	専攻領域科目	建築設備設計	2	前		2		○			1						兼1	
			構造実験	2	前		2					○	1						
			室内環境デザイン	2	後		2		○				1						
			建築史	2	後		2		○			1							
			景観デザイン演習	3	前		2			○		1							
			構造設計演習	3	前		2			○		1							
			システム解析	3	前		2		○									兼1	
			測量実習	3	前		2				○	1							
			建築デザイン演習	3	前		2			○			1						
			建造物の維持管理	3	前		2		○				1						
			コンストラクションマネジメント	3	前		2		○			1							
			会計総論	3	前		2		○									兼1	
			建築計画	3	後		2		○			1							
			木造建築設計	3	後		2		○									兼1	
			公共経済学	3	後		2		○									兼1	
			経営組織論	3	後		2		○									兼1	
			防災システム計画	3	後		2		○			1							
			建築スタジオ演習	3	後		2			○			1						
			ファシリティマネジメント	3	後		2		○			1							
			土質力学	3	後		2		○			1							
			社会システム経営	3	後		2		○									兼1	
			リモセンとGIS	4	前		2		○			1							
			建築デザイン特論	4	前		2		○				1						
			居住環境整備計画	4	後		2		○			1							
			景観デザイン特論	4	後		2		○			1							
			耐久・疲労設計	4	後		2		○			1							
			建築法規	4	後		2		○										兼1
			卒業研究	4	通年		8			○		4	2						兼3
		小計（28科目）			-		0	62	0	-		6	2	0	0	0	0	兼6	-
合計（237科目）			-		0	459	0	-		23	8	1				兼67	-		
学位又は称号			学士（工学）			学位又は学科の分野			工学関係										
卒業要件及び履修方法									授業期間等										
大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を17単位以上、自然科学等科目を17単位以上、専門科目を60単位以上かつ修得した単位の合計が124単位以上とする。									1 学年の学期区分				2 期						
									1 学期の授業期間				15 週						
									1 時限の授業時間				90 分						

3 - 2 . 教 育 課 程 等 の 概 要

環 境 理 工 学 群

別記様式第2号(その2)

教 育 課 程 等 の 概 要

(環境理工学群)

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学 共通科目	人文・社会科学等科目	教養科目	日本国憲法	1 前		2		○			1						兼1	集中
			地域共生概論	1 前		2		○							兼1			
			文化としての戦略と戦術	1 後		2		○							兼1			
			国際協力フロンティア	1 後		2		○										
			検証：日本の都市	1 前・後		1		○							兼1	集中		
			都市問題	1 前・後		1		○							兼1	集中		
			人権問題	1 前・後		1		○							兼1	集中		
			基礎心理学	1 前・後		2		○							兼1			
			体育理論	1 前・後		1		○							兼1			
			体育実技	1 前・後		1			○						兼4			
			技術と安全	2 前		2		○							兼1			
			知的財産権と特許	3 前		2		○							兼1			
			21世紀の社会学	1・2・3 前・後		2		○										
			技術者倫理	1・2・3 前・後		2		○										
			問題解決の発想と表現	1・2・3 前・後		2		○										
			自己を見つめる	1・2・3 前・後		2		○										
			社会福祉入門	1・2・3 前・後		2		○										
			人文地理学	1・2・3 前・後		2		○										
			世界の名作を読む	1・2・3 前・後		2		○										
			人類の歴史・地球の現在	1・2・3 前・後		2		○										
			道徳教育論	1・2・3 前・後		2		○										
			21世紀の女性と仕事	1・2・3 前・後		2		○										
			日本語表現法	1・2・3 前・後		2		○										
			音楽理論の基礎	1・2・3 前・後		2		○										
			歴史と人間	1・2・3 前・後		2		○										
			企業戦略と企業文化	1・2・3 前・後		2		○										
			ドイツ語入門	1・2・3 前・後		2		○										
			ドイツ語入門	1・2・3 前・後		2		○										
			フランス語入門	1・2・3 前・後		2		○										
			フランス語入門	1・2・3 前・後		2		○										
			中国語入門	1・2・3 前・後		2		○										
			中国語入門	1・2・3 前・後		2		○										
			韓国語入門	1・2・3 前・後		2		○										
			韓国語入門	1・2・3 前・後		2		○										
	小計（34科目）			-		0	55	0	-			1	0	0	0	0	兼12	-
	基礎科目（英語）	Reading/Listening 1	1 前		1				○								兼6	
		Reading/Listening 2	1 前		1				○								兼6	
		Science English	1 後		1				○								兼4	
		Science Lab	1 後		1				○								兼4	
		Thinking in English 1	2 前		1				○								兼5	
		Thinking in English 2	2 前		1				○								兼5	
		Science Reading1	2 後		1				○								兼6	
		Science Reading2	2 後		1				○								兼6	
		Global Citizen	3 前		2				○								兼1	
		Business/TOEIC English	3 前		2				○								兼1	
Technical Reading		3 後		2				○								兼1		
Technical Presentation/Writing		3 後		2				○								兼1		
小計（12科目）			-		0	16	0	-			0	0	0	0	0	兼10	-	
基礎科目（人材育成）	スタディスキルズ 1	1 前		2				○								兼11		
	スタディスキルズ 2	1 後		1				○								兼11		
	キャリア・プラン 1	3 通年		1				○								兼1		
	キャリア・プラン 2	3 後		1				○								兼1		
	チャレンジポイント 1	1・2・3 通年		1					○							兼1		
	チャレンジポイント 2	1・2・3 通年		1					○							兼1		
	小計（6科目）			-		0	7	0	-			0	0	0	0	0	兼11	-

(環境理工学群)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 共通科目	教養科目	教養の物理学 1	1	前	2	○								兼1
		教養の物理学 2	1	前	2	○			1					
		現代化学の基礎	1	後	2	○			1	1				
		生命科学	1	後	2	○				1				
		応用化学概論	2	後	2	○			1	1				
		ヒトの生物学	2	後	2	○			1					
		エネルギー学の基礎	1・2・3	後	2	○								
		宇宙とその歴史	1・2・3	後	2	○								
		変化する地球環境	1・2・3	後	2	○								
		身近な統計	1・2・3	後	2	○								
		科学的な見方・考え方	1・2・3	後	2	○								
		生物学の歴史	1・2・3	後	2	○								
		小計 (12科目)	-		0	24	0	-	3	2	0	0	0	兼1 -
	自然科学等科目	基礎数学 1	1	前	1	○								兼3
		基礎数学 2	1	前	1	○								兼5
		基礎数学演習	1	前	1	○								兼3
		数学 1	1	前	2	○								兼7
		数学 2	1	前	2	○								兼7
		数学 3	1	後	2	○								兼5
		数学 4	1	後	2	○								兼3
		数学 5	2	前	2	○								兼3
		数学 6	2	前	2	○								兼1
		数学 7	2	後	2	○								兼2
		数学 8	2	後	2	○								兼1
		小計 (11科目)	-		0	19	0	-	0	0	0	0	0	兼7 -
	基礎科目 (情報処理)	コンピュータリテラシー	1	前	2		○			1				
		情報科学 1	1	前	2		○		1					兼3
		情報科学 2	1	後	2		○		1					兼3
		情報科学 3	1	後	2		○		2					
		小計 (4科目)	-		0	8	0	-	3	1	0	0	0	兼6 -

印科目は、放送大学科目を示す

(環境理工学群)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	工学系共通科目	力学基礎	1	前	2	○				2				兼1
		力学	1	前	2	○								兼2
		電気回路基礎	1	前	2	○								兼2
		地域再生システム論	1	前	2	○								兼1
		工学概論	2	前	2	○			3					兼8 集中
		電磁気学基礎	2	前	2	○				1				兼2
		電子回路基礎	2	前	2	○								兼2
		地球科学概論	2	前	2	○				1				
		技術開発概論	2	前	2	○			1					
		マルチメディアプレゼンテーション	2	後	2	○								兼1
		インターンシップ	3	前	2			○	1					
		地域再生システム論	3	後	2	○								兼1
		小計(14科目)	-		0	24	0	-	4	2	0	0	0	兼15 -
	専門基礎科目	基礎化学	1	前	2	○				1				
		生物材料概論	1	前	2	○			1					
		現代物理学基礎	1	前	2	○			1					
		有機化学序論	1	後	2	○			1	1				
		細胞生物学	1	後	2	○				1				
		物理化学	2	前	2	○			1	1				
		無機化学	2	前	2	○			1					
		環境熱科学	2	前	2	○				1				
		セミナー1	2	後	2		○		10	6				
		物理学実験	2	後	2			○	5	2				
		企業見学	3	前	1			○	1					
		生物化学実験	3	前	2			○	4	3				
		セミナー2	4	前	2		○		9	6				
		セミナー3	4	後	2		○		9	6				
		小計(14科目)	-		0	23	0	-	11	6	0	0	0	-
	専門発展科目	環境概論	1	後	2	○			1					
		有機化学	2	前	2	○			1					
		生化学	2	前	2	○			1					
		材料の科学	2	前	2	○			1					
		計測と解析	2	前	2	○			1					
		先進科学への招待	2	後	2	○			10	6				
		高分子科学	2	後	2	○								兼1
		生物工学概論	2	後	2	○				1				
		分子遺伝学	2	後	2	○			1					
		材料の構造	2	後	2	○			1					
		材料技術史	2	後	2	○								兼1
		地球の活動と資源形成	2	後	2	○			1					
		界面科学	3	前	2	○				1				
		生物環境工学	3	前	2	○				1				
		ナノ材料設計	3	前	2	○			1					
		量子力学基礎	3	前	2	○			1					
		材料プロセスと環境	3	前	2	○			1					
		ライフサイクルアセスメント	3	前	2	○								兼1
		生体生理化学	3	後	2	○			1					
		食品工学	3	後	2	○			1					
		エネルギー・ビーム工学	3	後	2	○			1					
		物質循環システム	3	後	2	○			1					
		小計(22科目)	-		0	44	0	-	10	6	0	0	0	兼3 -

(環境理工学群)

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	化学・生命科学	醸造工学	3	後		2		○			1					兼1	
		酵素工学	3	後		2		○				1					
		蛋白質工学	3	後		2		○			1						
		分析化学	3	後		2		○			1						
		遺伝子工学	3	後		2		○			1						
		真核分子生物学	3	後		2		○			1						
		卒業研究	4	通年		8			○		4	2					
		小計（7科目）	-		0	20	0	-			4	2	0	0	0	兼1	-
	ナノ・物質科学	材料強度の原子論	3	後		2		○			1					兼1	
		結晶物理学	3	後		2		○			1						
		半導体工学	3	後		2		○									
		固体物性	3	後		2		○				1					
		統計物理	3	後		2		○				1					
		量子と光	3	後		2		○			1						
		卒業研究	4	通年		8			○		4	2					
		小計（7科目）	-		0	20	0	-			4	2	0	0	0	兼1	-
	環境科学	環境化学	3	後		2		○				1				兼1	
		環境の物理学	3	後		2		○			1						
		環境材料学	3	後		2		○			1						
		水圏環境工学	3	後		2		○			1						
		生物資源科学	3	後		2		○				1					
		エネルギー工学	3	後		2		○									
		野外環境実習	3	後		1				1	2						
		卒業研究	4	通年		8			○		4	4					
	小計（8科目）	-		0	21	0	-			5	4	0	0	0	兼1	-	
合計（149科目）			-		0	281	0	-			12	6	0	0	0	兼62	-
学位又は称号		学士（理工学）			学位又は学科の分野				工学関係、理学関係								
卒業要件及び履修方法									授業期間等								
大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を17単位以上、自然科学等科目を17単位以上、専門科目を60単位以上かつ修得した単位の合計が124単位以上とする。									1学年の学期区分				2期				
									1学期の授業期間				15週				
									1時限の授業時間				90分				

3 - 3 . 教 育 課 程 等 の 概 要

情 報 学 群

別記様式第2号(その2)

教 育 課 程 等 の 概 要

(情報学群)

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
大学 共通科目	人文・社会科学等科目	教養科目	日本国憲法	1 前		2		○			1						兼1	集中	
			地域共生概論	1 前		2		○								兼1			
			文化としての戦略と戦術	1 後		2		○											
			国際協力フロンティア	1 後		2		○								兼1			
			検証：日本の都市	1 前・後		1		○				1						兼1	集中
			都市問題	1 前・後		1		○								兼1	集中		
			人権問題	1 前・後		1		○								兼1	集中		
			基礎心理学	1 前・後		2		○								兼1			
			体育理論	1 前・後		1		○								兼1			
			体育実技	1 前・後		1			○							兼4			
			技術と安全	2 前		2		○								兼1			
			知的財産権と特許	3 前		2		○											
			21世紀の社会学	1・2・3 前・後		2		○											
			技術者倫理	1・2・3 前・後		2		○											
			問題解決の発想と表現	1・2・3 前・後		2		○											
			自己を見つめる	1・2・3 前・後		2		○											
			社会福祉入門	1・2・3 前・後		2		○											
			人文地理学	1・2・3 前・後		2		○											
			世界の名作を読む	1・2・3 前・後		2		○											
			人類の歴史・地球の現在	1・2・3 前・後		2		○											
			道德教育論	1・2・3 前・後		2		○											
			21世紀の女性と仕事	1・2・3 前・後		2		○											
			日本語表現法	1・2・3 前・後		2		○											
			音楽理論の基礎	1・2・3 前・後		2		○											
			歴史と人間	1・2・3 前・後		2		○											
			企業戦略と企業文化	1・2・3 前・後		2		○											
			ドイツ語入門	1・2・3 前・後		2		○											
			ドイツ語入門	1・2・3 前・後		2		○											
			フランス語入門	1・2・3 前・後		2		○											
			フランス語入門	1・2・3 前・後		2		○											
			中国語入門	1・2・3 前・後		2		○											
			中国語入門	1・2・3 前・後		2		○											
			韓国語入門	1・2・3 前・後		2		○											
			韓国語入門	1・2・3 前・後		2		○											
	小計（34科目）			-		0	55	0	-			2	0	0	0	0	兼11	-	
	基礎科目（英語）	Reading/Listening 1	1 前		1				○		1						兼5		
		Reading/Listening 2	1 前		1				○							兼5			
		Science English	1 後		1				○							兼4			
		Science Lab	1 後		1				○							兼4			
		Thinking in English 1	2 前		1				○		1						兼5		
		Thinking in English 2	2 前		1				○							兼5			
		Science Reading1	2 後		1				○							兼6			
		Science Reading2	2 後		1				○							兼6			
		Global Citizen	3 前		2				○							兼1			
		Business/TOEIC English	3 前		2				○										
Technical Reading		3 後		2				○							兼1				
Technical Presentation/Writing		3 後		2				○							兼1				
小計（12科目）			-		0	16	0	-				1	0	0	0	0	兼9	-	
基礎科目（人材育成）	スタディスキルズ 1	1 前		2				○								兼11			
	スタディスキルズ 2	1 後		1				○								兼11			
	キャリア・プラン 1	3 通年		1				○								兼1			
	キャリア・プラン 2	3 後		1				○								兼1			
	チャレンジポイント 1	1・2・3 通年		1					○							兼1			
	チャレンジポイント 2	1・2・3 通年		1					○							兼1			
	小計（6科目）			-		0	7	0	-			0	0	0	0	0	兼11	-	

(情報学群)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 共通科目	教養科目	教養の物理学 1	1	前	2	○								兼1
		教養の物理学 2	1	前	2	○								兼1
		現代化学の基礎	1	後	2	○								兼2
		生命科学	1	後	2	○								兼1
		応用化学概論	2	後	2	○								兼2
		ヒトの生物学	2	後	2	○								兼1
		エネルギー学の基礎	1・2・3	後	2	○								
		宇宙とその歴史	1・2・3	後	2	○								
		変化する地球環境	1・2・3	後	2	○								
		身近な統計	1・2・3	後	2	○								
		科学的な見方・考え方	1・2・3	後	2	○								
		生物学の歴史	1・2・3	後	2	○								
		小計(12科目)	-		0	24	0	-	0	0	0	0	0	兼6
	基礎科目(数学)	基礎数学 1	1	前	1	○								兼3
		基礎数学 2	1	前	1	○								兼5
		基礎数学演習	1	前	1	○								兼3
		数学 1	1	前	2	○								兼7
		数学 2	1	前	2	○								兼7
		数学 3	1	後	2	○								兼5
		数学 4	1	後	2	○								兼3
		数学 5	2	前	2	○								兼3
		数学 6	2	前	2	○								兼1
		数学 7	2	後	2	○								兼2
		数学 8	2	後	2	○								兼1
		小計(11科目)	-		0	19	0	-	0	0	0	0	0	兼7
	基礎科目(情報処理)	コンピュータリテラシー	1	前	2		○		1					
		情報科学 1	1	前	2		○				1			兼3
		情報科学 2	1	後	2		○				1			兼3
		情報科学 3	1	後	2		○							
		小計(4科目)	-		0	8	0	-	1	0	3	0	0	兼5

印科目は、放送大学科目を示す

(情報学群)

科目 区分		授業科目の名称	配当年次		単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	工学系共通科目	力学基礎	1	前		2		○									兼3	集中
		力学	1	前		2		○									兼2	
		電気回路基礎	1	前		2		○									兼2	
		地域再生システム論	1	前		2		○									兼1	
		工学概論	2	前		2		○			1		1				兼9	
		電磁気学基礎	2	前		2		○									兼3	
		電子回路基礎	2	前		2		○									兼2	
		地球科学概論	2	前		2		○									兼1	
		技術開発概論	2	前		2		○									兼1	
		マルチメディアプレゼンテーション	2	後		2		○									兼1	
		インターンシップ	3	前		2			○		1							
		地域再生システム論	3	後		2		○									兼1	
		小計（14科目）		-		0	24	0	-			2	0	1	0	0	兼19	
	専門基礎科目	情報学群ガイダンス	1	前		2		○			7	2	5				兼1	
		応用コンピュータリテラシー	1	前		2		○					1					
		情報代数	1	前		2		○			1							
		情報と倫理	1	前		2		○			1							
		通信網概論	1	前		2		○			1							
		計算機システム	1	前		2		○			1							
		離散数学	1	後		2		○			1							
		情報メディア概論	1	後		2		○					1					
		感覚・神経生物学	2	前		2		○										
		計算機言語	2	前		2		○					1					
		情報と職業	2	前		2		○			1							
		信号理論基礎	2	前		2		○				1						
		オートマトンと形式言語	2	前		2		○					1					
		情報理論基礎	2	前		2		○			1							
		アルゴリズムとデータ構造	2	前		2		○					1					
		知覚と認識	2	後		2		○			1							
		画像処理	2	後		2		○			1							
		数値計算法	2	後		2		○			1							
		映像音響メディア	2	後		2		○			2							
		通信方式	2	後		2		○			1							
		論理回路	2	後		2		○			1							
	小計（21科目）		-		0	42	0	-			7	2	5	0	0	兼1	-	
	専門発展科目	認知心理学	3	前		2		○			1		1				兼1 兼1	
		ウェブメディア	3	前		2		○					1					
		パターン認識と理解	3	前		2		○					1					
		情報セキュリティ	3	前		2		○			1							
		計算機ネットワーク	3	前		2		○					1					
		アナログ・デジタル通信	3	前		2		○				1						
		計算機アーキテクチャ	3	前		2		○			1							
		符号理論	3	前		2		○			1							
		データベースシステム	3	前		2		○				1						
		ソフトウェア工学	3	後		2		○					1					
		人工知能基礎	3	後		2		○					1					
HCI概論		3	後		2		○					1						
学習と推論		3	後		2		○											
脳情報学		3	後		2		○											
メディアコミュニケーション		3	後		2		○			1								
コンピュータグラフィックス		3	後		2		○			1								
情報ネットワーク設計		3	後		2		○			1								
ワイヤレスアクセスネットワーク		3	後		2		○				1							
オペレーティングシステム		3	後		2		○					1						
コンパイラ		3	後		2		○					1						
小計（20科目）		-		0	22	0	-			6	2	5	0	0	兼2	-		

(情報学群)

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	専攻領域科目	情報学群実験第1	2 前		2				○		1	1			
		情報学群実験第2	2 後		2				○			2			
		情報学群実験第3 i	3 前		2				○		1				
		情報学群実験第4 i	3 前		2				○		1				
		情報学群実験第3 C	3 前		2				○			2			
		情報学群実験第4 C	3 前		2				○			2			
		情報学群セミナー	3 前		2			○		1					
		情報学群特別講義	4 前		2		○			1					
		プロジェクト研究1	4 前		2			○		7	2	5			
		プロジェクト研究2	4 前		2			○		7	2	5			
		プロジェクト研究3	4 後		4			○		7	2	5			
		卒業研究	4 通年		8			○		7	2	5			
		小計（12科目）		-	0	32	0				7	2	5	0	0
合計（144科目）			-	0	249	0		-	7	2	5	0	0	兼64 -	
学位又は称号		学士（情報工学）		学位又は学科の分野				工学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を17単位以上、自然科学等科目を17単位以上、専門科目を60単位以上かつ修得した単位の合計が124単位以上とする。								1学年の学期区分			2 期				
								1学期の授業期間			15 週				
								1時限の授業時間			90 分				

3 - 4 . 教 育 課 程 等 の 概 要

工 学 部 (既 存)

教 育 課 程 等 の 概 要

(物質・環境システム工学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学共通科目	人文・社会科学等科目 教養科目	日本国憲法	1	前	2	○								兼1 集中
		地域共生概論	1	前・後	2	○								兼1 集中
		文化としての戦略と戦術	1	後	2	○								兼1 集中
		国際協力フロンティア	1	後	2	○								兼1 集中
		検証：日本の都市	1	前・後	1	○								兼1 集中
		都市問題	1	前・後	1	○								兼1 集中
		人権問題	1	前・後	1	○								兼1 集中
		基礎心理学	1	前・後	2	○								兼1 集中
		体育理論	1	前・後	1	○								兼1 集中
		体育実技	1	前・後	1		○							兼4 集中
		技術と安全	2	前	2	○								兼1 集中
		知的財産権と特許	3	前	2	○								兼1 集中
		21世紀の社会学	1・2・3	前・後	2	○								
		技術者倫理	1・2・3	前・後	2	○								
		問題解決の発想と表現	1・2・3	前・後	2	○								
		自己を見つめる	1・2・3	前・後	2	○								
		社会福祉入門	1・2・3	前・後	2	○								
		人文地理学	1・2・3	前・後	2	○								
		世界の名作を読む	1・2・3	前・後	2	○								
		人類の歴史・地球の現在	1・2・3	前・後	2	○								
		道徳教育論	1・2・3	前・後	2	○								
		21世紀の女性と仕事	1・2・3	前・後	2	○								
		日本語表現法	1・2・3	前・後	2	○								
		音楽理論の基礎	1・2・3	前・後	2	○								
		歴史と人間	1・2・3	前・後	2	○								
		企業戦略と企業文化	1・2・3	前・後	2	○								
		生命と人生の倫理	1・2・3	前・後	2	○								
		ドイツ語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		ドイツ語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		フランス語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		フランス語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		中国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		中国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		韓国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		韓国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		人文科学特別講義1	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		人文科学特別講義2	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		社会科学特別講義1	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		社会科学特別講義2	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
	小計(39科目)		-	0	69	0	-		0	0	0	0	0	兼17 -
	基礎科目(英語)	Reading/Listening 1	1	前	1		○							兼5
		Reading/Listening 2	1	前	1		○							兼5
		Science English	1	後	1		○							兼4
		Science Lab	1	後	1		○							兼4
		Thinking in English 1	2	前	1		○							兼5
		Thinking in English 2	2	前	1		○							兼5
		Science Reading1	2	後	1		○							兼6
		Science Reading2	2	後	1		○							兼6
		Global Citizen	3	前	2		○							兼1
		Business/TOEIC English	3	前	2		○							兼1
		Technical Reading	3	後	2		○							兼1
		Technical Presentation/Writing	3	後	2		○							兼1
		TOEIC	3	通年	2		○							兼1
	小計(13科目)		-	0	18	0	-		0	0	0	0	0	兼9 -

(物質・環境システム工学科)

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学共通科目	人文・社会科学等科目	基礎科目（人材育成）	スタディスキルズ1	1 前		2			○							兼11	
			スタディスキルズ2	1 後		1			○							兼11	
			キャリア・プラン1	3 通年		1			○							兼1	
			キャリア・プラン2	3 後		1			○							兼1	
			チャレンジポイント1	1・2・3 通年		1				○						兼1	
			チャレンジポイント2	1・2・3 通年		1				○						兼1	
			小計（6科目）	-	0	7	0	-			0	0	0	0	0	兼11	-
大学共通科目	自然科学等科目	教養科目	教養の物理学1	1 前		2		○								兼1	
			教養の物理学2	1 前		2		○								兼1	
			現代化学の基礎	1 後		2		○			1	1					
			生命科学	1 後		2		○			1	1					
			応用化学概論	2 後		2		○			1	1					
			ヒトの生物学	2 後		2		○			1						
			エネルギー学の基礎	1・2・3 後		2		○									
			宇宙とその歴史	1・2・3 後		2		○									
			変化する地球環境	1・2・3 後		2		○									
			身近な統計	1・2・3 後		2		○									
			科学的な見方・考え方	1・2・3 後		2		○									
			生物学の歴史	1・2・3 後		2		○									
			物質の科学と先端技術	1・2・3 後		2		○									
			宇宙像の変換と科学	1・2・3 後		2		○									
			自然科学特別講義1	1・2・3・4 前		1		○								兼1	集中
			自然科学特別講義2	1・2・3・4 前		1		○								兼1	集中
			小計（16科目）	-	0	30	0	-			2	2	0	0	0	兼4	-
	基礎科目（数学）	基礎数学1	1 前		1		○									兼3	
		基礎数学2	1 前		1		○									兼5	
		基礎数学演習	1 前		1		○									兼3	
		数学1	1 前		2		○									兼7	
		数学2	1 前		2		○									兼7	
		数学3	1 後		2		○									兼5	
		数学4	1 後		2		○									兼3	
		数学5	2 前		2		○									兼3	
		数学6	2 前		2		○									兼1	
		数学7	2 後		2		○									兼2	
		数学8	2 後		2		○									兼1	
		小計（11科目）	-	0	19	0	-			0	0	0	0	0	兼7	-	
	基礎科目（情報処理）	コンピュータリテラシー	1 前		2			○			1						
		情報科学1	1 前		2			○								兼1	
		情報科学2	1 後		2			○								兼1	
		情報科学3	1 後		2			○								兼1	
	小計（4科目）	-	0	8	0	-			0	1	0	0	0	0	兼2	-	

印科目は、放送大学科目を示す

(物質・環境システム工学科)

科目 区分		授業科目の名称	配当年次		単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	スキルアップ科目	物質・環境リテラシー	1	前		2		○			2					兼1 集中 集中	
		専門ガイダンス	3	前		2		○			7	3					
		物質・環境システムセミナー1	2	後		2		○			6	3					
		物質・環境システムセミナー2	3	前		2		○			3	1					
		物質・環境システムセミナー3	4	前		2		○			8	5					
		物質・環境システムセミナー4	4	後		2		○			8	5					
		インターンシップ	3	前		2			○		1						
		企業見学	2	前		1			○		1						
	小計（8科目）		-		0	15	0	-			8	5	0	0	0	兼1	-
	共通基礎科目	基礎化学	1	前		2		○				1					兼1
		物理化学序論	1	前		2		○				1					
		有機化学序論	1	後		2		○			1						
		無機化学序論	1	後		2		○			1						
		細胞生物学	1	後		2		○			1						
		力学基礎	2	前		2		○				1					
		電磁気学基礎	2	後		2		○				1					
		熱力学・波動力学基礎	2	後		2		○			1						
		現代物理学基礎	2	前		2		○									
	小計（9科目）		-		0	18	0	-			4	2	0	0	0	兼1	-
	専門共通科目	生物材料概論	1	前		2		○			1					兼2 集中	
		材料技術史	1	後		2		○			1						
		先端材料工学	1	後		2		○			3						
		物性物理学基礎	2	前		2		○			1						
		有機化学	2	前		2		○			1						
		技術開発概論	2	後		2		○			1						
		無機化学	2	後		2		○			2						
		物理化学	2	後		2		○				1					
		生化学	2	前		2		○			1						
		材料の構造と性質	2	後		2		○			1						
		生物工学概論	2	後		2		○				1					
		分析化学	2	前		2		○			1						
		分子遺伝学	2	後		2		○			1						
		界面科学	3	前		2		○				1					
		物理学実験	2	後		2			○		2	1					
		生物・化学実験	3	前		2			○		4	3					
		物性物理学	3	前		2		○				1					
		材料の変形と破壊	3	後		2		○			1						
		ライフサイクルアセスメント	3	前		2		○									
		卒業研究	4	通年		8			○		8	5					
	小計（20科目）		-		0	46	0	-			8	5	0	0	0	兼3	-
	環境関連科目	地球の活動と資源形成	2	後		2		○								兼1	兼1 集中
		生物環境工学	3	前		2		○				1					
		環境科学概論	3	前		2		○									
		物質循環システム	3	後		2		○			1	1					
		地球科学概論	2	前		2		○				1					
		毒と薬	3	後		2		○			1						
		計測と解析	2	前		2		○			1						
野外環境実習		4	前		1			○		1	2						
小計（8科目）		-		0	15	0	-			3	3	0	0	0	兼2	-	
環境材料系科目	材料プロセス工学	1	後		2		○			1							
	化学工学	3	後		2		○				1						
	有機工業化学	3	後		2		○			1							
	無機材料工学	3	前		2		○			1							
	材料科学	2	後		2		○			1							
	材料分子デザイン	3	後		2		○			1							
	材料工学実験	4	前		4			○		3	1						
	小計（7科目）		-		0	16	0	-			4	2	0	0	0		-

(物質・環境システム工学科)

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	生物材料系	生物材料科学	2 前		2		○				1						
		酵素工学	3 前		2		○			1							
		醸造工学	3 前		2		○			1							
		遺伝子工学	3 前		2		○			1							
		食品工学	3 後		2		○			1							
		蛋白質工学	3 後		2		○			1							
		生物生産工学	4 前		2		○			1							
	小計（7科目）		-	0	14	0	-			3	2	0	0	0	-	-	
	フロンティア	フロンティアセミナー 1	1 前		2			○							兼1		
		フロンティアセミナー 2	1 後		2			○							兼1		
		フロンティアセミナー 3	2 前		2			○							兼1		
		フロンティアセミナー 4	2 後		2			○							兼1		
		フロンティア工学特論 1	3 前		2			○							兼1		
		フロンティア工学特論 2	3 後		2			○							兼2		
		フロンティアプロジェクト	4 通年		8			○		1					兼5		
	小計（7科目）		-	0	20	0	-			0	1	0	0	0	兼5	-	
	再地 生域	地域再生システム論	1 後		2		○								兼1		
		地域再生システム論	3 後		2		○								兼1		
	小計（2科目）		-	0	4	0	-			0	0	0	0	0	兼1	-	
	科教 目職	工学概論	2 前		2			○			3					兼9	
		小計（1科目）	-	0	2	0	-			3	0	0	0	0	0	兼9	-
合計（158科目）			-	0	301	0	-			8	5	0	0	0	兼64		
学位又は称号		学士（工学又は学術）		学位又は学科の分野					工学関係								
卒業要件及び履修方法									授業期間等								
大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を17単位以上、自然科学等科目を17単位以上、専門科目を60単位以上かつ修得した単位の合計が124単位以上とする。									1 学年の学期区分				2 期				
									1 学期の授業期間				15 週				
									1 時限の授業時間				90 分				

教 育 課 程 等 の 概 要

(知能機械システム工学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 共通科目	人文・社会科学等科目 教養科目	日本国憲法	1	前	2	○								兼1 集中
		地域共生概論	1	前・後	2	○								兼1 集中
		文化としての戦略と戦術	1	後	2	○								兼1 集中
		国際協力フロンティア	1	後	2	○								兼1 集中
		検証：日本の都市	1	前・後	1	○								兼1 集中
		都市問題	1	前・後	1	○								兼1 集中
		人権問題	1	前・後	1	○								兼1 集中
		基礎心理学	1	前・後	2	○								兼1 集中
		体育理論	1	前・後	1	○								兼1 集中
		体育実技	1	前・後	1		○							兼4 集中
		技術と安全	2	前	2	○								兼1 集中
		知的財産権と特許	3	前	2	○								兼1 集中
		21世紀の社会学	1・2・3	前・後	2	○								
		技術者倫理	1・2・3	前・後	2	○								
		問題解決の発想と表現	1・2・3	前・後	2	○								
		自己を見つめる	1・2・3	前・後	2	○								
		社会福祉入門	1・2・3	前・後	2	○								
		人文地理学	1・2・3	前・後	2	○								
		世界の名作を読む	1・2・3	前・後	2	○								
		人類の歴史・地球の現在	1・2・3	前・後	2	○								
		道徳教育論	1・2・3	前・後	2	○								
		21世紀の女性と仕事	1・2・3	前・後	2	○								
		日本語表現法	1・2・3	前・後	2	○								
		音楽理論の基礎	1・2・3	前・後	2	○								
		歴史と人間	1・2・3	前・後	2	○								
		企業戦略と企業文化	1・2・3	前・後	2	○								
		生命と人生の倫理	1・2・3	前・後	2	○								
		ドイツ語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		ドイツ語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		フランス語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		フランス語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		中国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		中国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		韓国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		韓国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		人文科学特別講義1	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		人文科学特別講義2	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		社会科学特別講義1	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		社会科学特別講義2	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
	小計(39科目)		-	0	69	0	-		0	0	0	0	0	兼17 -
	基礎科目(英語)	Reading/Listening 1	1	前	1		○							兼5
		Reading/Listening 2	1	前	1		○							兼5
		Science English	1	後	1		○							兼4
		Science Lab	1	後	1		○							兼4
		Thinking in English 1	2	前	1		○							兼5
		Thinking in English 2	2	前	1		○							兼5
		Science Reading1	2	後	1		○							兼6
		Science Reading2	2	後	1		○							兼6
		Global Citizen	3	前	2		○							兼1
		Business/TOEIC English	3	前	2		○							兼1
		Technical Reading	3	後	2		○							兼1
		Technical Presentation/Writing	3	後	2		○							兼1
		TOEIC	3	通年	2		○							兼1
	小計(13科目)		-	0	18	0	-		0	0	0	0	0	兼9 -

(知能機械システム工学科)

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学 共通科目	人文・社会科学等科目	基礎科目（人材育成）	スタディスキルズ 1	1 前		2			○							兼11	
			スタディスキルズ 2	1 後		1			○						兼11		
			キャリア・プラン 1	3 通年		1			○						兼1		
			キャリア・プラン 2	3 後		1			○						兼1		
			チャレンジポイント 1	1・2・3 通年		1				○					兼1		
			チャレンジポイント 2	1・2・3 通年		1				○					兼1		
			小計（6科目）	-	0	7	0	-			0	0	0	0	0	兼11	-
大学 共通科目	自然科学等科目	教養科目	教養の物理学 1	1 前		2		○								兼1	
			教養の物理学 2	1 前		2		○								兼1	
			現代化学の基礎	1 後		2		○								兼2	
			生命科学	1 後		2		○								兼1	
			応用化学概論	2 後		2		○								兼2	
			ヒトの生物学	2 後		2		○								兼1	
			エネルギー学の基礎	1・2・3 後		2		○								兼1	
			宇宙とその歴史	1・2・3 後		2		○								兼1	
			変化する地球環境	1・2・3 後		2		○								兼1	
			身近な統計	1・2・3 後		2		○								兼1	
			科学的な見方・考え方	1・2・3 後		2		○								兼1	
			生物学の歴史	1・2・3 後		2		○								兼1	
			物質の科学と先端技術	1・2・3 後		2		○								兼1	
			宇宙像の変換と科学	1・2・3 後		2		○								兼1	
			自然科学特別講義1	1・2・3・4 前		1		○								兼1	集中
			自然科学特別講義2	1・2・3・4 前		1		○								兼1	集中
			小計（16科目）	-	0	30	0	-			0	0	0	0	0	兼8	-
		基礎科目（数学）	基礎数学 1	1 前		1		○									兼3
			基礎数学 2	1 前		1		○									兼5
			基礎数学演習	1 前		1		○									兼3
			数学 1	1 前		2		○									兼7
			数学 2	1 前		2		○									兼7
			数学 3	1 後		2		○									兼5
			数学 4	1 後		2		○									兼3
			数学 5	2 前		2		○									兼3
			数学 6	2 前		2		○									兼1
			数学 7	2 後		2		○									兼2
			数学 8	2 後		2		○									兼1
			小計（11科目）	-	0	19	0	-			0	0	0	0	0	兼7	-
		基礎科目（情報処理）	コンピュータリテラシー	1 前		2			○		1						
			情報科学 1	1 前		2			○			1					
			情報科学 2	1 後		2			○								兼1
			情報科学 3	1 後		2			○								兼1
			小計（4科目）	-	0	8	0	-			1	1	0	0	0	兼1	-

印科目は、放送大学科目を示す

(知能機械システム工学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 基礎科目	機械基礎物理学 1	1 前		2		○				1				
	機械基礎物理学演習	1 前		1			○			1				
	機械基礎物理学 2	1 前		2		○				1				
	物体の変形	1 前		2		○			1					
	物体の変形演習	1 前		1			○		1					
	機械の運動	1 後		2		○			1					
	機械の運動演習	1 後		1			○		1					
	流れの科学	1 後		2		○			1					
	流れの科学演習	1 後		1			○		1					
	創造デザイン	1 前		2		○			1					
	エレクトロニクス基礎	1 後		2		○				1				
	情報処理 1	1 前		2		○				1				
	制御工学 1	2 前		2		○			1					
	知能機械システムデザイン 1	2 前		2		○			1					
	知能機械システムデザイン 2	2 後		2		○			1					
	知能機械システムデザイン演習	2 後		1			○		1					
	知能機械システム工学基礎実験	2 後		2				○		1				
	小計 (17科目)	-	0	29	0	-			5	3	0	0	0	-
専門 共通科目	機械英語	3 前		2		○			1	1	1			
	機械数学	2 前		2		○				1	1			
	情報処理 2	1 後		2		○				1				
	情報処理演習	1 後		1			○			1				
	機械設計概論1	2 後		2		○			2					
	機械設計概論2	3 前		2		○			1	1				
	知能機械創造設計 1	3 前		2		○			1					
	知能機械創造設計 2	3 後		2		○			1					
	リバーエンジニアリング	2 前		2		○			1		1			
	テクニカルスキルズ	3 前		2			○		1	1				
	工業デザイン	2 後		2		○			2					
	実践データ処理	3 後		2		○			1	1				
	知能機械システム総合講義1	3 後		2		○			9	4	1			
	知能機械システム総合講義2	3 後		2		○			9	4	1			
	専門ガイダンス	3 前		1		○			7	2				
	セミナー 1	1 後		2		○			1					
	セミナー 2	2 前		2		○			2	1				
	セミナー 3	3 後		2		○			9	4	1			
	セミナー 4	4 前		2		○			9	4	1			
	知能機械システム工学特別講義 1	3 後		1		○			8	2				
	知能機械システム工学特別講義 2	4 後		1		○			8	2				
	知能機械システム工学特別講義 3	3 前		1		○			1					
	知能機械システム工学特別講義 4	3 後		1		○			1					
	知能機械システム工学特別講義 5	4 前		1		○			1					
	知能機械システム工学特別講義 6	4 後		1		○			1					
	インターンシップ	3 前		2				○	1					兼1
	企業見学	4 前		1				○	1	1				
	卒業研究	4 通年		8			○		9	4	1			
	小計 (28科目)	-	0	53	0	-			10	4	1	0	0	兼1

(知能機械システム工学科)

科目 区分		授業科目の名称	配当年次		単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	システム制御	エンジニアリングソフトウェア	2	後		2		○			1						
		ロボット工学概論	2	前		2		○			1						
		コンピュータ制御	2	後		2		○			1						
		人工知能入門	2	後		2		○			1						
		メカトロニクス	2	後		2		○				1					
		制御工学 2	3	前		2		○			1						
		制御工学 3	3	後		2		○			1						
		電子回路基礎	2	前		2		○					1				
		ロボット運動学	3	後		2		○			1						
		マシンビジョン	3	前		2		○			1						
		コンピュータ応用設計	3	後		2		○			1						
		データ解析と信号処理	3	前		2		○			1						
		自動車工学1	2	後		2		○			1						
		自動車工学2	3	前		2		○			1						
	小計（14科目）		-		0	28	0		-		5	1	1	0	0	-	-
	システム解析	固体力学 1	2	前		2		○			1						
		固体力学 2	3	前		2		○			1						
		機械力学 1	2	前		2		○				1					
		機械力学 2	3	前		2		○			1						
		流体力学 1	2	後		2		○			1						
		流体力学 2	3	後		2		○			1						
		エネルギー工学 1	2	後		2		○				1					
		エネルギー工学 2	3	後		2		○				1					
		工学モデル論	3	前		2		○			1						
		材料強度・設計	2	前		2		○			1						
		形状創出加工学 1	2	前		2		○			1						兼1
		形状創出加工学 2	3	後		2		○									兼1
		シミュレーション工学 1	3	前		2		○			1						
		シミュレーション工学 2	3	後		2		○				1					
	小計（14科目）		-		0	28	0		-		5	3	0	0	0	兼2	-
	再 地 生 域	地域再生システム論	1	後		2		○								兼1	
		地域再生システム論	3	後		2		○								兼1	
	小計（2科目）		-		0	4	0		-		0	0	0	0	0	兼1	-
	科 教 目 職	工学概論	2	前		2		○			2					兼10	
		小計（1科目）	-		0	2	0		-		2	0	0	0	0	兼10	-
合計（165科目）		-		0	295	0		-		10	4	1			兼58		
学位又は称号		学士（工学又は学術）			学位又は学科の分野				工学関係								
卒業要件及び履修方法									授業期間等								
大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を 17 単位以上、自然科学等科目を 17 単位以上、専門科目を 60 単位以上かつ修得した単位の合計が 124 単位以上とする。									1 学年の学期区分			2 期					
									1 学期の授業期間			15 週					
									1 時限の授業時間			90 分					

教 育 課 程 等 の 概 要

(電子・光システム工学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学共通科目	人文・社会科学等科目	日本国憲法	1	前	2	○								兼1 集中
		地域共生概論	1	前・後	2	○								兼1
		文化としての戦略と戦術	1	後	2	○								兼1
		国際協力フロンティア	1	後	2	○								兼1
		検証：日本の都市	1	前・後	1	○								兼1 集中
		都市問題	1	前・後	1	○								兼1 集中
		人権問題	1	前・後	1	○								兼1 集中
		基礎心理学	1	前・後	2	○								兼1
		体育理論	1	前・後	1	○								兼1
		体育実技	1	前・後	1		○							兼4
		技術と安全	2	前	2	○			1					
		知的財産権と特許	3	前	2	○								兼1
		21世紀の社会学	1・2・3	前・後	2	○								
		技術者倫理	1・2・3	前・後	2	○								
		問題解決の発想と表現	1・2・3	前・後	2	○								
		自己を見つめる	1・2・3	前・後	2	○								
		社会福祉入門	1・2・3	前・後	2	○								
		人文地理学	1・2・3	前・後	2	○								
		世界の名作を読む	1・2・3	前・後	2	○								
		人類の歴史・地球の現在	1・2・3	前・後	2	○								
		道徳教育論	1・2・3	前・後	2	○								
		21世紀の女性と仕事	1・2・3	前・後	2	○								
		日本語表現法	1・2・3	前・後	2	○								
		音楽理論の基礎	1・2・3	前・後	2	○								
		歴史と人間	1・2・3	前・後	2	○								
		企業戦略と企業文化	1・2・3	前・後	2	○								
		生命と人生の倫理	1・2・3	前・後	2	○								
		ドイツ語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		ドイツ語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		フランス語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		フランス語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		中国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		中国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		韓国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		韓国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		人文科学特別講義1	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		人文科学特別講義2	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		社会科学特別講義1	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		社会科学特別講義2	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		小計(39科目)	-		0	69	0	-	1	0	0	0	0	兼16 -
	基礎科目(英語)	Reading/Listening 1	1	前	1		○							兼5
		Reading/Listening 2	1	前	1		○							兼5
		Science English	1	後	1		○							兼4
		Science Lab	1	後	1		○							兼4
		Thinking in English 1	2	前	1		○							兼5
		Thinking in English 2	2	前	1		○							兼5
		Science Reading1	2	後	1		○							兼6
		Science Reading2	2	後	1		○							兼6
		Global Citizen	3	前	2		○							兼1
		Business/TOEIC English	3	前	2		○							兼1
		Technical Reading	3	後	2		○							兼1
		Technical Presentation/Writing	3	後	2		○							兼1
		TOEIC	3	通年	2		○							兼1
		小計(13科目)	-		0	18	0	-	0	0	0	0	0	兼9 -

(電子・光システム工学科)

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学共通科目	人文・社会科学等科目	基礎科目(人材育成)	スタディスキルズ1	1 前		2			○							兼11
			スタディスキルズ2	1 後		1			○							兼11
			キャリア・プラン1	3 通年		1			○							兼1
			キャリア・プラン2	3 後		1			○							兼1
			チャレンジポイント1	1・2・3 通年		1				○						兼1
			チャレンジポイント2	1・2・3 通年		1				○						兼1
			小計(6科目)	-	0	7	0	-	-	-	0	0	0	0	0	兼11 -
大学共通科目	自然科学等科目	教養科目	教養の物理学1	1 前		2		○								兼1
			教養の物理学2	1 前		2		○								兼1
			現代化学の基礎	1 後		2		○								兼2
			生命科学	1 後		2		○								兼1
			応用化学概論	2 後		2		○								兼2
			ヒトの生物学	2 後		2		○								兼1
			エネルギー学の基礎	1・2・3 後		2		○								
			宇宙とその歴史	1・2・3 後		2		○								
			変化する地球環境	1・2・3 後		2		○								
			身近な統計	1・2・3 後		2		○								
			科学的な見方・考え方	1・2・3 後		2		○								
			生物学の歴史	1・2・3 後		2		○								
			物質の科学と先端技術	1・2・3 後		2		○								
			宇宙像の変換と科学	1・2・3 後		2		○								
			自然科学特別講義1	1・2・3・4 前		1		○								兼1 集中
			自然科学特別講義2	1・2・3・4 前		1		○								兼1 集中
			小計(16科目)	-	0	30	0	-	-	-	0	0	0	0	0	兼8 -
		基礎科目(数学)	基礎数学1	1 前		1		○								兼3
			基礎数学2	1 前		1		○								兼5
			基礎数学演習	1 前		1		○								兼3
			数学1	1 前		2		○								兼7
			数学2	1 前		2		○								兼7
			数学3	1 後		2		○								兼5
			数学4	1 後		2		○								兼3
			数学5	2 前		2		○								兼3
			数学6	2 前		2		○								兼1
			数学7	2 後		2		○								兼2
			数学8	2 後		2		○								兼1
			小計(11科目)	-	0	19	0	-	-	-	0	0	0	0	0	兼7 -
		基礎科目(情報処理)	コンピュータリテラシー	1 前		2			○							
			情報科学1	1 前		2			○		1		1			
			情報科学2	1 後		2			○				1			
			情報科学3	1 後		2			○		1					
			小計(4科目)	-	0	8	0	-	-	-	2	0	1	0	0	- -

印科目は、放送大学科目を示す

(電子・光システム工学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	専門基礎科目	電子基礎物理A	1	前	2	○			1					
		電子基礎物理B	1	前	2	○			1					
		電子基礎物理C	1	後	2	○			1					
		電気情報数学	1	後	2	○			1					
		基本回路演習	1	前	2		○		1					
		小計 (5科目)	-		0	10	0	-	3	0	0	0	0	- -
	専門共通科目	マルチメディア論	1	後	2	○					1			
		電気磁気	2	前	2	○			1					
		電気磁気	2	前	2	○				1				
		情報処理概論	2	前	2	○			1					
		プログラミング基礎	2	前	2	○				1				
		プログラミング演習	2	前	2		○		1		1			
		回路理論	1	後	2	○			1					
		回路理論	2	後	2	○				1				
		通信概論	2	前	2	○			1					
		デザイン学概論	1	前	2	○				1				
		光学基礎	2	後	2	○			1					
		アナログ回路	3	後	2	○			1					
		信号解析	3	前	2	○				1				
		電力システム概論	4	前	2	○								兼1 集中
		生体情報工学	4	前	2	○								兼1 集中
		エネルギーシステム	4	後	2	○			1					
		小計 (16科目)	-		0	32	0	-	6	3	1	0	0	兼2 -
	集積回路システム	計算とアルゴリズム	2	後	2	○			1					
		論理設計	2	後	2	○			1					
		科学技術計算	3	前	2	○								兼1 集中
		計算機アーキテクチャ	3	前	2	○			1					
		デジタル集積回路	3	後	2	○			1					
		音声情報処理	3	後	2	○				1				
		画像情報処理	3	後	2	○				1				
		VLSIシステムデザイン概論	4	前	2	○			1					
		小計 (8科目)	-		0	16	0	-	3	1	0	0	0	兼1 -
	情報通信システム	通信処理概論	2	前	2	○			1					
		通信ネットワーク	2	後	2	○			1					
		光通信システム	3	後	2	○			1					
		光ネットワーク	3	後	2	○			1					
		電磁波・光波	3	前	2	○			1					
		通信機器概論	4	後	2	○								兼1 集中
		電波法規	4	前	2	○								兼1 集中
		ウェブメディア概論	3	後	2	○				1				
		コンピュータグラフィック基礎	3	前	2	○				1				
		小計 (9科目)	-		0	18	0	-	3	1	1	0	0	兼2 -
	電子・光デバイス	電子物性基礎	2	前	2	○			1					
		半導体基礎	2	後	2	○			1					
		計測基礎	2	後	2	○			1					
		電子デバイス	3	前	2	○			1					
		電子デバイス	3	前	2	○			1					
		光デバイス	3	前	2	○			1					
		デバイスプロセス	3	後	2	○								兼1 集中
		固体電子物理	3	後	2	○			1					
		基礎量子力学	4	後	4	○			1					
		小計 (9科目)	-		0	20	0	-	3	0	0	0	0	兼1 -
	実験	電子・光システム工学実験第1	2	前	2			○	2					兼1
		電子・光システム工学実験第2	2	後	2			○	4					
		電子・光システム工学実験第3	3	前	2			○	4					
		電子・光システム工学実験第4	3	後	2			○	3	1				
		電子・光システム工学実験第5	4	前	2			○	3		1			
		小計 (5科目)	-		0	10	0	-	10	1	1	0	0	兼1 -

(電子・光システム工学科)

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学科共通	専門ガイダンス	1 後		1		○			7	2	1			兼1	
		インターンシップ	3 前		2				○	1	1					
		企業見学	4 前		1				○	1						
		小計(3科目)	-	0	4	0	-		7	2	1	0	0	兼1		-
	セミナー	電子・光システムセミナー1	2 通年		1				○			1				
		電子・光システムセミナー2	3 前		2				○	4						
		電子・光システムセミナー3	3 後		2				○	3	1					
		電子・光システムセミナー4	4 前		2				○	3		1				
		小計(4科目)	-	0	7	0	-			10	2	1	0	0	-	-
	卒研	卒業研究	4 通年		8				○	10	3	1				
		小計(1科目)	-	0	8	0	-			10	3	1	0	0	-	-
	フロンティア	フロンティアセミナー1	1 前		2				○	1						兼1 兼1 兼1 兼2 兼5
		フロンティアセミナー2	1 後		2				○	1						
		フロンティアセミナー3	2 前		2				○							
		フロンティアセミナー4	2 後		2				○							
		フロンティア工学特論1	3 前		2				○							
		フロンティア工学特論2	3 後		2				○							
		フロンティアプロジェクト	4 通年		8				○	1						
		小計(7科目)	-	0	20	0	-			1	0	0	0	0	兼5	-
	再地生域	地域再生システム論	1 後		2			○								兼1
		地域再生システム論	3 後		2			○								兼1
		小計(2科目)	-	0	4	0	-			0	0	0	0	0	兼1	-
	科教目職	工学概論	2 前		2			○		1						兼11
		小計(1科目)	-	0	2	0	-			1	0	0	0	0	兼11	-
合計(159科目)		-	0	302	0	-			10	3	1	0	0	兼69		
学位又は称号		学士(工学又は学術)		学位又は学科の分野				工学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を17単位以上、自然科学等科目を17単位以上、専門科目を60単位以上かつ修得した単位の合計が124単位以上とする。								1学年の学期区分				2期				
								1学期の授業期間				15週				
								1時限の授業時間				90分				

教 育 課 程 等 の 概 要

(情報システム工学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 共通科目	人文・社会科学等科目 教養科目	日本国憲法	1	前	2	○			1					兼1 集中
		地域共生概論	1	前・後	2	○								兼1
		文化としての戦略と戦術	1	後	2	○								兼1
		国際協力フロンティア	1	後	2	○								兼1
		検証：日本の都市	1	前・後	1	○								兼1 集中
		都市問題	1	前・後	1	○			1					兼1 集中
		人権問題	1	前・後	1	○								兼1 集中
		基礎心理学	1	前・後	2	○								兼1
		体育理論	1	前・後	1	○								兼1
		体育実技	1	前・後	1		○							兼1
		技術と安全	2	前	2	○								兼4
		知的財産権と特許	3	前	2	○								兼1
		21世紀の社会学	1・2・3	前・後	2	○								
		技術者倫理	1・2・3	前・後	2	○								
		問題解決の発想と表現	1・2・3	前・後	2	○								
		自己を見つめる	1・2・3	前・後	2	○								
		社会福祉入門	1・2・3	前・後	2	○								
		人文地理学	1・2・3	前・後	2	○								
		世界の名作を読む	1・2・3	前・後	2	○								
		人類の歴史・地球の現在	1・2・3	前・後	2	○								
		道徳教育論	1・2・3	前・後	2	○								
		21世紀の女性と仕事	1・2・3	前・後	2	○								
		日本語表現法	1・2・3	前・後	2	○								
		音楽理論の基礎	1・2・3	前・後	2	○								
		歴史と人間	1・2・3	前・後	2	○								
		企業戦略と企業文化	1・2・3	前・後	2	○								
		生命と人生の倫理	1・2・3	前・後	2	○								
		ドイツ語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		ドイツ語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		フランス語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		フランス語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		中国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		中国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		韓国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		韓国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		人文科学特別講義1	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		人文科学特別講義2	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		社会科学特別講義1	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		社会科学特別講義2	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
	小計(39科目)		-	0	69	0	-		2	0	0	0	0	兼15 -
	基礎科目(英語)	Reading/Listening 1	1	前	1		○							兼5
		Reading/Listening 2	1	前	1		○							兼5
		Science English	1	後	1		○							兼4
		Science Lab	1	後	1		○							兼4
		Thinking in English 1	2	前	1		○							兼5
		Thinking in English 2	2	前	1		○							兼5
		Science Reading1	2	後	1		○							兼6
		Science Reading2	2	後	1		○							兼6
		Global Citizen	3	前	2		○							兼1
		Business/TOEIC English	3	前	2		○							兼1
		Technical Reading	3	後	2		○							兼1
		Technical Presentation/Writing	3	後	2		○							兼1
		TOEIC	3	通年	2		○							兼1
	小計(13科目)		-	0	18	0	-		0	0	0	0	0	兼9 -

(情報システム工学科)

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学 共通科目	人文・社会科学等科目	基礎科目（人材育成）	スタディスキルズ 1	1 前		2			○							兼11		
			スタディスキルズ 2	1 後		1			○							兼11		
			キャリア・プラン 1	3 通年		1			○							兼1		
			キャリア・プラン 2	3 後		1			○							兼1		
			チャレンジポイント 1	1・2・3 通年		1				○						兼1		
			チャレンジポイント 2	1・2・3 通年		1				○						兼1		
			小計（6科目）	-	0	7	0	-			0	0	0	0	0	兼11	-	
大学 共通科目	自然科学等科目	教養科目	教養の物理学 1	1 前		2		○								兼1		
			教養の物理学 2	1 前		2		○				1						
			現代化学の基礎	1 後		2		○								兼2		
			生命科学	1 後		2		○								兼1		
			応用化学概論	2 後		2		○								兼2		
			ヒトの生物学	2 後		2		○								兼1		
			エネルギー学の基礎	1・2・3 後		2		○										
			宇宙とその歴史	1・2・3 後		2		○										
			変化する地球環境	1・2・3 後		2		○										
			身近な統計	1・2・3 後		2		○										
			科学的な見方・考え方	1・2・3 後		2		○										
			生物学の歴史	1・2・3 後		2		○										
			物質の科学と先端技術	1・2・3 後		2		○										
			宇宙像の変換と科学	1・2・3 後		2		○										
			自然科学特別講義1	1・2・3・4 前		1		○								兼1	集中	
			自然科学特別講義2	1・2・3・4 前		1		○								兼1	集中	
			小計（16科目）	-	0	30	0	-			0	1	0	0	0	兼7	-	
		基礎科目（数学）	基礎数学 1	1 前		1		○									兼3	
			基礎数学 2	1 前		1		○									兼5	
	基礎数学演習		1 前		1		○									兼3		
	数学 1		1 前		2		○									兼7		
	数学 2		1 前		2		○									兼7		
	数学 3		1 後		2		○									兼5		
	数学 4		1 後		2		○									兼3		
	数学 5		2 前		2		○									兼3		
	数学 6		2 前		2		○									兼1		
	数学 7		2 後		2		○									兼2		
	数学 8		2 後		2		○									兼1		
	小計（11科目）		-	0	19	0	-			0	0	0	0	0	兼7	-		
	基礎科目（情報処理）		コンピュータリテラシー	1 前		2			○			1						
			情報科学 1	1 前		2			○			1						
			情報科学 2	1 後		2			○				1					
		情報科学 3	1 後		2			○										
	小計（4科目）			-	0	8	0	-			1	1	1	0	0	-	-	

印科目は、放送大学科目を示す

(情報システム工学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	専門基礎科目	情報代数	1	前		○			1					
		離散数学	1	前		○			1					
		情報理論基礎	2	前		○				1				
		数値計算法	2	後		○			1					
		応用解析学	2	前		○				1				
	小計 (5科目)		0	10	0	-	-	-	2	2	0	0	0	-
	情報通信ネットワーク	通信網概論	1	前		○			1					
		オートマトンと形式言語	2	前		○			1					
		通信方式	2	後		○			1					
		アナログ・デジタル通信	2	前		○				1				
		情報セキュリティ	3	前		○			1					
		計算機ネットワーク	3	前		○					1			
		情報ネットワーク設計	3	後		○			1					
		情報システム工学実験第3	3	前・後				○		2	1			
		情報システム工学実験第4	3	前・後				○		2	1			
	小計 (9科目)		0	18	0	-	-	-	2	3	1	0	0	-
	計算機ソフトウェア	計算機言語第1	1	後		○			1					
		計算機言語第2	2	前		○					1			
		アルゴリズムとデータ構造1	2	前		○					1			
		アルゴリズムとデータ構造2	2	前		○					1			
		オペレーティングシステム	3	後		○					1			
		データベースシステム	3	後		○				1				
		ソフトウェア工学	3	後		○			1		1			
		オブジェクト指向プログラミング基礎	2	前		○				1				
		情報システムプログラミング	2	後		○					1			
		情報ネットワークプログラミング	2	後		○					1			
		情報システム工学実験第1	2	前				○		1	1			
		情報システム工学実験第2	2	後				○			2			
	小計 (12科目)		0	24	0	-	-	-	2	2	3	0	0	-
	計算機システム	論理回路理論	1	後		○			1					
		線形回路理論	2	後		○			1					
		電子回路 (情報)	2	後		○				1				
		計算機アーキテクチャ	3	前		○			1					
		計算機システム	3	前		○			1					
		集積回路システム	3	後		○					1			
	小計 (6科目)		0	12	0	-	-	-	1	1	1	0	0	-
	情報処理	知覚と認識	2	後		○			1					
		画像処理	2	後		○			1					
		感覚・神経生物学	2	前		○								兼1 集中
		パターン認識・理解	3	前		○					1			
		コンピュータグラフィックス	3	後		○			1					
		人工知能基礎	3	前		○					1			
		ヒューマンインターフェース概論	3	後		○				1				
	小計 (14科目)		0	14	0	-	-	-	2	1	2	0	0	兼1 -
	人材育成	専門ガイダンス	1	後		○			5	1	1			兼1
		情報と倫理 (情報)	1	前		○			1					
		情報と職業	2	前		○			1					
		インターンシップ	3	前				○	1					
		企業見学	3	前				○	1					
		情報システム工学セミナー	3	後			○		1					
		情報システム工学特別講義	4	前		○			1					
	小計 (7科目)		0	12	0	-	-	-	6	1	1	0	0	兼1 -
	関連研究	プロジェクト研究1	4	前			○		8	3	4			
		プロジェクト研究2	4	前			○		8	3	4			
		プロジェクト研究3	4	前			○		8	3	4			
		卒業研究 (個別創造研究)	4	通年			○		8	3	4			
	小計 (4科目)		0	16	0	-	-	-	8	3	4	0	0	-

(情報システム工学科)

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	フロンティア	フロンティアセミナー 1	1 前		2			○							兼1	
		フロンティアセミナー 2	1 後		2			○							兼1	
		フロンティアセミナー 3	2 前		2			○		1						
		フロンティアセミナー 4	2 後		2			○		1						
		フロンティア工学特論 1	3 前		2			○		1						
		フロンティア工学特論 2	3 後		2			○		1					兼1	
		フロンティアプロジェクト	4 通年		8			○		2					兼4	
	小計 (7科目)		-	0	20	0	-			2	0	0	0	0	兼4	-
	再 地 生 域	地域再生システム論	1 後		2		○								兼1	
		地域再生システム論	3 後		2		○								兼1	
		小計 (2科目)		-	0	4	0	-			0	0	0	0	0	兼1
	科 教 目 職	工学概論	2 前		2		○			1		1			兼10	
		小計 (1科目)		-	0	2	0	-			1	0	1	0	0	兼10
合計 (149科目)			-	0	283	0	-			8	3	4	0	0	兼61	
学位又は称号		学士 (工学又は学術)		学位又は学科の分野				工学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を 17 単位以上、自然科学等科目を 17 単位以上、専門科目を 60 単位以上かつ修得した単位の合計が 124 単位以上とする。								1 学年の学期区分				2 期				
								1 学期の授業期間				15 週				
								1 時限の授業時間				90 分				

教 育 課 程 等 の 概 要

(社会システム工学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 共通科目	人文・社会科学等科目 教養科目	日本国憲法	1	前	2	○			1					兼1 集中
		地域共生概論	1	前・後	2	○								兼1 集中
		文化としての戦略と戦術	1	後	2	○								兼1 集中
		国際協力フロンティア	1	後	2	○								兼1 集中
		検証：日本の都市	1	前・後	1	○								兼1 集中
		都市問題	1	前・後	1	○								兼1 集中
		人権問題	1	前・後	1	○								兼1 集中
		基礎心理学	1	前・後	2	○								兼1 集中
		体育理論	1	前・後	1	○								兼1 集中
		体育実技	1	前・後	1		○							兼4 集中
		技術と安全	2	前	2	○								兼1 集中
		知的財産権と特許	3	前	2	○								兼1 集中
		21世紀の社会学	1・2・3	前・後	2	○								
		技術者倫理	1・2・3	前・後	2	○								
		問題解決の発想と表現	1・2・3	前・後	2	○								
		自己を見つめる	1・2・3	前・後	2	○								
		社会福祉入門	1・2・3	前・後	2	○								
		人文地理学	1・2・3	前・後	2	○								
		世界の名作を読む	1・2・3	前・後	2	○								
		人類の歴史・地球の現在	1・2・3	前・後	2	○								
		道徳教育論	1・2・3	前・後	2	○								
		21世紀の女性と仕事	1・2・3	前・後	2	○								
		日本語表現法	1・2・3	前・後	2	○								
		音楽理論の基礎	1・2・3	前・後	2	○								
		歴史と人間	1・2・3	前・後	2	○								
		企業戦略と企業文化	1・2・3	前・後	2	○								
		生命と人生の倫理	1・2・3	前・後	2	○								
		ドイツ語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		ドイツ語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		フランス語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		フランス語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		中国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		中国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		韓国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		韓国語入門	1・2・3	前・後	2	○								
		人文科学特別講義1	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		人文科学特別講義2	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		社会科学特別講義1	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
		社会科学特別講義2	1・2・3・4	前	1	○								兼1 集中
	小計(39科目)		-	0	69	0	-		1	0	0	0	0	兼16 -
	基礎科目(英語)	Reading/Listening 1	1	前	1		○							兼5
		Reading/Listening 2	1	前	1		○							兼5
		Science English	1	後	1		○							兼4
		Science Lab	1	後	1		○							兼4
		Thinking in English 1	2	前	1		○							兼5
		Thinking in English 2	2	前	1		○							兼5
		Science Reading1	2	後	1		○							兼6
		Science Reading2	2	後	1		○							兼6
		Global Citizen	3	前	2		○							兼1
		Business/TOEIC English	3	前	2		○							兼1
		Technical Reading	3	後	2		○							兼1
		Technical Presentation/Writing	3	後	2		○							兼1
		TOEIC	3	通年	2		○							兼1
	小計(13科目)		-	0	18	0	-		0	0	0	0	0	兼9 -

(社会システム工学科)

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学 共通科目	人文・社会科学等科目	基礎科目（人材育成）	スタディスキルズ 1	1 前		2			○							兼11	
			スタディスキルズ 2	1 後		1			○						兼11		
			キャリア・プラン 1	3 通年		1			○						兼1		
			キャリア・プラン 2	3 後		1			○						兼1		
			チャレンジポイント 1	1・2・3 通年		1				○					兼1		
			チャレンジポイント 2	1・2・3 通年		1				○					兼1		
			小計（6科目）	-	0	7	0	-			0	0	0	0	0	兼11	-
大学 共通科目	自然科学等科目	教養科目	教養の物理学 1	1 前		2		○			1					兼1	
			教養の物理学 2	1 前		2		○								兼2	
			現代化学の基礎	1 後		2		○								兼1	
			生命科学	1 後		2		○								兼2	
			応用化学概論	2 後		2		○								兼1	
			ヒトの生物学	2 後		2		○									
			エネルギー学の基礎	1・2・3 後		2		○									
			宇宙とその歴史	1・2・3 後		2		○									
			変化する地球環境	1・2・3 後		2		○									
			身近な統計	1・2・3 後		2		○									
			科学的な見方・考え方	1・2・3 後		2		○									
			生物学の歴史	1・2・3 後		2		○									
			物質の科学と先端技術	1・2・3 後		2		○									
			宇宙像の変換と科学	1・2・3 後		2		○									
			自然科学特別講義1	1・2・3・4 前		1		○								兼1 集中	
			自然科学特別講義2	1・2・3・4 前		1		○								兼1 集中	
			小計（16科目）	-	0	30	0	-			1	0	0	0	0	兼7	-
		基礎科目（数学）	基礎数学 1	1 前		1		○									兼3
			基礎数学 2	1 前		1		○									兼5
			基礎数学演習	1 前		1		○									兼3
			数学 1	1 前		2		○									兼7
			数学 2	1 前		2		○									兼7
			数学 3	1 後		2		○									兼5
			数学 4	1 後		2		○									兼3
			数学 5	2 前		2		○									兼3
			数学 6	2 前		2		○									兼1
			数学 7	2 後		2		○									兼2
			数学 8	2 後		2		○									兼1
			小計（11科目）	-	0	19	0	-			0	0	0	0	0	兼7	-
		基礎科目（情報処理）	コンピュータリテラシー	1 前		2			○		1						
			情報科学 1	1 前		2			○								兼1
			情報科学 2	1 後		2			○								兼1
			情報科学 3	1 後		2			○								兼1
			小計（4科目）	-	0	8	0	-			1	0	0	0	0	兼2	-

印科目は、放送大学科目を示す

(社会システム工学科)

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	専門基礎科目	セミナー 1	1 後		1			○		9	2				兼5
		セミナー 2	1 後		1			○		9	2				兼5
		材料実験	1 前		2				○		1				
		建造の力学	1 前		2		○			1					
		工学の論理	1 後		2		○			1					
		専門数学	1 前		2		○								兼1
		公共経済学	2 後		2		○								兼1
	小計（7科目）		-	0	12	0	-			9	2	0	0	0	兼5 -
	専門共通科目	社会システム工学概論	1 前		2		○			1					
		水理・河川工学	3 後		2		○				1				
		プログラミング	2 後		2		○			1					
		社会システム工学特別講義 1	2 後		2		○			1					
		インターンシップ	3 前		2				○	1					
		マルチメディアプレゼンテーション	2 後		2		○			1					
		企業見学	1・2・3 後		1				○	1					
		プロジェクト研究	4 通年		8				○	9	2				兼3
		社会システム工学演習	4 通年		8				○	9	1				兼3
		社会システム工学実験	4 通年		8				○	9	2				兼3
	社会システム工学特別講義 2	4 通年		2		○			1						
	小計（11科目）		-	0	39	0	-			9	2	0	0	0	兼3 -
	計画分野	都市計画	2 後		2		○								兼1
		計画技術	1 前		2		○			1					
		まちづくり計画	2 前		2		○			1					
		測量学 1 及び演習	2 前		2			○		1					
		建築計画	3 前		2		○			1					
		測量学 2 及び演習	3 前		2			○		1					
		防災システム計画	3 後		2		○			2					
		測量実習	3 前		2				○	1					
		リモセンとGIS	4 前		2		○			1					
		居住環境整備計画	4 後		2		○			1					
	小計（10科目）		-	0	20	0	-			3	0	0	0	0	兼1 -
	デザイン分野	建築デザイン	1 前		2		○				1				
		建築史	2 後		2		○			1					
		景観デザイン	2 前		2		○			1					
		住宅設計	2 後		2		○				1				
		CAD	1 後		2		○			1					
		建築構造設計	2 前		2		○			1					
		建築デザイン演習	3 前		2			○			1				
		景観デザイン演習	3 前		2			○		1					
		木造建築設計	3 後		2		○				1				
		室内環境デザイン	3 後		2		○			1	1				
		建築スタジオ演習	3 後		2			○			1				
		景観デザイン特論	4 後		2		○			1					
		建築デザイン特論	4 前		2		○				1				
		小計（13科目）		-	0	26	0	-			3	1	0	0	0

(社会システム工学科)

科目 区分		授業科目の名称	配当年次		単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	構造・材料分野	橋梁デザイン	1	後		2			○			1						兼1 集中 集中
		構造実験	2	前		2					○	1						
		コンクリート工学	2	前		2			○				1					
		構造の力学 1	2	前		2			○			1						
		鉄筋コンクリート	2	前		2			○			1						
		構造設計演習	3	前		2				○		1						
		材料評価システム	3	前		2			○				1					
		構造の力学2	3	後		2			○			1						
		施設設計	3	前		2			○			1						
		施設管理	3	前		2			○									
		土質力学及び演習	3	後		2				○		1						
		耐風設計	4	後		2			○			1						
		耐震設計	2	後		2			○			1						
		耐久・疲労設計	4	後		2			○			1						
	小計（14科目）		-		0	28	0	-			4	2	0	0	0	兼1	-	
	マネジメント・環境分野	システム解析	2	前		2			○									兼1
		会計総論	2	前		2			○									兼1
		環境概論	1	後		2			○			1						兼1 兼1 兼1 兼1
		プロジェクトマネジメント	2	後		2			○			1						
		社会システム経営	3	後		2			○									
		環境経営	3	前		2			○									
		プロジェクト評価	3	後		2			○									
		経営組織論	3	後		2			○									兼1
		水循環システム	3	前		2			○			1						
		コンストラクションマネジメント	3	前		2			○			1						
		ファシリティマネジメント	3	後		2			○			1						
	小計（11科目）		-		0	22	0	-			3	0	0	0	0	兼3	-	
	フロンティア	フロンティアセミナー 1	1	前		2				○								兼1
		フロンティアセミナー 2	1	後		2				○								兼1
		フロンティアセミナー 3	2	前		2				○								兼1
		フロンティアセミナー 4	2	後		2				○								兼1
		フロンティア工学特論 1	3	前		2				○								兼1
		フロンティア工学特論 2	3	後		2				○								兼2
		フロンティアプロジェクト	4	通年		8				○		1						兼5
	小計（7科目）		-		0	20	0	-			1	0	0	0	0	兼5	-	
	再 地 生 域	地域再生システム論	1	後		2			○									兼1
地域再生システム論		3	後		2			○									兼1	
小計（2科目）		-		0	4	0	-			0	0	0	0	0	兼1	-		
科 教 目 職	工学概論	2	前		2			○			2	1					兼9	
	小計（1科目）	-		0	2	0	-			2	1	0	0	0	兼9	-		
合計（165科目）			-		0	324	0	-			9	2	0	0	0	兼68	-	
学位又は称号		学士（工学又は学術）			学位又は学科の分野					工学関係								
卒業要件及び履修方法										授業期間等								
大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を 17 単位以上、自然科学等科目を 17 単位以上、専門科目を 60 単位以上かつ修得した単位の合計が 124 単位以上とする。										1 学年の学期区分			2 期					
										1 学期の授業期間			15 週					
										1 時限の授業時間			90 分					

9．設置の趣旨等を記載した書類

- 目 次 -

．設置の趣旨及び必要性

- 1．はじめに
- 2．学群制について

．各学群の特色

1．システム工学群

- (1) 教育研究上の理念、目的
教育研究対象とする学問分野
育成する人材と卒業後の進路
- (2) 学群の名称及び学位の名称
- (3) 教育課程の編成の考え方及び特色
教育の機能と特色
教育方法の特色
履修モデル
- (4) 教育研究に関わる教員組織の編成の考え方及び特色
- (5) 研究・社会貢献の機能と特色

2．環境理工学群

- (1) 教育研究上の理念、目的
教育研究対象とする学問分野
育成する人材と卒業後の進路
- (2) 学群の名称及び学位の名称
- (3) 教育課程の編成の考え方及び特色
教育の機能と特色
教育方法の特色
履修モデル
- (4) 教育研究に関わる教員組織の編成の考え方及び特色
- (5) 研究・社会貢献の機能と特色

3．情報学群

- (1) 教育研究上の理念、目的
教育研究対象とする学問分野
育成する人材と卒業後の進路
- (2) 学群の名称及び学位の名称
- (3) 教育課程の編成の考え方及び特色
教育の機能と特色
教育方法の特色
履修モデル
- (4) 教育研究に関わる教員組織の編成の考え方及び特色
- (5) 研究・社会貢献の機能と特色

．教育方法、履修指導方法及び卒業要件

- 1．教育方法
- 2．卒業要件単位と履修制限
- 3．編入学

．施設、設備等の整備計画

- 1．校地、運動場の整備計画
- 2．校舎等施設の整備計画
- 3．図書等の資料及び図書館の整備計画

．入学者選抜の概要

- 1．入学者受け入れの基本方針
- 2．募集人員
- 3．選抜方法
- 4．学生確保の見通し

．企業実習や海外研修の具体的計画

- 1．企業実習（インターンシップ）
- 2．海外研修

．管理運営

．自己点検・評価

．情報の提供

．教員の資質の維持向上の方策

設置の趣旨

・設置の趣旨及び必要性

１．はじめに

高知工科大学は１９９７年の創立以来、我が国の科学技術を支える工学系大学として、深い専門知識と豊かな人間性を持った創造的な人材を養成し、科学技術の振興と発展を図ることを目指してきた。本学の基本理念である「自発性・創造性の重視」、「学際領域の重視」、「システムとしての視点の重視」、「人間と科学技術の関係の重視」、「国際的な視点の重視」を踏まえ、公設民営の地方大学として、地域社会との連携をはじめ産官学の協力を積極的に推進し、開かれた大学として社会に貢献する教育研究活動を行ってきた。

こうした教育研究活動の成果として、平成 16 年度には、社会基盤、行政、環境の各分野で、方法論としての工学的計測・評価技術と経済学などを統合することでマネジメントシステムを提供し、工学的技術を方法論のレベルからマネジメント機能に近づけることを目指した「社会マネジメントシステム学」が 21 世紀 COE プログラムに採択され、また、同年には、本学が進めてきた教育、すなわち、「特に丁寧に学生を指導すること」、「社会に貢献する先端的学問を目指し教えること」、「実践を意識し教えること」を旨とし、入学から卒業までの学生の高い能力向上を実現する「学生の多様化に対応した実践的技術者の育成」が特色ある大学教育支援プログラムに採択された。

今春には、工学分野において社会に貢献してきた高知工科大学の役割を、更に社会科学系分野に広げ、従来から標榜している「システムで考える」真に社会に貢献できる人材を輩出し、研究・教育を通じて社会に貢献することを目標に、マネジメント学部を開設している。

この様に、工学系単科大学から、文系・理系の 2 学部を有する大学として、相互に教育研究機能を補完し、学術分野を超えた教育研究を行い、より一層の地域・社会貢献を実現する体制を整えると共に、グローバル化、情報化、少子高齢化、産業の高次化及び、科学技術の進展に伴って顕在化してきている地球環境保護の問題等の社会情勢に対応するため、時代のニーズを的確に捉えると同時に、本学の建学の理念を堅持しながら、更なる魅力を洗練化できる工学部組織改編を断行することとした。

【 資料 1 】

我が国の時代（社会）の縮図（未来形）となっている高知県という地理的条件をうまく活用する観点で改編を実施する。すなわち、従来のシステムの視点を重視し、社会基盤を支える「システム工学群」に加えて、ますます深刻化する環境問題に対応するため、海・山ともに自然に恵まれた環境を活用することを強く意識した、地球に優しい「環境理工学群」、ならびに、単なるIT化から、ヒトを特に意識した情報革命のため、地理的ハンディを克服できる、人に優しい「情報学群」を設置し、教育研究のウィングを広げる。これらをベースに得られた智を、高知県内、日本全体、アジア、あるいは、世界へ発信すると同時に、これらの学群で養成した技術者を社会に輩出する。

【 資料 2 】

2．学群制について

本学では、本改編に伴い、学群制度を導入する。この意図するところは大きく3点ある。

1点目は、教育プログラムの進化である。本学では開学以来、工学部の5つのシステム工学科により、システムの視点を持つ技術者を養成してきた。一方で、科学技術の一般社会への浸透に伴って、多様な学際領域で活躍できる技術者が強く求められている。これらを考慮し、本学のフロンティア教育プログラムで試行したダブルメジャー（主専攻・副専攻）をより進化・一般化させ、理工学系全体に学群制として導入し、スペシャリストでもありジェネラリストでもある柔軟な技術者を養成する教育プログラムへと進化させる事を目的とする。

2点目は、学生の個性を伸ばす教育を進化させることである。本学では、各学生の個性を尊重し、「必須科目なし・全科目選択制」を実施してきたが、学部・学科制では、その枠組を超えた学修がやや困難な側面があった。本改編にあたっては、より大きな学問領域として、従前の学部に代わり学群を設置し、学科制度を廃止する。学群全体で教育組織を形成し、すべての教員がすべての学生の学びを支援する。すなわち、学生は「どの学部・学科に所属するか」ではなく、「何を身につけたいか」を重視して講義を選択する。そのために、学生や社会の多様な要請に応じられる系統的なカリキュラムを編成し、これを、履修モデルとしての専攻と位置づけ、学生がより自由に専攻を選択・変更できるシステムとする。

3点目は、学際的研究の推進である。本学では、工学部の5つのシステム工学科により、システムの視点での研究を推進してきたが、さらにより広い学際領域の智を融合した先進的な研究プロジェクトを推進する。各学群では、すべての教員がすべての学生の学びを支援することによって、教育業務からの刺激を研究活動に昇華できる効果がある。すなわち、学生に対する教育活動を研究活動とリンクすることによって、新しい研究ニーズやシーズを見出し易い柔軟な教育研究組織を学群とする。

この学群制度を通じて、大学共通科目と、専門科目としての工学系共通科目、専門基礎科目、専門発展科目、専攻領域科目に分類された多様な科目の中から、学生は、アドバイザー教員と相談しながら、自身の学びたい内容を大切に、主専攻・副専攻を選択し、人文社会教養力、自然科学教養力、専門基礎強化、専門領域探求など、個性や興味に応じて、自由にカスタマイズを行い、自分専用カリキュラムを構築する。各学群が科目間のブレイキジット (prerequisite)を学生に明示することによって、系統的に学べるカリキュラムを学生自身が設計できる。社会に出て仕事を行う上では、専門領域以外に対する理解が必要であり、いわば、柔軟な専門技術者が求められている。この学群制度によって、工学の基本をしっかりと学び、複数の異なる分野の基本を理解し、更に各専門分野で応用できるジェネラリスト的資質を併せ持ったスペシャリストを養成する。

．各学群の特色

１．システム工学群

（１）教育研究上の理念、目的

我が国の科学技術を担う高度技術者の育成は、従来大学の工学部における学科を中心として行われてきた。高知工科大学においても、１９９７年の創設以来、５つの学科において大学の基本理念に基づいた教育研究を進め一定の成果を上げてきた。

一方、現在の工業を取り巻く環境は大きく変化してきており、グローバルな経済競争と社会構造の変革および地球環境の破壊などに対応すべく新しい概念、境界領域を含む未開拓分野での技術開発、製品の創出が求められている。これらの課題に挑戦し、解決していく力強い技術の育成が望まれていることに鑑み、本学で実践してきた教育プログラムの進化を図るため学群制を導入しシステム工学群を配置する。

システム工学群では、従来の学科制にみられる機械工学、電気電子工学および建築土木工学間の垣根を廃し、これらに共通な基礎科目の教育を強化する。さらにその基礎力の上にそれぞれの専門分野の深い知識を積み上げていく教育プログラムを展開する。また各専門分野の連携や融合を目指した研究に取り組み、これを教育面にも反映させることで広い視野を持って社会に貢献できる技術者を養成することを目的とする。

教育研究対象とする学問分野

システム工学群が教育研究対象とする分野は、機械工学、ロボット工学、航空宇宙工学、電子工学、光エレクトロニクスおよび建築・都市デザインの分野であり、システムの構築という視点から従来の枠組みを超えた新しいものづくりの実践を目指す。

○機械工学分野

従来の機械に加え、メカトロニクスや情報・コンピュータ利用技術を取り入れた、より高度で知能化された機械システムに関する教育、研究を行なう。

○ ロボット工学分野

ロボットをより速く正確に動かす、あるいは人間と協調して作業をさせるなどの高度制御技術を取り入れたシステム構築に関する教育、研究を行なう。

○ 航空宇宙工学分野

非常に過酷な環境において高い信頼性・安全性が要求される航空宇宙機器の開発、設計に関する教育、研究を行なう。

○ 電子工学分野

現代の人間生活に不可欠な電子工学に加え、電子を制御する半導体素子、先端の電子回路技術に関する教育、研究を行なう。

○ 光エレクトロニクス分野

大容量の情報を高速で伝達する媒質としての光、これを制御するエレクトロニクス、これらのシステム構築に必要な先端光エレクトロニクスに関する教育、研究を行なう。

○ 建築・都市デザイン分野

建築と土木との境界を取り払い、快適で安全な社会基盤をソフト・ハード両面からデザインする技術に関する教育、研究を行なう。

育成する人材と卒業後

幅広くしっかりとした基礎に立脚する深い専門知識を身につけた技術者の育成を目指しており、卒業後は以下のような製造業をはじめとする工業技術に関わる広い分野での活躍が期待される。

具体的には機械・電気・化学分野での開発、設計、製造、金属・非金属・半導体電子材料の素材関連業、機械・設備の工事、設置、メンテナンス業、建築設計、建設会社、建設コンサルタントなどの建設業、また関連する公官庁などが挙げられる。

(2) 学群の名称及び学位の名称

現代のものづくりは、これをシステムの構築であると捉える視点が重要である。このためには従来別な分野として色分けされてきた機械・電子・建築土木の分野を統合した学群として教育し、社会で活躍できる力のある技術者を養成するという趣旨よりその名称をシステム工学群 (School of Systems Engineering)とする。また、本学群を卒業することによって得られる学位は、学士 (工学) (Bachelor of Engineering)とする。

システム工学群

School of Systems Engineering

学士 (工学)

Bachelor of Engineering

(3) 教育課程の編成の考え方及び特色

高知工科大学の基本理念を維持し、教育課程を大学共通科目および専門科目とし、年次的にこれを分離せず1年次から専門科目を履修できる相互に連携する体系的な4年一貫のカリキュラムを編成する。

大学共通科目は、中央教育審議会の答申をふまえ、教養教育を重視して編成しており、豊かな人間性・自主性・創造性の涵養のため、人文・社会科学等科目群と自然科学等科目群を配置している。なお大学共通科目は、専門教育への導入としての位置づけはせず、多様な学生に対応し、各人の興味関心から自由に選択できるものとする。ことで、個性を伸ばす教育を実現する。また、大学共通科目には、多彩で充実した最新の学問成果を取り入れた教育を展開している放送大学の科目を「単位互換協定」により取り入れ、幅広く、常に新しい教育内容を修得させる。

【 資料3、資料4 】

専門科目は工学系共通科目、専門基礎科目、機械系、電子・光系、建築・都市デザイン系科目に区分される。3つの系の専門科目群はさらにそれぞれ専門発展科目と専攻領域科目に分けられる。

工学系共通科目は環境理工学群、情報学群とで共通に開講される科目群であり、力学や電磁気学など工学技術者に不可欠な物理の基礎科目やプレゼンテーションスキルに関する科目、インターンシップなどが含まれる。

専門基礎科目は機械工学、電子工学、建築土木工学の基礎的な科目群であり、これらの科目を通じて、システム工学群の学生として共通に身につけるべき知識を獲得すると共に、各自が2年生後半から深く勉強していきたいと思う分野を考えていく。

各系の専門科目群はそれぞれの分野でより専門性の高い内容を含む科目群であり、その分野の中心的な専門発展科目群と、より深く学ぶための専攻領域科目群とに分けられる。以上の教育課程により、幅広く工学の基礎を身につけた上で、学生各自が選択する専門分野については高度な内容まで修めることができる。さらに異なる系における専門の周辺分野についても、共通する基礎を学んでいることから、専門発展科目群を中心に勉強すれば、社会で十分に通用する専門知識を得ることができるという特色を有する。

【 資料5 】

教育の機能と特色

システム工学群は、従来の機械工学、電子工学および建築土木工学の3つの分野での教育研究を担う学群であり、ものづくりのための学問である工学の基幹をなす分野をカバーしている。初級年次においては力学や電気回路など各専門分野で共通する基礎を教育し、自分が何に興味を持ち、何を身につけたいのかをじっくりと考えながら学修できるシステムとしている。そして2年生では自分の進みたい専攻分野（機械工学、ロボット工学、航空宇宙工学、電子工学、光エレクトロニクス、建築・都市デザイン）を意識しながら、専門発展科目を中心に履修し、それまでに身につけた基礎をさらに発展させ、3年生進級時に自分の専門分野を定めた後には、専門発展科目に加え、専攻領域科目を中心に履修することで、その専門分野についてより深くかつ高度な内容まで学修できるカリキュラムとなっている。

また、学群制の特徴を以下のように活かす機能を有している。すなわち、従来の大学の工学部においては学科という枠にはまった、全く異なるように見えていたこれら3つの分野において、その根本に共通にある自然法則や原理を広い視野から見ることで理解しやすくなる。また専門分野へと分かれていった先で、それらの境界領域はどのようなものか、新しい概念を創り出すためには互いの分野技術をいかに連携させればよいかが理解しやすい教育システムとなっている。システム工学群では、ものづくりをシステムの構築という視点から捉えることで、現代の社会構造の変革に柔軟に対応し、これまでになかった新しいものづくりに挑戦していく力のあるエンジニアを養成する教育を実践する。

教育方法の特色

高知工科大学における教育では、丁寧な指導が特徴のひとつとして挙げられ、高等学校からも学生が成長する大学と評価されている。システム工学群においてもこの特徴を継承しつつ、以下のような特色ある教育方法を展開する。

ア．習熟度別クラス編成の授業

高知工科大学では、これまでも数学や英語など大学の共通科目の一部において、習熟度別にクラス編成がなされ、学生の多様化に応じた教育を行ってきた。システム工学群では低学年における専門の基礎科目にもこの習熟度別クラス編成を導入し、よりきめの細かい指導を行う。

イ．概論科目の充実

システム工学群で学ぶ専門分野の概要をつかんでもらう概論の科目を低学年に多く配置し、学生がこれから深く学んでいこうとする各自の専門分野を選択する助けとしている。また、すでに自分の進みたい専門分野を決めている学生に対しては、このような概論科目により専門分野に早期に接することで、勉強に対するモチベーションを高めてもらうことができる。

ウ．大学導入科目

高知工科大学では、1年生に開講されるスタディスキルズにおいて、社会での経験豊かな講師陣（教育講師）が大学における自主的に学ぶ姿勢や、あるテーマに対してどのように論理的に考え、また自分の意見をどう表現していくかなど大学生として必須となるスキルを教育している。システム工学群でもこのスタディスキルズを導入教育として取り入れる。また、1年生では少人数によるシステム工学実験を通じて、実際の“もの”を目で見る、触れるということで専門に対する興味をさらに引き出す導入を行う。

エ．情報教育

コンピュータスキルは技術者にとって必要不可欠なものである。これまであまりコンピュータに触れることのなかった学生でもスムーズに使いこなせるようにコンピュータリテラシーの授業を入学当初に設ける。さらに情報科学1～3においてコンピュータの操作のみならず情報処理に関する考え方をしっかり身につけさせる。またコンピュータを援用した工学問題の解析や制御などの専門科目も多数開講し、卒業後社会に出てからもコンピュータを強力なツールとして活用できるような情報教育を行う。

オ．企業見学とインターンシップ

2年次より実際のメーカーの現場や、各種施設、設備を自分の目で見て、机上における授業科目の理解の助けや勉強のモチベーション向上をはかることを目的として企業見学を取り入れる。また、高知工科大学においてこれまでも実績のあるインターンシップをシステム工学群においても取り入れ、実際の社会における企業活動を体験することにより大学で学ぶことの重要性を理解できるようになっている。

履修モデル

システム工学群の専攻分野として、機械工学専攻、ロボット工学専攻、航空宇宙工学専攻、電子工学専攻、光エレクトロニクス専攻、建築・都市デザイン専攻の6つの履修モデルを設定する。

機械工学専攻では、より高度に智能化された機械システムを創りだすために、機械工学を基盤にメカトロニクスや情報コンピュータ利用技術などを取り入れた教育を行い、次世代のものづくりで社会に貢献できる人材を育成する。

ロボット工学専攻では、ロボットに代表される最先端機械の開発を行う技術者の育成を目指し、高度な機械制御技術に関する基礎研究・教育を行う。

航空宇宙工学専攻では、航空機、ロケット、人工衛星など、きわめて高度な設計・製造技術が要求される分野で活躍できる技術者を育成する。

電子工学専攻では、コンピュータや情報を運ぶ通信、高品質で安定的にエネルギーを配給する電力等を支える電子を制御する半導体素子や回路の技術を身に付け、あらゆる分野で活躍できる技術者を育成する。

光エレクトロニクス専攻は、生命のエネルギーの源、情報を伝える物質といった、光の本質を学び、光通信や太陽電池など光を自在に操るエレクトロニクス技術を身に付けた次世代技術者を育成する。

建築・都市デザイン専攻は、「安全・安心、そして心豊かな未来社会の創造」をめざす建築・建設系の専攻であり、意匠設計や構造設計を学び、ソフト・ハード両面から人々が快適に暮らすための建築や環境・生活のシステムをデザインできる人材を育成する。

【 資料6 - 1 ~ 資料6 - 6 】

（４）教育研究に関わる教員組織の編成の考え方及び特色

システム工学群が教育研究対象とする分野は、従来のカテゴリーにおける機械工学、電子工学および建築土木工学であり、現代におけるものづくりの根幹をなす分野をカバーしている。システム工学群における教員は、高知工科大学工学部においてこれら分野の該当する各学科において、本学の教育、研究、社会貢献に対する理念を実践してきた経験のある教員である。また、各自の専門領域とその学際的境界領域での研究にも積極的に取り組んできた。これらの教員により組織されたシステム工学群は、その理念となる“システム構築としてのものづくり”に関する教育研究に最適な体制となっている。

（５）研究・社会貢献の機能と特色

高知工科大学ではこれまの5学科体制のときより、学科を越えた研究体制づくりを積極的に推進してきた。システム工学群では、機械工学、電子工学、建築土木工学の各分野を専門とする教員で構成されるため、より一層教員同士の連携が可能となる。また、高知県地域をはじめとする全国の企業や研究機関とも、より広い範囲での連携、共同研究を推進することが可能となる。

2．環境理工学群

(1) 教育研究上の理念、目的

本学が設立された頃、わが国は工業立国として世界の最先端にたっていたが、しかし、これまでのやりかたでの工業生産の拡大は、地球環境破壊につながることははっきりと認識されるようになった時期でもある。本学はこの認識のもとにつくられ、人間と科学技術の関係を重視する研究・教育をおこなってきた。なかでも物質・環境システム工学科においては、材料系、生物系を軸として、物理、化学をも含めた教育研究がおこなわれてきた。この過程で生命科学、環境分野を中心として融合領域の研究を生み出し、教育面においては、幅広く学ぶことにより、人間・社会・環境との調和をとってものづくりできる人材を育成してきた。これを反映してこれまでの卒業生の就職分野は材料、化学、製薬、食品、農林業など多彩である。

開学以来10年余を経て、国内外の状況は大きく変化している。これまで日本が蓄積してきた諸技術は、新興アジア諸国の獲得するところとなり、国内産業の空洞化が進んだ。地球環境に関して言えば、この10年間でさらに深刻な状況がすすんでいる。国内に関しても、京都議定書の数値目標を実現することは、困難視されている。この状況を突破するため、わが国産業には、新しい技術の開発、融合領域、未開拓分野への進出がいっそう求められている。総合科学技術会議の分野別推進戦略として、重点推進分野として、ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料が指定されている(平成18年3月)ことはそのあらわれである。

以上のように高知工科大学および物質・環境システム工学科の10年余の実績と、国内外の状況変化をとらえたうえで、環境理工学群では、次のような教育と研究を担う。

教育研究対象とする学問分野

教育面においては、自然科学を広く学ぶことで人間・科学技術・自然環境の有機的なつながりを理解できる広い視野と高い倫理をもって活躍する技術者を育成することをめざす。さらに化学・生命科学、ナノ・物質科学、環境科学これらの学際領域を支える基軸となる分野を深く学ぶことで先進科学・環境技術のフロンティアで活躍できる専門基礎力を養成する。

研究面においては、これらの融合領域はもとより、生物・物理、生物・化学・地球科学など、自然科学諸分野のコラボレーションによって新領域の開拓をめざし、教育面にも反映させる。

育成する人材と卒業後の進路

幅広く学ぶことにより、人間・社会・環境との調和をとってものづくりできる人材を育成してきたこれまでの実績も参考にして、以下のような進路が考えられる。

- 化学・生命科学分野を学んだ学生：化学、製薬、化粧品、食品、醸造、農林水産業などの分野での製造・開発。
- ナノ・物質科学分野を学んだ学生：金属、セラミックス、半導体、高分子などの素材産業、及び電子工業などこれらの関連産業における製造、開発。
- 環境科学分野の学生：官公庁の産業および環境担当、環境関連企業、各種製造業、製造業の分析部門、分析会社等。

(2) 学群の名称及び学位の名称

本学群における教育と研究は、生物、化学、材料など従来の独立した自然科学あるいは工学系の一分野にとどまるものでなく、これらを有機的に結びつけた化学・生命科学、ナノ・物質科学、環境科学の3つの学際的領域を中心に教育研究を行う。これらを包含するものとして、この学群の名称を環境理工学群 (School of Environmental Science and Engineering)とする。また、本学群を卒業することによって得られる学位は学士(理工学) (Bachelor of Science and Engineering)とする。

環境理工学群

(School of Environmental Science and Engineering)

学士(理工学)

(Bachelor of Science and Engineering)

(3) 教育課程の編成の考え方及び特色

高知工科大学の基本理念を維持し、教育課程を大学共通科目および専門科目とし、年次的にこれを分離せず1年次から専門科目を履修できる相互に連携する体系的な4年一貫のカリキュラムを編成する。

大学共通科目は、中央教育審議会の答申をふまえ、教養教育を重視して編成しており、豊かな人間性・自主性・創造性の涵養のため、人文・社会科学等科目群と自然科学等科目群を配置している。なお大学共通科目は、専門教育への導入としての位置づけはせず、多様な学生に対応し、各人の興味関心から自由に選択できるものとする。ことで、個性を伸ばす教育を実現する。また、大学共通科目には、多彩で充実した最新の学問成果を取り入れた教育を展開している放送大学の科目を「単位互換協定」により取り入れ、幅広く、常に新しい教育内容を修得させる。

【 資料3、資料4 】

専門科目は工学系共通科目、専門基礎科目、専門発展科目、専攻領域科目に分けられる。環境理工学群の教育プログラムには、3分野（化学・生命科学、ナノ・物質科学、環境科学）の標準的な履修モデルが用意されており、専門基礎科目、専門発展科目、専攻領域科目はこれに対応して設定されている。

専門基礎科目は生物、化学、物理、地球物理分野の基礎科学的科目である。これらの教科は、まず幅広い自然科学的素養を身につけるためのものであり、同時に次のステップである専門発展科目群を学ぶための土台として設定されており、原則として環境理工学群の3専攻すべての学生はこの科目群をすべて履修することが想定されている。

専門発展科目は3つの学際的専攻の科目であり、人間、社会、環境との調和を図り、広い視野をもつ技術者の養成を目的とした科目群である。化学・生命科学分野では、生命メカニズムを理解し、その工学および環境工学としての応用と方法を学習する。加えて、生産活動およびその結果である製品が人間と環境に与える影響について理解をすすめるため、環境概論、ライフサイクルアセスメント、物質循環システム等を学ぶ。ナノ・物質科学分野においては主として物理学と化学を基礎として、物質の科学を理解し、さらにその応用としての材料工学を学ぶ。環境科学分野においては、環境概論によって現在、世界が直面する環境問題を理解する。地球科学、物質循環システム等によって地球の活動を学び、材料プロセスと環境、生体生理化学等によって人間の生産活動と環境、物質と人間との関係を科学的に解き明かす。

専攻領域科目はこれからのわが国産業をになう高度技術者、あるいは研究者として出発するための最小限のものとして設定されている。大学院教育とあわせて先端的学際領域分野での研究・開発に従事しうることが養成される。これらの講義に加えて、各専攻においては卒業研究によって実際の課題解決能力を養う。

【 資料 7 】

教育の機能と特色

環境理工学群の教育は、自然科学全般を学び、そしてその応用としての学際領域にすむ、そして高度な専門分野を学習するよう設計されている。これによって以下の効果が期待できる。昨今、あらゆる学問分野で専門化・細分化がすすみ、科学および技術をトータルに捉えることのできる技術者と研究者が少なくなって、我が国の産業に深刻な弊害をもたらしているが、本学群の専門基礎科目による教育は、今一度科学全体を見ることのできる技術者、研究者を育てることをめざしている。次に、科学を実際に応用する場合、物理だけ、あるいは化学だけ、あるいは生物だけということはほとんどありえない。ことに、21世紀の科学・技術のフロンティアは、より学際的領域に求められることになる。本学群の2-3年の専門発展科目による教育は、まさしくこのようなフロンティアで活躍できる人材を育成する。さらに、これら学際領域で先端的な成果を生み出すためには、専門分野での深い素養が必要とされる。高学年での専攻領域科目は、このために設けられている。本学群ではこのようにして、広い視野と深い専門性をもち、高い倫理性を有する人材を育成する。

教育方法の特色

高知工科大学における教育では、丁寧な指導が特徴のひとつとして挙げられ、高等学校からも学生が成長する大学と評価されている。環境理工学群においてもこの特徴を継承しつつ、以下のような特色ある教育方法を展開する。

ア．セミナーを重視する少人数教育

本学開学時より重要視されてきた科目であるが、新学群においてもこの考えをひきつぐ。全学共通科目としての1年次のスタディスキルとあわせて、少人数教育によって、個人の進捗状況にあわせたきめこまかな指導を行う。特に文章、口頭による表現能力および論理的な構成力を養成することに力をいれる。

イ．実社会を意識した教育

インターンシップ、企業見学（発電所、地場産業などの企業）を通して、エネルギー産業や地域の産業を学ぶ。インターンシップによって社会で活動することを体験し、将来選択のための材料のひとつとする。

ウ．特徴的なカリキュラムの年次構成

カリキュラム構成の年次構成が、従前の理工系学部教育カリキュラムと大きく異なる。まず、自然科学基礎、次にその応用を大きく広く学ぶ。その後いわゆる専門分野を深く学ぶ。1-2 学年において、化学、生物学、物理学、地球科学など自然科学全体の素養を身に付けさせる。次に2-3 年において、これらの科学の応用としての、化学・生命科学、ナノ・物質科学、環境科学の学際領域を広く学ぶ。3 年以降、これらのいずれかの分野で、将来開発、研究にたずさわることのできる技術者として成長するための基礎を身につける。

エ．将来を見通す目と倫理性を有する技術者・研究者を意識した教育

いわゆる専門分野を学ぶだけでなく、工学、科学を広く見渡し、科学技術の将来を見通して柔軟な発想力を身につける。工学概論、技術開発概論を通して、専門的知識ではなく工学技術者あるいは開発者としての素養を育てる。前者では工学全般を見通し。後者では技術開発にたずさわる者に必要な考え方を習得する。また材料技術史を通して、科学と技術との関連、それらの歴史を学ぶことにより、将来を見通す目を養う。

オ．基礎科学を学ぶ学生実験

二つの学生実験が用意されている。生物化学実験においては人間の眼による直接観察の大切さを学び、物理学実験では、運動、光、音、振動のサイエンスをコンピュータを利用して可視化し、より直感的に理解するよう工夫されている。

履修モデル

環境理工学群の専攻分野として、化学・生命科学専攻、ナノ・物質科学専攻、環境科学専攻の3つの履修モデルを設定する。

化学・生命科学専攻においては、生化学、高分子化学、生物工学概論、生物環境工学など化学と生物学を基礎として、生命メカニズムを理解し、その工学および環境工学としての応用と方法を学習する。加えて、生産活動およびその結果である製品が人間と環境に与える影響について理解をすすめるため、環境概論、ライフサイクルアセスメント、物質循環システム等を学ぶ。これによって、生物の“しくみ”を理解するだけでなく、現在劇的に展開されている遺伝子分野で活躍できる人材を育てる。また、微生物の利用、あるいは化学特に有機化学の知識との融合により、生物機能の応用をはかることのできる人材育成をはかる。化学・生命科学専攻を学んだ学生は、化学、製薬、化粧品、食品、醸造、農林水産業などの分野での製造・開発に従事することを目標とする。

ナノ・物質科学専攻の教育においては、主として物理学と化学を基礎として、物質の科学を理解し、さらにその応用としての材料工学を学び、さらにナノテクノロジーへと展開する。このため、材料の科学と工学および量子世界の科学と工学が教育される。ナノ・物質科学専攻を学んだ学生は、金属、セラミックス、半導体、高分子などの素材産業における製造、開発や電子工業などこれらの関連産業における製造、開発に従事することを目標とする。

環境科学専攻においては、環境概論によって現在、世界が直面する環境問題を理解する。本専攻は、資源（地球科学）、人間の生産活動（工学）、それが作り出した物質の環境と生命への影響（化学、生物）、物質の拡散と地球環境（物理、地球科学）、環境の評価（化学、物理）、環境の修復と再生（生物、化学）など、あらゆる分野が総動員される学際領域である。地球科学、物質循環システム等によって地球の活動を学び、材料プロセスと環境、生体生理化学等によって人間の生産活動と環境、物質と人間との関係を科学的に解き明かす。環境科学専攻を学んだ学生は、官公庁の産業および環境担当、環境関連企業、各種製造業、製造業の分析部門、分析会社等で活躍することを目標とする。

【 資料 8 - 1 ~ 資料 8 - 3 】

(4) 教育研究に関わる教員組織の編成の考え方及び特色

本学群は、科学的視野の広い人材を養成するとともに、化学・生命科学分野、ナノ・物質科学分野、環境科学分野という3つの応用的な学際領域を教育と研究の対象としている。これに対応するため、教員の専門分野は生物、化学、物理学、地球科学まで幅広く、なおかついわゆる理学部的な基礎分野からこれらの応用としての材料工学分野にまでわたる。なお、すべての専任教員が博士号あるいは Ph.D. を有している。これらの教員は、本学工学部に所属している者であり、環境分野をはじめとする学際的な領域の教育と研究に取り組んできている。

化学・生命科学分野においては、有機化学を専門とする化学系教員、また遺伝子、醸造工学、微生物作用を専門とする生物分野の教員を配置している。

ナノ・物質科学分野においては、ナノ材料科学分野、量子力学、エネルギービーム、ソフトマターの専門分野で活躍する教員を配置している。

環境科学分野においては、本学群の教員組織の専門のスパンの広さを利用した多面的・立体的な教育を行うため、水環境工学において世界的に活躍している教員、微生物利用による環境修復を専門とする教員を軸として、自然科学の全分野の担当教員によって担われる。

(5) 研究・社会貢献の機能と特色

すでに記した様に、環境理工学群は、化学・生命科学，ナノ・材料科学，環境科学の3専攻の教育モデルを有する。学群所属教員はこの学際領域の教育にあたるとともに，教員自身も，相互にこれら学際領域に関する素養を深め，研究面での発展につなげることができる。特に生命科学，ナノ・材料科学，環境科学は，我が国の最重点の科学技術分野であり，国際的にも重要視されるフロンティアである。本学群は，これらの分野で一定の寄与をするものと期待できる。

高知県は，農業と林業が主要な産業であり，これらに対しても本学群の寄与は大きいと考えられる。本学群教員には農業，林業を専門とする者がおり，同じく遺伝子工学，食品を専門とする教員との協力により，高知県の森林資源の有効活用，農業を母体とした 1.5 次産業の振興に寄与できる。また、高知県の 2 次産業として代表的なものとして，石灰，製紙，打ち刃物があるが，本学群は生物由来材料，セラミックス材料，金属材料を専門とする教員を擁しており，地場産業への貢献も大きいと期待される。

3．情報学群

(1) 教育研究上の理念、目的

現在の社会では、情報通信技術とそれを支える技術者はあらゆる分野で渴望されており、情報処理やネットワークの急速な進歩により高度化する情報システムに対応できる能力が必要とされている。また、高性能化に伴い、情報とメディアや人間との関係性についても対応する必要があるが生じている。このような急激な変化に適応できる技術者には、しなやかで人に優しい情報システムに対する正しい理解と、情報技術の開発やその応用を推進できる能力が求められる。

情報学群では、柔軟で大胆な発想を育て、人に優しい情報環境の新たな創造や、情報を有益に活用できる情報環境を実現するための教育・研究をめざす。

教育研究対象とする学問分野

これまで工学部情報システム工学科で行ってきた、情報通信技術の基礎から応用に至るまでの分野に加えて、メディアや人間などに関する学際領域までを教育・研究の対象として拡げている。

教育としては、情報ネットワーク、計算機ソフトウェア、計算機システム、情報処理と人材育成といったこれまでも実施してきた分野に加えて、認知や推論、脳など人間と情報に関する分野と、音響、映像、ウェブやメディアコミュニケーションなど情報メディアに関する分野にも拡張することで、広く情報に関する人材を育成する。

育成する人材と卒業後

人と情報とのあるべき関係や人のための情報システムを正しく理解でき、次世代の情報技術を担える人材の育成をめざしており、これまでの工学部情報システム工学科の実績とも併せて、以下のような進路での活躍が期待される。

情報通信、情報処理、情報メディアなどの情報産業での研究・開発・製造をはじめ、あらゆる業種における情報関連部門での開発・運用など、幅広く情報に関する分野全般などが考えられる。

さらにメディアや人間に関わる学際領域に教育・研究の対象を拡げたことにより、上記進路に加えて特に、人間パフォーマンスシミュレーション分野、認知・知覚関連分野、メディア展開分野などの先端的分野を利用する、あるいはそれら分野における研究・開発・製造を推進するあらゆる業種での活躍が期待できる。

(2) 学群の名称及び学位の名称

情報通信技術は現在の社会では必要不可欠であり、その基盤のみならず、有効に活用するための技術も求められる。情報通信技術の基盤であるコンピュータサイエンスと情報通信とともに、情報とメディアと情報と人間について深く学び、社会に活かせる人材を育成する設置趣旨から、学群名称を情報学群 (School of Information)とする。また、本学群を卒業することによって得られる学位は学士 (情報工学) (Bachelor of Information Engineering)とする。

情報学群

School of Information

学士 (情報工学)

Bachelor of Information Engineering

(3) 教育課程の編成の考え方及び特色

高知工科大学の基本理念を維持し、教育課程を大学共通科目及び専門科目とし、年次的にこれらを分離せず1年次から専門科目を履修できる相互に連携する体系的な4年間一貫のカリキュラム編成を行う。

また、各学群およびマネジメント学部と相互に必要なとしている教育機能を補完するため、互いの専門科目の履修を可能とするカリキュラム編成を行う。

大学共通科目は、中央教育審議会の答申をふまえ、教養教育を重視して編成しており、豊かな人間性・自主性・創造性の涵養のため、人文・社会科学等科目群と自然科学等科目群を配置している。なお、大学共通科目は、専門教育への導入としての位置づけはせず、多様な学生に対応し、各人の興味関心から自由に選択できるものとすることで、個性を伸ばす教育を実現する。また、大学共通科目には、多彩で充実した最新の学問成果を取り入れた教育を展開している放送大学の科目を「単位互換協定」により取り入れ、幅広く、常に新しい教育内容を修得させる。

【 資料3、資料4 】

情報学群の中でも専門分野として、コンピュータサイエンス、情報通信、情報とメディア、情報と人間の4つの分野を設定する。これら各分野のプロフェッショナルを育成するために、専門科目群は基本的に3つの階層から構成される。

第一階層においては、その後の専門科目を理解する上で必要な「専門基礎科目群」を設定する。これらの科目を基礎として、その後に学ぶ専門科目を理解するために必要な科目を配置している。

第二階層においては、育成するプロフェッショナルの4分野に対応した「専門発展科目群」を設定する。ここでは情報学群の設定する4つの専門分野である「コンピュータサイエンス」、「情報通信」、「情報とメディア」、「情報と人間」それぞれの中心的な科目を配置している。

第三階層においては、第二階層までで学んだことをより深く理解し専門領域を深めるための実験や専門分野の完成を目指す卒業研究などの科目を配置する「専攻領域科目群」を設定する。

【 資料 9 】

教育の機能と特色

情報化時代を迎え、情報システムの利用が爆発的に拡大するに伴って、利用者の範囲も急速に変化し、誰もが情報化の恩恵を安全に享受できる環境の提供が急務となっている。また一方、情報通信技術は、過去 1 世紀にわたる、電気通信の時代を脱し、驚異的な情報疎通能力を持った、光通信網へと脱皮しようとしている。この新しい技術は、情報処理技術の発展と相携えて、人類を取り巻く情報環境を一変させるものである。このような革命的な転換の時代に対応できる技術者には、柔らかな発想を生み出し、統合的な視野を持って、しなやかで人に優しい情報ネットワークシステムの考え方が要請されると同時に、情報ネットワークとその応用を推進できる能力が求められている。

情報学群では、柔軟で大胆な発想を育てることを主眼に置き、人に優しい次世代の情報ネットワークシステムの実現に向けた人材を養成する教育プログラムを提供すると同時に、情報技術が人間・社会と共生し発展できる社会をめざし、情報技術をよく理解し、利用者の立場に立って問題発見・問題解決できる人材を育成するためのカリキュラムとする。

教育方法の特色

情報学群では、学習・教育目標を達成するために、高知工科大学の全学科に先進的に導入されている、クォータ制、少人数セミナー教育、重点的英語教育、インターンシップ等に加えて、以下のような特徴的な学習・教育方法を導入している。

ア．英語教育の充実

1、2 年次にネイティブ・スピーカーによる本格的な英語教育を行った後、3 年次には情報ネットワークシステムに関連するトピックスを題材にして、これからのグローバルな技術者に必要となる英語学習を行う。

イ．専門科目演習の充実

一方的な知識の伝達に留まらずに、理解して応用する能力を涵養するために、講義時間に加えて別途演習時間（専門科目演習）を設けて、徹底的に演習を実施する。

ウ．実験実習の充実

講義で学修した知識を実践的に活用できる能力を養うために、毎週 6 時間の実験実習を行う。

エ．履修登録必須科目の設定

このカリキュラム構成では、まず、情報ネットワークシステム技術者に必要な基礎知識の修得のための履修登録必須科目を履修することを義務付けている。同時に、『専門基礎科目群』、『専門発展科目群』、『専攻領域科目群』の各科目モジュール毎に単位取得要件の最低数を規定している。これによって、複数の専門領域の知識・能力が身に付くような配慮がなされている。

オ．プレレキジットによる系統的教育プログラム

ある科目を受講するためには既にいくつかの前提科目に合格していること、いわゆる、プレレキジット（prerequisite）を満足していることを必要とすることで、系統的に専門科目を履修できる教育プログラムにしている。

カ．専門領域の講義と関連付ける教養科目の履修

人文科学・社会科学科目を2年生以降に履修することを推奨する。これは、単なる一般教養を身に付けるのではなく、専門領域の講義と関連付けながら技術者として必要な教養や倫理を身に付けることを目標としているためである。

履修モデル

情報学群の専攻分野として、コンピュータサイエンス専攻、情報通信専攻、情報とメディア専攻、情報と人間専攻の4つの履修モデルを設定する。

コンピュータサイエンス専攻では、ハードウェアとソフトウェアの両面から情報通信技術について深く学修し、あらゆる情報通信分野の中心で活躍できる人材を養成する。情報工学を体系的に学ぶことで、これからの技術の急激な進歩にも柔軟に対応でき、将来の情報システムの発展に寄与できる、真のICT技術者を目指す。

情報通信専攻では、情報通信をより高品質で快適に行える新世代ネットワークシステムや、携帯電話などをはじめとした通信の性能を飛躍的に向上させる通信方式など、コンピュータネットワークに関する教育・研究を通じて情報通信の未来を担う人材を育成する。

情報とメディア専攻では、CGや映像などのデザイン、コンピュータやネットワークで情報メディアを扱う技術、メディアを通して情報システムのあり方を学ぶ。デジタルメディアエンジニア、映像制作関連、Webクリエイター、ソフトウェア開発など情報メディアを扱う幅広い分野で活躍できる人材の育成を目指す。

情報と人間専攻では、これからの知的で高度な情報システムをデザインするための、人間の優れた知的能力の解明と、コンピュータによるその実現のため、知識の表現と利用、推論と学習、認識と理解、人と協調するシステムなどの教育・研究を通じて、人に優しい未来の高度な情報通信技術を有効に活用できる人材を育成する。

【 資料10 - 1 ~ 資料10 - 4 】

(4) 教育研究に関わる教員組織の編成の考え方及び特色

情報学群では、情報科学を基礎としながら情報工学とその応用分野、更には人間との関係に関する学際領域までを教育・研究の対象としている。このため、情報工学および、情報通信、情報とメディア、情報と人間に対応する分野それぞれに精通し、既存の工学部情報システム工学科で高知工科大学の建学の理念のもと、教育、研究、地域貢献を実施してきた教員を中心として構成している。また、先端的な領域や基礎的な分野だけではなく、これからの社会で要求される実践的な情報通信技術にも適応できるように、企業出身の教員も交えた体制としている。

(5) 研究・社会貢献の機能と特色

情報通信技術（ICT）を中心としてその応用にまで至る領域の研究を横断的に行う。JGN 2 plus (Japan Giga-bit Network 2 plus) など国家的な研究プロジェクトを行うだけでなく、地元企業・中小企業との共同研究や自治体や小中高校などの教育機関の情報化に対する支援や共同研究を推進する。また、ICTに関する講習、研修、体験授業なども広く実施していく。これまで工学部情報システム工学科として実施してきた取り組みをさらに発展させることと、かつ、より広い領域との連携を深めることで「情報」にかかわる分野を中心に世界的にも先進的な教育・研究拠点を目指す。

・教育方法、履修指導方法及び卒業要件

1. 教育方法

○多様な学際領域での活躍ができる技術者を育成する主専攻・副専攻制度

各専攻によって定められた専門基礎科目、専門発展科目、専攻領域科目ごとの単位取得条件を満たせば、その専攻を修了したことが認められ（いわゆる主専攻）さらに学群の枠を超えた他の専攻について、その専攻の専門基礎科目、専門発展科目に関して単位取得条件を満たした場合、その副専攻を修了したものと認められる。これによって多様な学際領域での活躍ができる技術者を育成する。

○研究室での個別指導

3年次から希望研究室に配属し、3年次後半の就職活動や4年生の卒業研究に向けて、学生一人一人に適した個別指導を行う。

○高度なスキルを修得させる情報処理教育

情報処理の習得を中心に行う情報処理科目では、コンピュタリテラシーから情報科学 1～3 で専門科目のみならず卒業後も社会で必要とされるスキルを身につけさせる教育を行う。これらの教育は主に 4 つのワークステーション室 (K - WS / Mac OS 対応 144 台、A - WS / Linux 対応 120 台、B - WS / Windows 対応 100 台、C - WS / Windows 対応 124 台) において実施し、このワークステーション室は授業の空き時間や終了後には学生の学習のために開放する。また、全学生に入学後 1 年間ノート型パソコンを貸与し、日常の情報処理ツールとして利用させる。

○他学群・学部専門科目が履修できる教育システム

各学群の学生が、専門分野以外での基礎的な知識を習得し、基本的な技術などを理解できる素養を身につけることが出来るように、他学群およびマネジメント学部の専門科目が履修できる教育システムとする。

○多様化する学生に対応した教育

平成 16 年度に「学生の多様化に対応した実践的技術者の育成」で特色ある大学教育支援プログラムに採択された教育体系、すなわち、実業界 O B である教育講師によるスタディスキルズ、数学や英語といった基礎科目の習熟度別クラス編成の授業などは、学部改編後の各学群でも活用する。

○豊かな人間性を育む教養教育

豊かな人間性・自主性・創造性の涵養に留意し、教養を中心とした科目を多く設定している。この科目には単位互換協定による放送大学や高知県内の他大学 (高知大学・高知女子大学) の授業も含まれ、幅広い知識・視野を身につけられるようにしている。

○学生の個性を尊重し、伸ばす教育を進化させる教育システム

新たに設置する各学群では前身の工学部と同様に、学生の個々の素養に応じ体系的な学習を可能とするため、全科目選択制とし、学生それぞれの目的、将来の目標に応じて、系統的に学べる個別の履修計画を立てられるように懇切丁寧に履修指導を行っていく。そのため 1 年次から個別相談や指導を行うための担任制度、全教員が参加する形での学生個人アドバイザ制度、オフィスアワー制度を設ける。

また、全科目選択制ではあるが、学群として履修を強く促す推奨科目を設定し、コア科目や実験・実習・セミナーの全員受講などの配慮を行うほか、全科目について、プレレキジットを明示したシラバスを公開し、学生の目標に合わせた系統的な履修モデルを提供し、個々の学生に対しきめ細やかな指導を徹底して行う。

さらに、分野ごとに履修モデルが異なることに伴い、学生が満たすべき単位取得と成績を中心とする達成度も分野ごとに異なる。そのため、大学の教務システムを利用して、学生ごとの達成度を各学年においてモニタすることによって学生の達成度を確認し、さらなる学生の達成度水準の高度化を推進する。

2．卒業要件単位と履修制限

卒業要件単位は、大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を17単位以上、自然科学等科目を17単位以上、専門科目を60単位以上かつ修得した単位の合計が124単位以上とする。また、より効果的な学習を可能とするために、年間48単位（各クォータ12単位）の履修制限を設ける。ただし、卒業要件に入れない教職科目はこれに含めない。なお、3年次終了時点で124単位以上を優秀な成績で取得した者に対しては、原則として大学院進学を前提に早期卒業を認める。

3．編入学

既設工学部で実施していた3年次編入学を、各学群でも引き続き実施する。編入学定員の10人は、システム工学群4人、環境理工学群3人、情報学群3人に振り分ける。既修得単位は各学群のカリキュラムに対応させ、既修得単位分のシラバスと、本学シラバスを比較し、内容の整合性を確認の上、読替での単位認定を行う。上限は原則60単位までとし、専門科目については各学群の教務担当教員、大学共通科目については本学教育センターにおいて行う。既修得単位の専門性等によって認定単位数が大きく異なる場合もあり、入学後の履修モデルはあえて設定しないが、担当アドバイザーからの履修指導を通して、本人の学びたい分野を確認しながら、それぞれに必要な科目を履修させる。

．施設、設備等の整備計画

1．校地、運動場の整備計画

総定員(460人)を変更しないままでの学部再編とする。現有の校地は150、070.76㎡であり、設置基準を充分満たしており、運動場・テニスコートなどを含め、転用・共用で対応することとする。

2．校舎等施設の整備計画

先述の通り、総定員(460人)を変更しないままでの学部再編であり、現有の校舎、施設の転用・共用で対応する。ただし、学群長室、学部事務を担当する秘書室などは、必要に応じて現在の施設を改修し、整備する予定である。

3. 図書等の資料及び図書館の整備計画

高知工科大学附属情報図書館の現在の蔵書は約 78、000 冊であり、年間で約 5、000 冊程度増加している。この他に、学術雑誌を中心に国内外合わせて約 800 種の雑誌のバックナンバーを有しており、製本雑誌の所蔵数は約 16、000 冊となっている。また、オンラインジャーナルは約 1、750 タイトルが閲覧でき、視聴覚資料の所蔵数は約 5、500 点である。

本学図書館の閲覧座席数は、収容定員に対し、12.7%であり、基準値を上回っている。館内には視聴覚資料閲覧のための AV ブースも設置されており、更に、インターネット接続可能な情報閲覧室とメディア編集機器を備えたメディア学習室は情報化に対応し、24 時間いつでも使用できる。

・入学者選抜の概要

1. 入学者受け入れの基本方針

本学は開学時から「自主性・創造性の重視」を理念の一つとして教育を行っており、深い専門性ととともに、豊かな人間性を育むことを重要視している。再編後の各学群においても同様に考えており、このような教育展開を行う上で、基礎学力だけではなく、学生の目的意識、積極性、コミュニケーション能力を重視し、個性豊かで多彩な能力を持つ学生を受け入れることを基本方針とする。

このため、各学群では、基礎学力を問う一般入試（センター利用入試含む）に加え、推薦入試などの学力に偏重しない選抜方法を実施し、多様な学生を受け入れることとする。

なお、大学に入学できる者は、学校教育法第 56 条の規定に従い、高等学校、中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は学校教育法施行規則第 69 条（昭和 22 年文部省令第 11 号）に定められている者とする。

2. 募集人員

各学群の募集人員は以下の通りとする。

(開設年度) 学部・学科名	入学定員	募集人員		
		一般入試	センター利用入試	推薦入試
システム工学群	170人	63人	26人	81人
環境理工学群	90人	34人	14人	42人
情報学群	100人	38人	15人	47人

3．選抜方法

学生の募集は、学群単位で行い、従来通り、大学入試センター試験を利用する入試、独自の学力検査、さらには、自己アピール、スポーツ活動、課外活動等を評価する推薦入試制度の実施を予定している。

なお、入学者選抜の実施に当たっては、各学群への就任予定の教員を当て、大学設置基準第2条及び大学入学者選抜要項に従い、その準備から実施、合格判定に至るまで、公正かつ妥当な方法により行う。

- 一般入試

工学分野を習得するために必要な基礎学力を判定するため、学力検査を実施する。

- センター利用入試

工学分野を習得するために必要な基礎学力を判定するため、大学入学センター試験を活用しその基礎学力を検査する。

- 推薦入試

学力検査を免除し、志望動機書とそれに基づく面接及び出願書類の内容を総合的に判定する。

4．学生確保の見通し

高知工科大学が設立された際、特に設置を必要とされた理由の1つに、高知県の高等教育機関の収容力が低いこと、工学部が高知県内に存在しなかったことが上げられている。実際高知県においては、本学が開学したH9年度には670名の工学部進学者を輩出した。H8年度は371名であることから、約2倍近く工学部進学者を増やしたこととなり、工学部への進学者が大幅に増加したことは、本学が開学したことが最大の要因といえる。また、大学進学者も335名増加しており、高知県における大学進学機会を大きく授ける結果となった。本学開学後、高知県の工学部進学者の内約40%が毎年本学へ進学しており、本学が開学したことによりあらたに工学部層を開拓する結果となっている。

開学時の平成9年と比較して、全国的に工学部系学部を取り巻く環境は厳しく、人気低迷しているにもかかわらず、本学は特に地元高知県において、一定のシェアを確保できている。これは、県民からの本学への期待に加え、第2次産業が発達していない高知県にとって、優秀な若い技術者を輩出することは大変重要なことであり、今後もその輩出元として期待されているためである。

また、今回の再編により、工学領域だけでなく、理学領域にも幅広く学問を提供できることとなる。そのため、従来対象としていなかった層からのアプローチも想定できる。本学開学時に高知県では新たな工学部層を開拓できた経緯もあり、従来とは異なる層からの志願も期待できる。

さらに、本学は高知県だけでなく、高知県以外の四国3県を中心に様々な地域から学生を受け入れている。上記同様、従来想定してなかった層からのアプローチが可能であり、今回の再編後も西日本を中心に幅広い地域からの志願も充分期待できる。

【 資料11、資料12 】

・企業実習や海外研修の具体的計画

1．企業実習（インターンシップ）

本学では、大学の講義では得られない知識や経験を修得し、目的意識を芽生えさせ、学習意欲を高めることを目的として3年次に企業実習（インターンシップ）を、また、随時、企業見学を行っている。インターンシップの受け入れ企業数は業種、職種を問わず全国で205機関（公共団体も含む）受け入れ可能人数は422名であるが、このほかにも、学生自身によるインターンシップ先の独自開拓も行われている。学生は本学に登録されている機関から第1希望～第3希望までを申告し、マッチングの上、全員が参加。希望する学生全てが、インターンシップを受けることができる体制を取っている。昨年度は386名（対象となる学生の84.3%）が参加し、受け入れ企業からの報告書及び大学での企業実習体験の発表とそれに基づく討論会を基に、単位認定を行っている。

システム工学群、環境理工学群、情報学群においても、これまで培ってきたこのシステムを採用し、企業実習を行う予定である。

【 資料13 - 1、資料13 - 2 】

・インターンシップ（3年次2単位）

実社会における体験を通じて、組織の仕組み、業務の流れ、組織目標を達成するための戦略と実践、職場における人間関係やマナーなどに対する理解を深め、以後の学習に明確な目標を設定させることを目的とする。

実施期間・・・原則として夏期休業期間（約2週間程度）

対象学生・・・原則として3年次生

実習先・・・民間企業（企画、調査、研究、開発、生産、営業、販売など各部門）
や公共団体、公的施設など

実習前教育・・・実習に対する心構えや、マナー研修など3回のガイダンスを実施。

実習報告・・・企業実習日誌を義務づけ、企業の担当者に毎日提出。

企業評価・・・終了後、企業の担当者から大学に評価カードを提出していただく。

成績評価・・・実習終了後にレポートを作成し、それに基づく発表、討議を行う。この評価と企業からの評価カードを基に総合的に評価する。

2．海外研修

現在、高知工科大学では、海外留学研修として、海外協定大学（タイ王国タマサート大学シリントン国際工学部）へ、5ヶ月の派遣（協定校で取得した単位は卒業要件単位として認定）を実施している。また、約1～2週間の海外異文化体験のための研修も実施しており、今後は、研修内容を語学、異文化体験などに広げ、教養としての研修や国際感覚を身につけるための研修を増やしていく予定である。

・海外留学研修（参考：今年度計画分）

実施期間・・・6月～（5ヶ月）

対象学生・・・原則として3年次生以上の希望者

研修先・・・タマサート大学シリントン国際工学部

研修前教育・・・研修に対する心構えや、異文化理解などのガイダンスを実施。また、語学研修を行う（英語・タイ語）。

研修内容・・・タマサート大学シリントン国際工学部において通常の授業（英語）を受講する。また、本人の研究に関連する研究室に所属し、研究指導を受ける。

成績評価・・・通常のテスト等により、同大学の学生と同じレベルの評価を受ける。

単位認定・・・タマサート大学シリントン国際工学部において取得した単位は、本学の卒業要件単位として読み替える。

・海外異文化体験研修（参考：今年度計画分）

実施期間・・・夏期休業期間（1週間）

対象学生・・・希望者が多数の場合は、参加希望目的理由を記載した申請書類で選抜

研修先・・・タイ王国（タマサート大学・アユタヤ遺跡など）

研修前教育・・・研修に対する心構えや、異文化理解などのガイダンスを実施。また、語学研修を行う（英語・タイ語）。

研修内容・・・異文化体験のための都市・遺跡見学。提携大学であるタマサート大学の見学と授業聴講、同大学学生とのディスカッション、本学卒業生（同窓会タイ支部）との交流など。

研修報告・・・研修終了後にレポートを作成し提出。それに基づく報告会を行う。

単位認定・・・行わない。

海外異文化体験研修には本学国際交流担当職員が同行する。

・短期語学研修（参考：今年度計画分）

実施期間・・・夏期休業期間（約10日間）

対象学生・・・希望者が多数の場合は、参加希望目的理由を記載した申請書類で選抜

研修先・・・中華人民共和国（遼寧省瀋陽瀋陽工業大学・黒竜江省ハルビン黒竜江大学）

研修前教育・・・研修に対する心構えや、異文化理解などのガイダンスを職員及び本学留学生が実施。

研修内容・・・本学卒業生（同窓会中国支部）主催により瀋陽で行われるシンポジウムに参加。黒竜江省ハルビンにある黒竜江大学にて約1週間の中国語語学研修、遺跡見学など。

研修報告・・・研修終了後に報告書を提出。それに基づく報告会を行う。

単位認定・・・行わない。

短期語学研修には本学国際交流担当職員が同行する。

．管理運営

本学では、教学面での管理運営の体制として、迅速かつ円滑な大学運営を行うために、教授会から委任を受けた大学運営委員会による代議員制をとっている。大学運営委員会のメンバーは、学長、副学長、学部長、研究科長、教育本部長、研究本部長、産学連携本部長、情報図書館長、教室長、学科毎に選出された専任教員、学長が必要と認めた者によって組織され、この議決を以て教授会の議決とし、この内容については直近の教授会で報告することとしている。

．自己点検・評価

平成 9 年の大学開設時より、学則第 2 条に「自己点検・評価について」規定しており、現在までに、学部完成年度前の平成 11 年度、平成 13 年度、平成 16 年度の合計 3 回の自己点検を実施し、この結果を点検・評価報告書として公表することで、第三者による評価を仰いできた。

平成 14 年には外部評価委員会要綱を制定し、各専門分野において幅広い学識を有する学外委員の方々に外部評価を行って頂いた。この結果は、具体的な取り組みとして実現されている。なお、学外有識者からの定期的な助言を頂く場として平成 13 年度にアドバイザリーボードを制定し、メンバーの皆様からの定期的なアドバイスを頂いている。

また、平成 17 年度には、それまでの取り組みと成果をまとめ、財団法人大学基準協会による認証評価を受審し、平成 18 年に同協会の定める「大学基準」に適合するとの認定を受けた。この評価結果を含め、これまでの取り組み内容は「高知工科大学自己点検・評価報告書 - 大学基準協会による加盟判定審査ならびに認証評価結果」としてまとめ、ホームページへ掲載するとともに第三者への配布を行っている。

今後も、法令で定められた認証評価に限らず、これまで取り組んできたように、定期的に自己点検・評価を行い、公表していく予定である。

【 資料 14 】

・情報の提供

教育研究活動における情報提供としては、ホームページへの掲載や、大学紀要や大学広報誌、大学案内など広報刊行物を通じて広く公表することはもちろん、教員による当該年度の成果報告会である「プロジェクト研究発表会」(高知市、本学)や、JSTの協力の下、東京秋葉原での「高知工科大学出合いの場」の実施、学生によるプレゼンテーションを中心とした「大学説明会」(東京・大阪・名古屋等)など、一般にも広く公開した報告会を行っている。

また、産学連携をテーマに、日本経済新聞社、高知県とともに「21世紀大学フォーラム」を主催し、これまでに、東京・大阪・京都・名古屋において、一般に向けた公開講座として、パネルディスカッションや事例報告・発表を行っている。

なお、このほかにも「イノベーション・ジャパン」や「機能性材料展」、「産学官連携推進会議」、「バイオジャパン」など各種の報告会に積極的に参加し、情報発信を行っている。

今後も、これまでと同様に、定期的な刊行物やホームページでの情報発信はもとより、大学独自の報告会や、各種団体の主催する報告会への参加など、直接説明できる場作りも積極的に行っていきたい。

なお、財務状況についても、ホームページや大学概要、大学広報誌等で公表している。

・教員の資質の維持向上の方策

本学は「教員評価システム」を導入しており、大学が教員に期待する項目を提示し、活動実績の報告を求め、その総合点によって各教員を評価することを行っている。このシステムは、教育、研究、社会貢献、大学運営に対する貢献により構成され、各教員は具体的に求められる教員像をイメージし、それに対する自己の取り組みが可能となる。また、この評価項目の中には学生の授業評価も含まれており、授業の改善にも繋がっている。

この学生の授業評価とは別に「Teacher of the year」として、その年に最も優れた授業を行った教員を学生が投票で選び、表彰する制度も有しており、この賞を受賞した教員による講演会などが行われている。

また、FDとして、教育の手法に関しては「教育セミナー」を、研究の手法については「研究セミナー」を開催しており、より優れた研究、よりすばらしい授業を行うため、積極的に研修会を行っている。

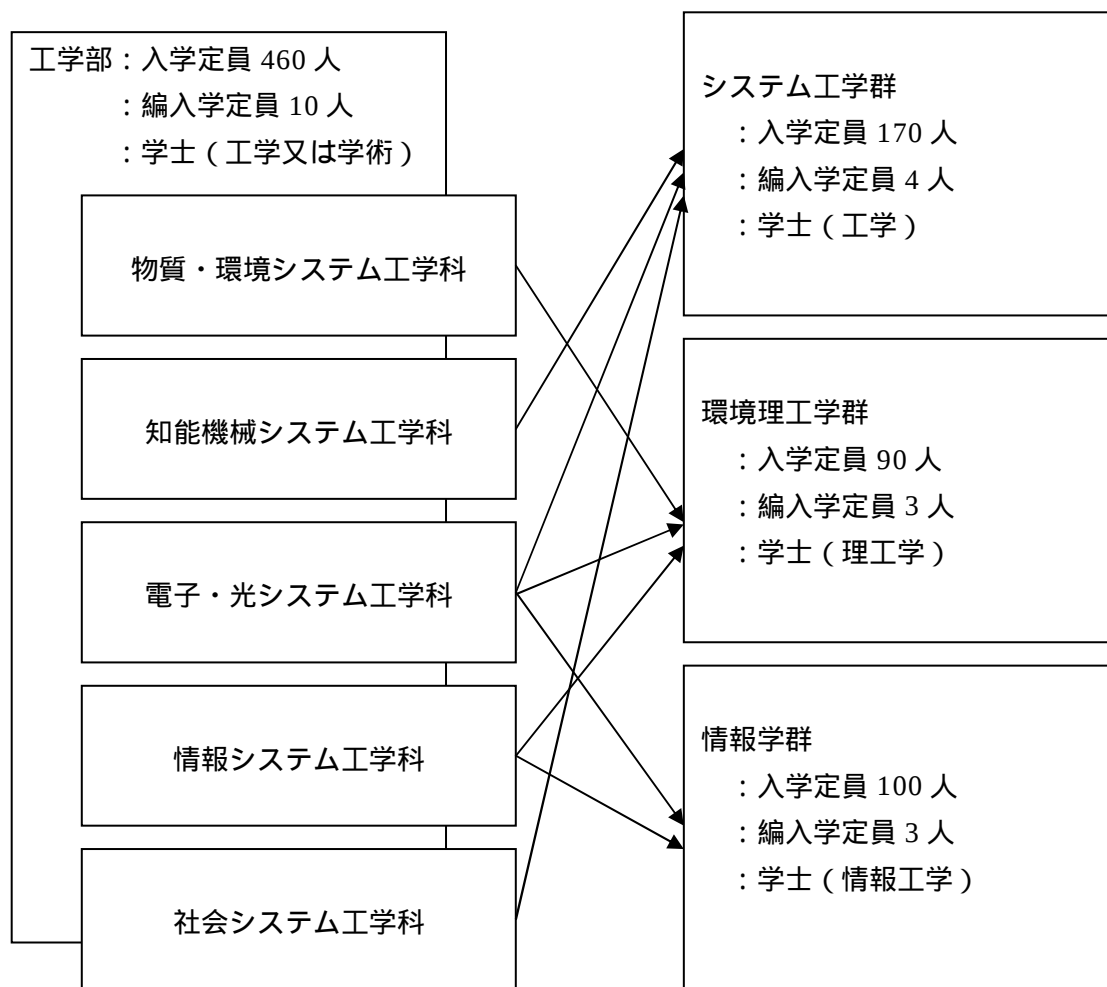
なお、開学時から「サバティカル・クォータ」を設定し、年間の4分の1の期間は授業を行わず自己研鑽のための時間とすることができる。

こうした方策は、今後も継続して行っていく予定である。

- 資 料 目 次 -

【 資料 1 】	学部再編イメージ（工学部 5 学科体制から 3 学群体制へ）
【 資料 2 】	高知工科大学の就職実績
【 資料 3 】	高知県内大学と放送大学との単位互換協定書
【 資料 4 】	放送大学との単位互換協定に関する覚書
【 資料 5 】	システム工学群のカリキュラム体系
【 資料 6 - 1 】	システム工学群 履修モデル （機械工学専攻）
【 資料 6 - 2 】	システム工学群 履修モデル （ロボット工学専攻）
【 資料 6 - 3 】	システム工学群 履修モデル （航空宇宙工学専攻）
【 資料 6 - 4 】	システム工学群 履修モデル （電子工学専攻）
【 資料 6 - 5 】	システム工学群 履修モデル （光エレクトロニクス専攻）
【 資料 6 - 6 】	システム工学群 履修モデル （建築・都市デザイン専攻）
【 資料 7 】	環境理工学群のカリキュラム体系
【 資料 8 - 1 】	環境理工学群 履修モデル （化学・生命科学専攻）
【 資料 8 - 2 】	環境理工学群 履修モデル （ナノ・物質科学専攻）
【 資料 8 - 3 】	環境理工学群 履修モデル （環境科学専攻）
【 資料 9 】	情報学群のカリキュラム体系
【 資料 10 - 1 】	情報学群 履修モデル （情報と人間専攻）
【 資料 10 - 2 】	情報学群 履修モデル （情報とメディア専攻）
【 資料 10 - 3 】	情報学群 履修モデル （情報通信専攻）
【 資料 10 - 4 】	情報学群 履修モデル （コンピュータサイエンス専攻）
【 資料 11 】	高知工科大学 エリア別志願・合格・入学状況（過去 3 年間）
【 資料 12 】	高知県内高等学校卒業生進学動向（過去 3 年間）
【 資料 13 - 1 】	2007 年度 インターンシップ受け入れ団体一覧（その 1）
【 資料 13 - 2 】	2007 年度 インターンシップ受け入れ団体一覧（その 2）
【 資料 14 】	大学基準協会による認証評価結果

【 資料 1 】 学部再編イメージ（工学部 5 学科体制から 3 学群体制へ）



は教員組織の移行を示す

【 資料 2 】高知工科大学の就職実績

就職内定率推移

学部

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	通算
内定者数	234	235	217	224	236	262	326	308	2042
就職希望者数	236	239	226	231	242	265	330	310	2079
就職内定率	99.2%	98.3%	96.0%	97.0%	97.5%	98.9%	98.8%	99.4%	98.2%

修士課程

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	通算
内定者数			121	72	73	91	125	111	593
就職希望者数			121	73	73	91	127	112	597
就職内定率			100.0%	98.6%	100.0%	100.0%	98.4%	99.1%	99.3%

求人数推移

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	通算
求人数	1229	1395	1190	1251	1354	1721	2001	2355	12496
就職希望者数	236	239	347	304	315	356	457	422	2676
求人倍率	5.21	5.84	3.43	4.12	4.30	4.83	4.38	5.58	4.67

高知県内 4 大学及び放送大学間の単位互換に関する協定書

高知県内 4 大学（高知大学、高知医科大学、高知女子大学及び高知工科大学）及び放送大学（以下「5 大学」という。）は、5 大学の交流と協力を促進し、教育内容の充実を図ることを目的として、授業科目の単位互換を行うこととし、次の事項について合意に達したので、ここに協定書を取り交わす。

（他大学授業科目の履修）

第 1 条 5 大学は、5 大学の一に在籍する学生が相互に他大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認める。

（学生の身分）

第 2 条 前条により他大学の授業科目を履修する学生の当該他大学における身分は、特別聴講学生とする。

（単位の互換）

第 3 条 前 2 条の規定による 5 大学の特別聴講学生が修得した単位は、当該学生の在籍する大学の定めるところにより、当該大学での履修により修得した単位として認定する。

（単位互換の実施についての覚書等）

第 4 条 第 1 条及び第 2 条の規定による特別聴講学生の履修科目、履修定員、授業料その他単位互換の実施に関し必要な事項は、5 大学相互の間で別途取り交わす単位互換の実施についての覚書その他により定める。

（発効）

第 5 条 本協定は、平成 9 年 4 月 1 日から発効する。

（協定の改定）

第 6 条 本協定は、5 大学の協議と合意のもとに、必要に応じて改定することができる。

平成 9 年 4 月 7 日

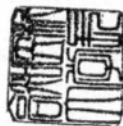
立川 森

高 知 大 学 長



喜多村 勇

高知医科大学長



成田 十次郎

高知女子大学長



末松 安晴

高知工科大学長



小尾 信彌

放 送 大 学 長



【 資料 4 】放送大学との単位互換協定に関する覚書

高知工科大学と放送大学との間における 単位互換に関する協定書についての覚書

高知県内 4 大学及び放送大学間の単位互換に関する協定書第 4 条の規定に基づき、高知工科大学と放送大学との間における単位互換の実施に関し、下記の内容が合意に達したので、ここに覚書を取り交わす。

記

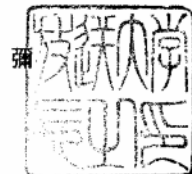
- 1 受入れ学生数
放送大学が受け入れる学生は、1, 0 0 0 人程度とする。
- 2 履修期間
特別聴講学生の履修期間は、放送大学においては 1 学期毎とする。
- 3 履修できる授業科目の範囲及び修得できる単位数
 - (1) 履修できる授業科目の範囲
高知工科大学学生が履修できる授業科目は、放送大学で開講するすべての放送及び印刷教材による授業科目のうち高知工科大学において認めたものとする。
 - (2) 修得できる単位数
高知工科大学学生が、当該学生の在学期間を通じて修得できる単位数は、3 0 単位以内とする。
- 4 出願の手続及び受入れ予定学生の決定
出願の手続及び受入れ予定学生の決定については、次に掲げる要領により取り扱う。
 - (1) 放送大学に特別聴講学生として出願を希望する者は、定められた期日までに「出願票及び所定の書類」を高知工科大学長を経て放送大学長に提出するものとする。
 - (2) 放送大学長は、前号により希望した者のうちから選考し、受入れ予定学生を決定する。
 - (3) 放送大学長は、前号で決定した学生の氏名を高知工科大学長に通知する。
- 5 受入れの許可
 - (1) 前項第 2 号により受入れ予定学生と決定した者は、放送大学学則に定める手続を行う。
 - (2) 放送大学長は、前号の手続を完了した者に対し特別聴講学生として受入れを許可する。
 - (3) 放送大学長は、前号で許可した学生の氏名を高知工科大学長に通知する。
- 6 通信指導の再提出及び再試験
放送大学長は、特別聴講学生が放送大学において履修する授業科目の通信指導の再提出及び再試験の受験を、各 1 回認める。
- 7 成績評価及び単位授与の方法
特別聴講学生が放送大学において履修した授業科目の成績の評価及び単位の授与については、放送大学学則の定めるところによる。
- 8 授業料等
放送大学においては、特別聴講学生の授業料は、放送大学学則に定める額とし、入学金は徴収しない。
- 9 単位認定試験の実施方法
高知工科大学を会場として単位認定試験を実施するに際しては、「放送大学単位認定試験実施要領」に則って行うこととする。
- 10 放送大学は、特別聴講学生が履修上必要な施設・設備の利用については、便宜を供与する。
- 11 本覚書は、どちらか一方の大学の申出により、協議の上、改定することができる。

平成 9 年 7 月 9 日

高 知 工 科 大 学 長 末 松 安



放 送 大 学 長 小 尾 信



【資料6-1】システム工学群 履修モデル
(機械工学専攻:次世代ものづくりで社会に貢献できる人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次		計	
		科目名		科目名		科目名		科目名			
大学 共通科目	人文・ 社会 科学	基礎心理学	2	技術と安全	2	知的財産権と特許	2				
		体育実技	1	日本語表現法	2	キャリア・プラン1	1				
		Reading/Listening1	1	Thinking in English1	1						
		Reading/Listening2	1	Thinking in English2	1						
		Science English	1	Science Reading1	1						
		Science Lab	1	Science Reading2	1						
		スタディスキルズ1	2								
		計	9		8		3		0		20
	自然科学	現代化学の基礎	2	数学5	2						
		数学1	2								
数学2		2									
数学3		2									
数学4		2									
コンピュータリテラシー		2									
情報科学1		2									
情報科学2	2										
情報科学3	2										
計	18		2		0		0		20		
小計		27		10		3		0		40	
専門 科目	工学 系 共通	力学基礎	2			インターンシップ	2				
		力学	2								
		電気回路基礎	2								
	専門 基礎	運動と振動	2	熱力学	2						
		材料力学	2	流れの科学	2						
		CAD・図学	2	制御基礎	2						
		専門ガイダンス	2	測量学1	2						
		システム工学実験	2								
	専門 発展			機械システムデザイン1	2	制御工学1	2				
				機械加工学	2	流体力学	2				
				固体力学1	2	エネルギー工学	2				
				機械力学1	2	自動車工学	2				
			メカトロニクス1	2							
			機械システムデザイン2	2							
			シミュレーション工学1	2							
専攻 領域			機械工学概論	2							
			機械システム工学実験	2	固体力学2	2	創造設計2	2			
					機械力学2	2	形状創出加工学	2			
					創造設計1	2	卒業研究	8			
					シミュレーション工学2	2					
					材料・強度設計	2					
					伝熱工学	2					
					工学モデル論	2					
					コンピュータ応用解析	2					
					コンピュータ応用設計	2					
				機械英語	2						
小計		16		26		30		12		84	
合計		43		34		35		12		124	

は履修推奨科目を示す

【 資料6 - 2 】 システム工学群 履修モデル
(ロボット工学専攻:ロボット等最先端機器の開発を行う人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次		計	
		科目名		科目名		科目名		科目名			
大学 共通科目	人文・ 社会科学	基礎心理学	2	技術と安全	2	知的財産権と特許	2				
		体育実技	1	日本語表現法	2	キャリア・プラン1	1				
		Reading/Listening1	1	Thinking in English1	1						
		Reading/Listening2	1	Thinking in English2	1						
		Science English	1	Science Reading1	1						
		Science Lab	1	Science Reading2	1						
		スタディスキルズ1	2								
		計	9		8		3		0	20	
	自然科学	現代化学の基礎	2	数学5	2						
		数学1	2								
数学2		2									
数学3		2									
数学4		2									
コンピュータリテラシー		2									
情報科学1		2									
	情報科学2	2									
	情報科学3	2									
	計	18		2		0		0	20		
小計		27		10		3		0	40		
専門 科目	工学 系 共通	力学基礎	2	電子回路基礎	2	インターンシップ	2				
		力学	2								
		電気回路基礎	2								
	専門 基礎	運動と振動	2	熱力学	2						
		材料力学	2	流れの科学	2						
		CAD・図学	2	制御基礎	2						
		専門ガイダンス	2	測量学1	2						
		システム工学実験	2								
		光学基礎	2								
	専門 発展			機械システムデザイン1	2	制御工学1	2				
			固体力学1	2	データ解析と信号処理	2					
			機械力学1	2	ロボット運動学	2					
			コンピュータ制御	2							
			メカトロニクス1	2							
			機械システムデザイン2	2							
			シミュレーション工学1	2							
		ロボット工学概論	2								
専攻 領域			機械システム工学実験	2	機械力学2	2	メカトロニクス2	2			
					創造設計1	2	ロボット制御工学	2			
					シミュレーション工学2	2	卒業研究	8			
					制御工学2	2					
					人工知能	2					
					マシンビジョン	2					
					コンピュータ応用解析	2					
					脳情報学	2					
					機械英語	2					
小計		18		28		26		12	84		
合計		45		36		31		12	124		

は履修推奨科目を示す

【 資料6 - 3 】 システム工学群 履修モデル
(航空宇宙工学専攻:航空機・ロケット等高度な設計・製造を行う人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次		計	
		科目名		科目名		科目名		科目名			
大学 共通科目	人文・ 社会科学	基礎心理学	2	技術と安全	2	知的財産権と特許	2				
		体育実技	1	日本語表現法	2	キャリア・プラン1	1				
		Reading/Listening1	1	Thinking in English1	1						
		Reading/Listening2	1	Thinking in English2	1						
		Science English	1	Science Reading1	1						
		Science Lab	1	Science Reading2	1						
		スタディスキルズ1	2								
		計	9		8		3		0		20
	自然科学	現代化学の基礎	2	数学5	2						
		数学1	2								
		数学2	2								
		数学3	2								
		数学4	2								
		コンピュータリテラシー	2								
情報科学1		2									
	情報科学2	2									
	情報科学3	2									
	計	18		2		0		0		20	
小計		27		10		3		0		40	
専門 科目	工学系 共通	力学基礎	2	電磁気学基礎	2	インターンシップ	2				
		力学	2								
		電気回路基礎	2								
	専門 基礎	材料力学	2	熱力学	2						
		運動と振動	2	流れの科学	2						
		CAD・図学	2	制御基礎	2						
		専門ガイダンス	2	測量学1	2						
		システム工学実験	2								
	専門 発展		機械システムデザイン1	2	制御工学1	2					
			機械加工学	2	流体力学	2					
			固体力学1	2	エネルギー工学	2					
			機械力学1	2	航空力学	2					
			機械システムデザイン2	2	信号解析	2					
			シミュレーション工学1	2							
		宇宙工学概論	2								
専攻 領域		機械システム工学実験	2	固体力学2	2	宇宙計測工学	2				
				創造設計1	2	誘導制御	2				
				材料・強度設計	2	卒業研究	8				
				伝熱工学	2						
				工学モデル論	2						
				コンピュータ応用解析	2						
				軽構造工学	2						
			機械英語	2							
小計		16	26	28		12		82			
合計		43	36	33		12		124			

は履修推奨科目を示す

【資料6-4】システム工学群 履修モデル
(電子工学専攻:情報通信・半導体・回路設計分野で活躍する人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次		計	
		科目名		科目名		科目名		科目名			
大学 共通科目	人文・ 社会科学	日本国憲法	2	技術と安全	2	知的財産権と特許	2				
		体育実技	1	Thinking in English 1	1	キャリア・プラン1	1				
		Reading/Listening 1	1	Thinking in English 2	1						
		Reading/Listening 2	1	Science Reading1	1						
		Science English	1	Science Reading2	1						
		Science Lab	1								
		スタディスキルズ1	2								
		計	9		6		3		0	18	
	自然科学	現代化学の基礎	2	数学5	2						
		数学1	2	ヒトの生物学	2						
数学2		2									
数学3		2									
数学4		2									
コンピュータリテラシー		2									
情報科学1		2									
	情報科学2	2									
	情報科学3	2									
	計	18		4		0		0	22		
小計		27		10		3		0	40		
専門 科目	工学系 共通	力学基礎	2	電磁気学基礎	2	インターンシップ	2				
		電気回路基礎	2	電子回路基礎	2						
	専門 基礎	デザイン基礎	2	計測基礎	2						
		CAD・図学	2	制御基礎	2						
		専門ガイダンス	2	企業見学	1						
		システム工学実験	2								
	専門 発展		情報処理概論	2	半導体工学	2					
			電磁気学	2	電子デバイス	2					
			回路理論	2	計算機アーキテクチャ	2					
			電子物性基礎	2	アナログ回路	2					
		アルゴリズムとデータ構造	2	ディジタル集積回路	2						
		論理回路	2	デバイスプロセス	2						
専攻 領域		電子・光システムセミナー1	1	電子・光システムセミナー2	2	電子工学セミナー2	2				
		電子・光システム工学実験1	2	電子・光システム工学実験2	2	電子工学実験2	2				
		プログラミング演習	2	電力システム概論	2	VLSIシステムデザイン概論	2				
				生体情報工学	2	卒業研究	8				
				電子工学セミナー1	2						
				電子工学実験1	2						
				映像音響メディア	2						
				画像処理	2						
			数値計算法	2							
小計		12		26		32		14	84		
合計		39		36		35		14	124		

は履修推奨科目を示す

【資料6-5】システム工学群 履修モデル
(光エレクトロニクス専攻:次世代の光通信・エレクトロニクス技術を支える人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次		計	
		科目名		科目名		科目名		科目名			
大学 共通 科目	人文・ 社会科学	日本国憲法	2	技術と安全	2	知的財産権と特許	2				
		体育実技	1	Thinking in English 1	1	キャリア・プラン1	1				
		Reading/Listening 1	1	Thinking in English 2	1						
		Reading/Listening 2	1	Science Reading1	1						
		Science English	1	Science Reading2	1						
		Science Lab	1								
		スタディスキルズ1	2								
		計	9		6		3		0		18
	自然科学	現代化学の基礎	2	数学5	2						
		数学1	2	ヒトの生物学	2						
数学2		2									
数学3		2									
数学4		2									
コンピュータリテラシー		2									
情報科学1		2									
	情報科学2	2									
	情報科学3	2									
	計	18		4		0		0		22	
小計		27		10		3		0		40	
専門 科目	工学系 共通	力学基礎	2	電磁気学基礎	2	インターンシップ	2				
		電気回路基礎	2	電子回路基礎	2						
	専門 基礎	CAD・図学	2	計測基礎	2						
		専門ガイダンス	2	制御基礎	2						
		システム工学実験	2	企業見学	1						
		光学基礎	2								
	専門 発展			通信概論	2	半導体工学	2				
				情報処理概論	2	回路理論	2				
				通信処理概論	2	電磁波・光波	2				
				電磁気学	2	信号解析	2				
			回路理論	2	光デバイス	2					
			電子物性基礎	2	光通信システム	2					
専攻 領域		電子・光システムセミナー1	1	電子・光システムセミナー2	2	光エレクトロニクスセミナー2	2				
		電子・光システム工学実験1	2	電子・光システム工学実験2	2	光エレクトロニクス実験2	2				
		プログラミング演習	2	アナログ・デジタル通信	2	卒業研究	8				
				光エレクトロニクスセミナー1	2	通信機器概論	2				
				光エレクトロニクス実験1	2						
				映像音響メディア	2						
				画像処理	2						
				通信方式	2						
				量子と光	2						
小計		12		26		32		14		84	
合計		39		36		35		14		124	

は履修推奨科目を示す

【 資料6 - 6 】 システム工学群 履修モデル
(建築・都市デザイン専攻:ハード・ソフト両面から建設・建築分野で活躍する人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次	計
		科目名		科目名		科目名		科目名	
大学 共通科目	人文・ 社会科学	日本国憲法	2	技術と安全	2	日本語表現法	2		
		Reading/Listening 1	1	人文地理学	2	キャリア・プラン1	1		
		Reading/Listening 2	1	Thinking in English 1	1	キャリア・プラン2	1		
		Science English	1	Thinking in English 2	1				
		Science Lab	1	Science Reading1	1				
		スタディスキルズ1	2	Science Reading2	1				
		計	8		8		4	0	20
	自然科学	現代化学の基礎	2						
		生命科学	2						
		数学1	2						
		数学2	2						
		数学3	2						
		数学4	2						
		コンピュータリテラシー	2						
小計	専門基礎	情報科学1	2						
		情報科学2	2						
		情報科学3	2						
		計	20	0	0		0	0	20
	工学系共通	力学基礎	2	マルチメディアプレゼンテーション	2	インターンシップ	2		
		力学	2						
専門科目	専門基礎	材料力学	2	流れの科学	2	企業見学	2		
		運動と振動	2	景観デザイン	2				
		CAD・図学	2	測量学1	2				
		デザイン基礎	2						
		光学基礎	2						
		システム工学実験	2						
	専門発展			構造の力学1	2	測量学2	2		
				コンクリート工学	2	橋梁工学	2		
				まちづくり計画	2	構造の力学2	2		
				鉄筋コンクリート	2	都市計画	2		
				社会システム工学概論	2				
				プロジェクトマネジメント	2				
				建築構造設計	2				
合計	専攻領域			住宅設計	2				
				構造実験	2	景観デザイン演習	2	卒業研究	8
				室内環境デザイン	2	構造設計演習	2		
						建築デザイン演習	2		
						構造物の維持管理	2		
						コンストラクションマネジメント	2		
						システム解析	2		
	小計		16		28		32	8	84
	合計		44	36	36	36	8	124	

は履修推奨科目を示す

【 資料7 】 高知工科大学 環境理工学群 授業科目構成表

履修年次 科目	1年次			2年次			3年次			4年次		
	前期	後期		前期	後期		前期	後期		前期	後期	
大学共通科目	人文 教養	日本国憲法 基礎心理学 基礎倫理 体育実技		技術と安全		知的財産権と特許						
	社会 科学	英語 Reading/Listening1 Reading/Listening2	Science English Science Lab	Thinking in English1 Thinking in English2	Science Reading1 Science Reading2	Global Citizen Business/TOEIC English/Technical Presentation/Writing						
	自然 科学	現代化学の基礎 生命科学 数学1 数学2 コンピュータリテラシー 情報科学1 情報科学2 情報科学3	現代化学の基礎 生命科学 数学3 数学4 情報科学2 情報科学3	応用化学概論 ヒトの生物学 数学5 数学6 数学7 数学8		キャリアプラン1 キャリアプラン2						
	工学系共通	力学基礎 電気回路基礎 地球再生システム論	力学基礎 電気回路基礎 地球再生システム論	工学概論 電子回路基礎 地球再生システム論	マルウェア・アプリケーション・インżyniring	地球再生システム論						
	専門基礎	基礎化学 生物材料概論 現代物理学基礎	有機化学序論 細胞生物学 環境概論	物理化学 無機化学 環境概論	セミナー1 物理学実験 生物化学実験	企業見学 生物化学実験			セミナー2		セミナー3	
	専門発展											
	専門発展											
	専門発展											
	専門発展											
	専門発展											
専門科目	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
専攻領域科目	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
環境科学	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											
	化学・生命科学 ナノ・物質科学											

卒業要件単位数:大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を17単位以上、自然科学等科目を17単位以上、専門科目を60単位以上かつ修得した単位の合計が124単位以上とする。
専門科目は全科目を記載し、科目体系を示す
大学共通科目は、推奨科目を示す

【 資料8 - 1 】 環境理工学群 履修モデル
(化学・生命科学専攻:化学・製薬・食品・農林水産業等での製造・開発を行う人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次		計
		科目名		科目名		科目名		科目名		
大学 共通 科目	人文・ 社会 科学	日本国憲法	2	Thinking in English1	1	知的財産権と特許	2			
		基礎心理学	2	Thinking in English2	1	Technical Reading	2			
		体育理論	1	Science Reading 1	1	Technical Presentation/Writing	2			
		体育実技	1	Science Reading 2	1					
		Reading/Listening1	1							
		Reading/Listening2	1							
		Science English	1							
		Science Lab	1							
	スタディスキルズ1	2								
		計	12		4		4		0	20
自然科学	現代化学の基礎	2	数学5	2						
	生命科学	2	数学6	2						
	数学1	2								
	数学2	2								
	数学3	2								
	数学4	2								
	コンピュータリテラシー	2								
	情報科学1	2								
情報科学3	2									
	計	18		4		0		0	22	
小計		30		8		4		0	42	
専門 科目	工学系 共通	力学基礎	2	工学概論	2	インターンシップ	2			
				電磁気学基礎	2					
				地球科学概論	2					
				技術開発概論	2					
	専門 基礎	基礎化学	2	物理化学	2	生物化学実験	2	セミナー2	2	
		生物材料概論	2	無機化学	2			セミナー3	2	
		現代物理学基礎	2	環境熱科学	2					
		有機化学序論	2	セミナー1	2					
		細胞生物学	2	物理学実験	2					
	専門 発展	環境概論	2	有機化学	2	生物環境工学	2			
				生化学	2	生体生理化学	2			
				計測と解析	2	食品工学	2			
			先進科学への招待	2	物質循環システム	2				
			高分子科学	2						
			生物工学概論	2						
			分子遺伝学	2						
専攻 領域					醸造工学	2	卒業研究	8		
					酵素工学	2				
					蛋白質工学	2				
					分析化学	2				
					遺伝子工学	2				
					真核分子生物学	2				
小計		14	32	24		12	82			
合計		44	40	28		12	124			

【資料8 - 2】 環境理工学群 履修モデル
(ナノ物質科学専攻: 金属・セラミックス等の素材産業や電子工業分野等の製造・開発を行う人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次		計
		科目名		科目名		科目名		科目名		
大学 共通科目	人文・ 社会科学	日本国憲法	2	Thinking in English1	1	知的財産権と特許	2			
		基礎心理学	2	Thinking in English2	1	Technical Reading	2			
		体育理論	1	Science Reading 1	1	Technical Presentation/Writing	2			
		体育実技	1	Science Reading 2	1					
		Reading/Listening1	1							
		Reading/Listening2	1							
		Science English	1							
		Science Lab	1							
		スタディスキルズ1	2							
		計	12		4		6		0	22
自然科学	現代化学の基礎	2	数学5	2	数学7	2				
	生命科学	2	数学6	2						
	数学1	2								
	数学2	2								
	数学3	2								
	数学4	2								
	コンピュータリテラシー	2								
	情報科学1	2								
	情報科学3	2								
	計	18		4		2		0	24	
小計		30		8		8		0	46	
専門 科目	工学系 共通	力学基礎	2	工学概論	2					
				電磁気学基礎	2					
				地球科学概論	2					
	専門 基礎	基礎化学	2	物理化学	2	生物化学実験	2	セミナー2	2	
		生物材料概論	2	無機化学	2			セミナー3	2	
		現代物理学基礎	2	環境熱科学	2					
		有機化学序論	2	セミナー1	2					
		細胞生物学	2	物理学実験	2					
	専門 発展	環境概論	2	材料の科学	2	界面科学	2			
				計測と解析	2	ナノ材料設計	2			
			先進科学への招待	2	量子力学基礎	2				
			高分子科学	2	材料プロセスと環境	2				
			材料の構造	2	ライフサイクルアセスメント	2				
専攻 領域					材料強度の原子論	2	卒業研究	8		
					結晶物理学	2				
					半導体工学	2				
					固体物性	2				
					統計物理	2				
					量子と光	2				
小計		14		28		24		12	78	
合計		44		36		32		12	124	

【 資料8 - 3 】 環境理工学群 履修モデル
(環境科学専攻:官公庁等の環境担当や環境関連企業、各種製造業の分析部門等で活躍できる人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次		計
		科目名		科目名		科目名		科目名		
大学 共通 科目	人文・ 社会 科学	日本国憲法	2	技術と安全	2	知的財産権と特許	2			
		基礎心理学	2	Thinking in English1	1	Technical Reading	2			
		体育理論	1	Thinking in English2	1	Technical Presentation/Writing	2			
		体育実技	1	Science Reading 1	1					
		Reading/Listening1	1	Science Reading 2	1					
		Reading/Listening2	1							
		Science English	1							
		Science Lab	1							
	スタディスキルズ1	2								
		計	12		6		6		0	24
自然科学	現代化学の基礎	2	ヒトの生物学	2						
	生命科学	2	数学5	2						
	数学1	2	数学6	2						
	数学2	2								
	数学3	2								
	数学4	2								
	コンピュータリテラシー	2								
	情報科学1	2								
情報科学3	2									
	計	18		6		0		0	24	
小計		30		12		6		0	48	
専門 科目	工学系 共通	力学基礎	2	工学概論	2					
				電磁気学基礎	2					
				技術開発概論	2					
				地球科学概論	2					
	専門 基礎	基礎化学	2	無機化学	2	生物化学実験	2	セミナー2	2	
		生物材料概論	2	物理化学	2			セミナー3	2	
		現代物理学基礎	2	環境熱科学	2					
		有機化学序論	2	セミナー1	2					
	細胞生物学	2	物理学実験	2						
	専門 発展	環境概論	2	計測と解析	2	生物環境工学	2			
			先進科学への招待	2	材料プロセスと環境	2				
			高分子科学	2	ライフサイクルアセスメント	2				
			材料技術史	2	物質循環システム	2				
		地球の活動と資源形成	2							
専攻 領域					環境化学	2	卒業研究	8		
					環境の物理学	2				
					環境材料学	2				
					水圏環境工学	2				
					生物資源科学	2				
					エネルギー工学	2				
小計		14		28		22		12	76	
合計		44		40		28		12	124	

〔資料9〕高知工科大学 情報学群 授業科目構成表

履修年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
科目	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学共通科目	教養科目 人文・社会科学	体育理論 体育実技	文化としての戦術と戦略	技術と安全 歴史と人間	知的財産権と特許 企業戦略と企業文化			
	英語	Reading/Listening1 Reading/Listening2 スクリプトリスニング1	Science English Science Lab	Thinking in English 1 Thinking in English 2	Global Citizen Business/TOEIC English Technical Presentation/Writing			
	教養科目 自然科学	教養の物理学1 教養の物理学2	現代化学の基礎 生命科学	応用化学概論 ヒトの生物学	キャリアプラン1 キャリアプラン2			
	数学	数学1 数学2	数学3 数学4	数学7 数学8				
	コンピュータリテラシー	情報科学2 情報科学3						
	力学基礎		工学概論					
	電気回路基礎		電磁気学基礎 電子回路基礎					
	地域再生システム論		地球科学概論 技術開発概論					
	情報科学群ガイダンス	離散数学 情報メディア概論	感覚・神経生物学 計算機言語 情報と倫理 情報と倫理 オントモントと形式言語 情報理論基礎 アルゴリズムとデータ構造	知覚と認識 画像処理 数値計算法 低次元学習 最適化 論理回路	マルチメディアアプリケーション	インターンシップ	地域再生システム論	
	専門基礎	応用コンピュータグラフィックス 情報代教 情報と倫理 通信ネットワーク基礎 計算機システム						
専門科目								
専門発展								
専門領域								

卒業要件単位数：大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を17単位以上、自然科学等科目を17単位以上、専門科目を60単位以上かつ修得した単位の合計が124単位以上とする。
 専門科目は全科目を記載し、科目体系を示す
 大学共通科目は、推奨科目を示す

【 資料10 - 1 】 情報学群 履修モデル
(コンピュータサイエンス専攻:ハードウェア・ソフトウェアの両面から将来の情報システムの発展に寄与できる人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次		計
		科目名		科目名		科目名		科目名		
大学 共通 科目	人文・ 社会 科学	文化としての戦術と戦略	2	Thinking in English1	1	知的財産権と特許	2			
		体育実技	1	Thinking in English2	1	Technical Presentation/Writing	2			
		Reading/Listening1	1	Science Reading1	1	キャリア・プラン1	1			
		Reading/Listening2	1	Science Reading2	1					
		Science English	1							
		Science Lab	1							
		スタディスキルズ1	2							
		計	9		4		5		0	18
	自然科学	教養の物理学1	2	数学7	2					
		現代化学の基礎	2	数学8	2					
生命科学		2								
数学1		2								
数学2		2								
数学3		2								
数学4		2								
コンピュータリテラシー		2								
情報科学1		2								
情報科学2	2									
情報科学3	2									
	計	22		4		0		0	26	
小計		31		8		5		0	44	
専門 科目	工学系 共通				インターンシップ	2				
	専門 発展	専門 基礎	情報学群ガイダンス	2	計算機言語	2				
			応用コンピュータリテラシー	2	情報と職業	2				
			情報代数	2	信号理論基礎	2				
			情報と倫理	2	オートマトンと形式言語	2				
			通信網概論	2	情報理論基礎	2				
			計算機システム	2	アルゴリズムとデータ構造	2				
			離散数学	2	知覚と認識	2				
			情報メディア概論	2	画像処理	2				
				数値計算法	2					
				映像音響メディア	2					
		通信方式	2							
		論理回路	2							
専門 発展	共通				ソフトウェア工学	2				
					計算機アーキテクチャ	2				
					符号理論	2				
					データベースシステム	2				
	コンピュータ サイエンス				オペレーティングシステム	2				
				コンパイラ	2					
情報 通信					情報セキュリティ	2				
					計算機ネットワーク	2				
情報 と人間				人工知能基礎	2					
	専攻 領域		情報学群実験第1	2	情報学群実験第3C	2	情報学群特別講義	2		
		情報学群実験第2	2	情報学群実験第4C	2	卒業研究	8			
				情報学群セミナー	2					
小計		16		28		26		10	80	
合計		47		36		31		10	124	

は履修登録必須科目を示す

【 資料10 - 2 】 情報学群 履修モデル
(情報通信専攻:次世代ネットワークシステムの構築等、情報通信の未来を担う人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次		計
		科目名		科目名		科目名		科目名		
大学共通科目	人文・社会科学	文化としての戦術と戦略	2	Thinking in English1	1	知的財産権と特許	2			
		体育実技	1	Thinking in English2	1	キャリア・プラン1	1			
		Reading/Listening1	1	Science Reading1	1	Technical Presentation/Writing	2			
		Reading/Listening2	1	Science Reading2	1					
		Science English	1							
		Science Lab	1							
		スタディスキルズ1	2							
		計	9		4		5		0	18
	自然科学	教養の物理学1	2	数学7	2					
		現代化学の基礎	2	数学8	2					
生命科学		2								
数学1		2								
数学2		2								
数学3		2								
数学4		2								
コンピュータリテラシー		2								
情報科学1		2								
情報科学2	2									
情報科学3	2									
	計	22		4		0		0	26	
小計		31		8		5		0	44	
専門科目	工学系共通					インターンシップ	2			
	専門基礎	情報学群ガイダンス	2	計算機言語	2					
		応用コンピュータリテラシー	2	情報と職業	2					
		情報代数	2	信号理論基礎	2					
		情報と倫理	2	オートマトンと形式言語	2					
		通信網概論	2	情報理論基礎	2					
		計算機システム	2	アルゴリズムとデータ構造	2					
		離散数学	2	知覚と認識	2					
		情報メディア概論	2	画像処理	2					
				数値計算法	2					
				映像音響メディア	2					
			通信方式	2						
		論理回路	2							
専門発展	共通					ソフトウェア工学	2			
	コンピュータサイエンス					符号理論	2			
						データベースシステム	2			
	情報通信					情報セキュリティ	2			
						計算機ネットワーク	2			
専攻領域						アナログ・デジタル通信	2			
						情報ネットワーク設計	2			
						ワイヤレスアクセスネットワーク	2			
						人工知能基礎	2			
				情報学群実験第1	2	情報学群実験第3C	2	情報学群特別講義	2	
				情報学群実験第2	2	情報学群実験第4C	2	卒業研究	8	
						情報学群セミナー	2			
小計		16		28		26		10	80	
合計		47		36		31		10	124	

は履修登録必須科目を示す

【資料10-3】情報学群 履修モデル

(情報とメディア専攻: デジタルメディアエンジニア、ソフトウェア開発等、情報メディアを扱う分野で活躍できる人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次		計
		科目名		科目名		科目名		科目名		
大学 共通 科目	人文・ 社会科学	文化としての戦術と戦略	2	Thinking in English1	1	知的財産権と特許	2			
		体育実技	1	Thinking in English2	1	キャリア・プラン1	1			
		Reading/Listening1	1	Science Reading1	1	Technical Presentation/Writing	2			
		Reading/Listening2	1	Science Reading2	1					
		Science English	1							
		Science Lab	1							
		スタディスキルズ1	2							
		計	9		4		5		0	18
		自然科学	教養の物理学1	2						
	現代化学の基礎		2							
	生命科学		2							
	数学1		2							
	数学2		2							
	数学3		2							
	数学4		2							
	コンピュータリテラシー		2							
	情報科学1		2							
	情報科学2	2								
	情報科学3	2								
計	22		0		0		0	22		
小計		31		4		5		0	40	
専門 科目	工学系 共通			マルチメディアプレゼンテーション	2	インターンシップ	2			
	専門 基礎	情報学群ガイダンス	2	感覚・神経生物学	2					
		応用コンピュータリテラシー	2	計算機言語	2					
		情報代数	2	情報と職業	2					
		情報と倫理	2	信号理論基礎	2					
		通信網概論	2	オートマトンと形式言語	2					
		計算機システム	2	情報理論基礎	2					
		離散数学	2	アルゴリズムとデータ構造	2					
		情報メディア概論	2	知覚と認識	2					
				画像処理	2					
				数値計算法	2					
				映像音響メディア	2					
		通信方式	2							
		論理回路	2							
専門 発展	共通				ソフトウェア工学	2				
	情報 通信				情報セキュリティ	2				
	情報と メディア				ウェブメディア	2				
				パターン認識と理解	2					
情報と 人間				HCI概論	2					
				メディアコミュニケーション	2					
				コンピュータグラフィックス	2					
専攻 領域					認知心理学	2				
					人工知能基礎	2				
専攻 領域			情報学群実験第1	2	情報学群実験第3	2	情報学群特別講義	2		
			情報学群実験第2	2	情報学群実験第4	2	卒業研究	8		
専攻 領域					情報学群セミナー	2				
小計		16		32		26		10	84	
合計		47		36		31		10	124	

は履修登録必須科目を示す

【 資料10 - 4 】 情報学群 履修モデル
(情報と人間専攻:人に優しい未来の高度情報通信技術を有効に活用できる人材)

		1年次		2年次		3年次		4年次		計
		科目名		科目名		科目名		科目名		
大学 共通 科目	人文・ 社会 科学	文化としての戦術と戦略	2	技術者倫理	2	知的財産権と特許	2			
		体育実技	1	歴史と人間	2	企業戦略と企業文化	2			
		Reading/Listening1	1	Thinking in English1	1	キャリア・プラン1	1			
		Reading/Listening2	1	Thinking in English2	1					
		Science English	1	Science Reading1	1					
		Science Lab	1	Science Reading2	1					
		スタディスキルズ1	2							
	計	9	8	5	0	22				
	自然 科学	教養の物理学1	2	ヒトの生物学	2					
		現代化学の基礎	2							
生命科学		2								
数学1		2								
数学2		2								
コンピュータリテラシー		2								
情報科学1		2								
情報科学2	2									
情報科学3	2									
計	18	2	0	0	20					
小計		27	10	5	0	42				
専門 科目	工学系 共通			マルチメディアプレゼンテーション	2	インターンシップ	2			
	専門 基礎	情報学群ガイダンス	2	感覚・神経生物学	2					
		応用コンピュータリテラシー	2	計算機言語	2					
		情報代数	2	情報と職業	2					
		情報と倫理	2	信号理論基礎	2					
		通信網概論	2	オートマトンと形式言語	2					
		計算機システム	2	情報理論基礎	2					
		離散数学	2	アルゴリズムとデータ構造	2					
		情報メディア概論	2	知覚と認識	2					
			画像処理	2						
			数値計算法	2						
			映像音響メディア	2						
			通信方式	2						
			論理回路	2						
専門 発展	共通			ソフトウェア工学	2					
	情報とメディア			パターン認識と理解	2					
				メディアコミュニケーション	2					
	情報と人間			認知心理学	2					
専攻 領域				人工知能基礎	2					
				HCI概論	2					
				学習と推論	2					
				脳情報学	2					
専攻 領域			情報学群実験第1	2	情報学群実験第3	2	情報学群特別講義	2		
			情報学群実験第2	2	情報学群実験第4	2	卒業研究	8		
小計		16	32	24	10	82				
合計		43	42	29	10	124				

は履修登録必須科目を示す

【 資料 1 1 】高知工科大学 エリア別志願・合格・入学状況（過去 3 年間）

年度	H17				H18				H19			
地域	志願	合格	入学		志願	合格	入学		志願	合格	入学	
	人数	人数	人数	比率	人数	人数	人数	比率	人数	人数	人数	比率
北海道・東北	4	1	0	0.0%	5	5	1	0.2%	1	1	0	0.0%
関東	10	7	2	0.4%	7	5	5	1.1%	5	3	2	0.5%
中部・甲信越	14	11	6	1.2%	15	11	4	0.9%	4	4	0	0.0%
近畿	114	88	40	8.2%	93	71	33	7.4%	32	29	13	3.5%
中国	102	72	22	4.5%	106	81	28	6.3%	63	49	18	4.8%
四国	886	682	400	82.1%	716	586	362	81.3%	633	565	329	88.4%
九州・沖縄	56	39	17	3.5%	39	31	12	2.7%	29	19	10	2.7%
合計	1186	900	487		981	790	445		767	670	372	

四国内 県別志願・合格・入学状況（過去 3 年間）

年度	H17				H18				H19			
県名	志願	合格	入学		志願	合格	入学		志願	合格	入学	
	人数	人数	人数	比率	人数	人数	人数	比率	人数	人数	人数	比率
徳島県	100	78	42	8.6%	129	110	68	15.3%	121	108	59	15.9%
香川県	128	97	41	8.4%	74	63	30	6.7%	66	62	31	8.3%
愛媛県	220	174	82	16.8%	158	144	65	14.6%	139	123	46	12.4%
高知県	438	333	235	48.3%	355	269	199	44.7%	307	272	193	51.9%

【 資料 1 2 】高知県内高等学校卒業生進学動向

大学学部系統別進学者数（過年度生含む）

		H 8			H 9			H 1 7			H 1 8			H 1 9		
		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
人文・社会科学	文学	236	498	734	248	512	760	301	527	828	291	519	810	265	476	741
	商・経	543	145	688	519	174	693	365	126	491	364	141	505	382	158	540
	法・政	154	74	228	148	74	222	157	72	229	138	66	204	155	75	230
		933	717	1650	915	760	1675	823	725	1548	793	726	1519	802	709	1511
自然科学	工学	314	57	371	555	115	670	479	80	559	399	70	469	425	59	484
	理学	120	38	158	100	43	143	97	32	129	135	45	180	100	46	146
	農・水	54	46	100	59	44	103	59	31	90	64	41	105	52	33	85
	看護	3	32	35	5	42	47	23	99	122	25	112	137	43	129	172
	薬学	17	37	54	13	40	53	25	57	82	26	53	79	31	48	79
	医学	41	28	69	26	33	59	26	14	40	23	15	38	33	22	55
	歯学	14	5	19	7	7	14	6	7	13	9	7	16	15	11	26
	商船	2	0	2	1	1	2	2	0	2	1	0	1	2	1	3
		565	243	808	766	325	1091	717	320	1037	682	343	1025	701	349	1050
その他	教育	40	94	134	65	97	162	41	93	134	53	74	127	47	85	132
	家政	8	67	75	4	64	68	7	87	94	9	87	96	15	105	120
	芸術	26	47	73	34	41	75	38	78	116	33	61	94	27	57	84
	体育	20	14	34	28	10	38	24	13	37	33	20	53	36	13	49
	その他							22	10	32	12	2	14	4	3	7
		94	222	316	131	212	343	132	281	413	140	244	384	129	263	392
合計		1592	1182	2774	1812	1297	3109	1672	1326	2998	1615	1313	2928	1632	1321	2953

↑
高知工科大学開学

大学学部系統別進学者比率（過年度生含む）

		H 8	H 9	H 1 7	H 1 8	H 1 9
人文・社会科学	文学	26%	24%	28%	28%	25%
	商・経	25%	22%	16%	17%	18%
	法・政	8%	7%	8%	7%	8%
		59%	54%	52%	52%	51%
自然科学	工学	13%	22%	19%	16%	16%
	理学	6%	5%	4%	6%	5%
	農・水	4%	3%	3%	4%	3%
	看護	1%	2%	4%	5%	6%
	薬学	2%	2%	3%	3%	3%
	医学	2%	2%	1%	1%	2%
	歯学	1%	0%	0%	1%	1%
	商船	0%	0%	0%	0%	0%
		29%	35%	35%	35%	36%
その他	教育	5%	5%	4%	4%	4%
	家政	3%	2%	3%	3%	4%
	芸術	3%	2%	4%	3%	3%
	体育	1%	1%	1%	2%	2%
	その他	0%	0%	1%	0%	0%
		11%	11%	14%	13%	13%
合計		100%	100%	100%	100%	100%

（資料）教育調査報告書（高知県教育委員会）

（注）文学には、総合科学、地域政策、社会学関係等を含む

【 資料 13 - 1 】 2007 年度 インターンシップ受け入れ団体一覧（その 1）

■ 2007 年度 インターンシップ受け入れ団体一覧（199 団体）

- [福井県] 前田建設工業株式会社
- [茨城県] 独立行政法人産業技術総合研究所
- [埼玉県] 新日本無線株式会社
- [千葉県] 高級アルコール工業株式会社
- [東京都] エクストリーク株式会社 / N T T アドバンステクノロジ株式会社 / 株式会社カトム / 株式会社キューブシステム / スガツネ工業株式会社 / 株式会社フォーラムエイト / 株式会社レーモンド設計事務所
- [愛知県] 株式会社ナガラ
- [神奈川県] アンリツ株式会社 / アンリツエンジニアリング株式会社 / 株式会社 富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ
- [静岡県] パルステック工業株式会社 / ヤマハモーターエレクトロニクス株式会社
- [京都府] エフビットコミュニケーションズ株式会社
- [三重県] 有限会社オザキプリシジョン
- [滋賀県] 新旭電子工業株式会社 / トクデン株式会社
- [大阪府] 株式会社アビスト / 株式会社アルトナー / 株式会社エム・システム技研 / 清原国際特許事務所 / 向洋電機株式会社 / 住友大阪セメント株式会社 セメント・コンクリート研究所 / 株式会社セニララボラトリーズ / 株式会社東京建設コンサルタント関西支店 / 株式会社西村ケミテック / 株式会社日建設計 / 富士機工電子株式会社 / 堀川化成株式会社
- [兵庫県] IT セミコン株式会社 / 大阪機工株式会社 / 株式会社コベルコ科研 / 神鋼テクノ株式会社 / 住化エンピロサイエンス株式会社 / ダイソー株式会社 / ホテルニューアワジプラザ淡路島 / 三菱電機マイコン機器ソフトウェア株式会社
- [岡山県] 株式会社クラレ倉敷事業所（研究所） / 株式会社放電精密加工研究所
- [広島県] 株式会社サタケ
- [島根県] 株式会社松江浜乃木自動車教習所(浜乃木ドライビングスクール)
- [愛媛県] 有限会社愛測調査設計 / N E C システムテクノロジー株式会社 / 株式会社 N T T ネオメイト四国支店 / 技研工機株式会社 / 国土交通省 四国地方整備局 / 株式会社ダイキアクシス / 株式会社田窪工業所 / 株式会社テレビ愛媛 / 南海放送株式会社 / パナソニック四国エレクトロニクス株式会社 / 不二精機株式会社 / 株式会社マルヤス / 株式会社ユタカ / 株式会社テラマチ
- [香川県] 香川県環境保健研究センター / 株式会社五星 / 自衛隊高知地方協力本部 / 高松帝酸株式会社 / 南海プライウッド株式会社
- [徳島県] 阿南市役所（環境管理部環境管理事務所） / 四国システム開発株式会社 / 株式会社ジャストシステムサービス / 日亜化学工業株式会社
- [福岡県] エフコープ商品検査センター / 株式会社上村工務店
- [沖縄県] 農業生産法人有限会社石垣島ファーマー

【 資料 1 3 - 2 】 2 0 0 7 年度 インターンシップ受け入れ団体一覧（その 2）

【高知県】 アースデザインコンサルタント株式会社 / アクシス建築研究所 / 合資会社上田建築事務所 / 有限会社朝倉モータース / イ-ハート-ブ設計工房 / 有限会社今橋建築設計事務所 / 入交石灰工業株式会社 / 宇治電化工業株式会社 / 株式会社エイトコンサルタント / 株式会社 S K K / 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ四国 / N T T 西日本 高知支店（四国高知事業部） / 株式会社垣内 / 株式会社加寿翁コーポレーション / 株式会社カツラ・オプト・システムズ高知開発センター / 社団法人桂浜水族館 / 和建設株式会社 / 有限会社カリノ美工 / 株式会社技研製作所 / 株式会社岸之上工務店 / 協同組合帯屋町筋(まちの駅) / クイックソフト株式会社 / 株式会社黒岩愛子設計事務所 / 高知カシオ株式会社 / 高知空港ビル株式会社 / 高知ケーブルテレビ株式会社 / 高知県 高知県立美術館 / 高知県 高知県立文学館 / 高知県 教育委員会 教育センター / 高知県 教育委員会 高知県立図書館 / 高知県 教育委員会生涯学習課 / 高知県 教育委員会事務局 教育政策課 / 高知県 公営企業局 / 高知県 財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団 / 高知県 産業技術委員会 工業技術センター / 高知県 産業技術委員会 内水面漁業センター / 高知県 産業技術委員会 紙産業技術センター / 高知県 産業技術委員会 森林技術センター / 高知県 産業技術委員会 水産試験場 / 高知県 産業技術委員会 農業技術センター / 高知県 産業技術委員会 農業技術センター果樹試験場 / 高知県 商工労働部 雇用労働政策課 / 高知県信用保証協会 / 高知県 森林部 / 高知県 森林部中央東林業事務所 / 高知県 政策企画部 地域づくり支援課・市町村合併支援室 / 高知県 政策企画部 情報政策課 / 高知県赤十字血液センター / 高知県 土木部 河川課 / 高知県 土木部 建築指導課 / 高知県 土木部 住宅課 / 高知県 土木部 道路課 / 高知県 病害虫防除所 / 高知県 文化環境部 清流・環境課 / 高知県経営者協会 / 社団法人高知県建設技術公社 / 高知県高知市病院企業団立高知医療センター / 財団法人高知県総合保健協会 / 高知県生コンクリート工業組合技術センター東部試験所 / 高知県ボランティア・NPO センター / 高知県立幡多青少年の家 / 特定非営利活動法人高知こどもの図書館 / 高知さんさんテレビ株式会社 / 高知市 市民生活部 市民相談センター / 財団法人高知市文化振興事業団 / 株式会社高知電子計算センター / 株式会社高知豊中技研 / 高知トヨペット株式会社 / 高知ファイティングドッグス球団株式会社 / 株式会社高知丸高 / 国土防災技術株式会社 / 五洋建設株式会社 / 財団法人高知県文化財団 高知県立県民文化ホール / 佐川急便株式会社四国支社 高知店 / 株式会社サタケダイニングシステム / 株式会社三愛商会 / 株式会社サン土木コンサルタント / 四国開発株式会社 / 四国管財株式会社 / 四国建設コンサルタント株式会社 / 特定非営利活動法人四国自然科学研究センター / 四国情報管理センター株式会社 / 株式会社シンク建築設計事務所 / 株式会社相愛 / 有限会社艸建築工房 / 株式会社ソフテック / 大新東株式会社 山荘梶ヶ森 / 大成建設株式会社 四国支店 / 株式会社太陽 / 株式会社タカチ測建 / 谷脇住設 / 株式会社中央精機 / 株式会社テックス / 株式会社テレビ高知 / 社会福祉法人土佐香美福祉会特別養護老人ホームウエルプラザやまだ荘 / 株式会社土佐御苑 / 株式会社トミナガ / 株式会社ドリーマーベイシャトー / 農事組合法人西島園芸団地 / 株式会社西日本開発コンサルタント / 西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社 / 有限会社西森啓史建築研究所 / 日進商事株式会社 / ニッポン高度紙工業株式会社 / 日本通運株式会社高知 P A 支店 / ネットヨタ南国株式会社 / パシフィックソフトウェア開発株式会社 / 幡多信用金庫 / 聖建築研究所 / 日和崎石油株式会社 / 有限会社ファースト・コラボレーション / 社会福祉法人 ファミリーユ高知 / 株式会社フジコミュニケーションズ / 株式会社富士通四国システムズ 高知事業所 / 有限会社ブルークロス / 穂岐山刃物株式会社 / 株式会社マルナカ / 株式会社ミロク製作所 / 室戸海洋深層水株式会社 / メリーガーデン / 特定非営利活動法人 Y A S U 海の駅クラブ / 有限会社安岡重機 / 山本長水建築設計事務所 / 財団法人夢産地とさやま開発公社 / よさこいケーブルネット株式会社 / 株式会社四電技術コンサルタント / 株式会社四電工 高知支店 / 株式会社リョウマコンサルタント

大学基準協会正会員証

高知工科大学 殿

since 1947

貴大学は 平成 17 年度加盟判定審査の結果
本協会の大学基準に適合しているものと認め
られたので ここに貴大学を正会員として認
定する

平成 18 年 4 月 1 日

財団法人 大学基準協会

会 長 白 井 克

